

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
章/項番号: 5.1 チェンジングエリアについて

【変更理由の類型化】
①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																				
243	補足説明資料 61-9 5.1 (2)	61-9-5-1	チェンジングエリアは、脱衣エリア、サーベイエリア、除染エリアからなり、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所陽圧化バウンダリに隣接するとともに、要員の被ばく低減の観点から5号炉原子炉建屋内に設営する。概要は表5.1-1のとおり。	チェンジングエリアは、脱衣エリア、サーベイエリア、除染エリアからなり、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に併設するとともに、要員の被ばく低減の観点から5号炉原子炉建屋内に設営する。概要は表5.1-1のとおり。	⑤ (チェンジングエリア位置についての記載充実)																				
244	補足説明資料 61-9 5.1 (2)	61-9-5-2	<p>表 5.1-1 チェンジングエリアの概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設営場所 5号炉原子炉建屋 3階</td> <td>緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において、緊急時対策所への汚染の持ち込みを防止するため、モニタリング及び作業服の着替え等を行うための区画を設ける。</td> </tr> <tr> <td>設営形式 エアートtent</td> <td>設営の容易さ及び迅速化の観点から、エアートtentを採用する。</td> </tr> <tr> <td>手順 着手の判断基準</td> <td>原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した後、保安班長が、事象進展の状況(格納容器周囲気放射線レベル計(CAMS)等により炉心損傷を判断した場合等)、参集済みの要員数及び保安班が実施する作業の優先順位を考慮して、チェンジングエリア設営を行うと判断した場合。</td> </tr> <tr> <td>実施者 保安班</td> <td>チェンジングエリアを速やかに設営できるよう定期的に訓練を行っている保安班が設営を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	理由	設営場所 5号炉原子炉建屋 3階	緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において、緊急時対策所への汚染の持ち込みを防止するため、モニタリング及び作業服の着替え等を行うための区画を設ける。	設営形式 エアートtent	設営の容易さ及び迅速化の観点から、エアートtentを採用する。	手順 着手の判断基準	原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した後、保安班長が、事象進展の状況(格納容器周囲気放射線レベル計(CAMS)等により炉心損傷を判断した場合等)、参集済みの要員数及び保安班が実施する作業の優先順位を考慮して、チェンジングエリア設営を行うと判断した場合。	実施者 保安班	チェンジングエリアを速やかに設営できるよう定期的に訓練を行っている保安班が設営を行う。	<p>表 5.1-1 チェンジングエリアの概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設営場所 5号炉原子炉建屋 3階 { 5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 }</td> <td>緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において、緊急時対策所への汚染の持ち込みを防止するため、モニタリング及び作業服の着替え等を行うための区画を設ける。</td> </tr> <tr> <td>設営形式 エアートtent</td> <td>設営の容易さ及び迅速化の観点から、エアートtentを採用する。</td> </tr> <tr> <td>手順 着手の判断基準</td> <td>原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した後、保安班長が、事象進展の状況(格納容器周囲気放射線レベル計(CAMS)等による炉心損傷の兆候等)、参集済みの要員数及び保安班が実施する作業の優先順位を考慮して、チェンジングエリア設営を行うと判断した場合。</td> </tr> <tr> <td>実施者 保安班</td> <td>チェンジングエリアを速やかに設営できるよう定期的に訓練を行っている保安班員が設営を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	項目	理由	設営場所 5号炉原子炉建屋 3階 { 5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 }	緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において、緊急時対策所への汚染の持ち込みを防止するため、モニタリング及び作業服の着替え等を行うための区画を設ける。	設営形式 エアートtent	設営の容易さ及び迅速化の観点から、エアートtentを採用する。	手順 着手の判断基準	原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した後、保安班長が、事象進展の状況(格納容器周囲気放射線レベル計(CAMS)等による炉心損傷の兆候等)、参集済みの要員数及び保安班が実施する作業の優先順位を考慮して、チェンジングエリア設営を行うと判断した場合。	実施者 保安班	チェンジングエリアを速やかに設営できるよう定期的に訓練を行っている保安班員が設営を行う。	⑤ (手順着手の記載適正化)
項目	理由																								
設営場所 5号炉原子炉建屋 3階	緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において、緊急時対策所への汚染の持ち込みを防止するため、モニタリング及び作業服の着替え等を行うための区画を設ける。																								
設営形式 エアートtent	設営の容易さ及び迅速化の観点から、エアートtentを採用する。																								
手順 着手の判断基準	原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した後、保安班長が、事象進展の状況(格納容器周囲気放射線レベル計(CAMS)等により炉心損傷を判断した場合等)、参集済みの要員数及び保安班が実施する作業の優先順位を考慮して、チェンジングエリア設営を行うと判断した場合。																								
実施者 保安班	チェンジングエリアを速やかに設営できるよう定期的に訓練を行っている保安班が設営を行う。																								
項目	理由																								
設営場所 5号炉原子炉建屋 3階 { 5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 }	緊急時対策所の外側が放射性物質により汚染したような状況下において、緊急時対策所への汚染の持ち込みを防止するため、モニタリング及び作業服の着替え等を行うための区画を設ける。																								
設営形式 エアートtent	設営の容易さ及び迅速化の観点から、エアートtentを採用する。																								
手順 着手の判断基準	原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した後、保安班長が、事象進展の状況(格納容器周囲気放射線レベル計(CAMS)等による炉心損傷の兆候等)、参集済みの要員数及び保安班が実施する作業の優先順位を考慮して、チェンジングエリア設営を行うと判断した場合。																								
実施者 保安班	チェンジングエリアを速やかに設営できるよう定期的に訓練を行っている保安班員が設営を行う。																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
245	補足説明資料 61-9 5.1 (3)	61-9-5-3	チェンジングエリアは、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所陽圧化バウンダリに隣接した場所に設置する。チェンジングエリアの設営場所及び屋内のアクセスルートは、図5.1-1、2のとおり。	チェンジングエリアは、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に併設する。チェンジングエリアの設営場所及び屋内のアクセスルートは、図5.1-1、2のとおり。	⑤ (チェンジングエリア位置についての記載充実)
246	補足説明資料 61-9 5.1 (4)	61-9-5-6	緊急時対策所への放射性物質の持ち込みを防止するため、図5.1-3の設営フローに従い、図5.1-4、5のとおりチェンジングエリアを設営する。チェンジングエリアの設営は、保安班員2名で、南側アクセスルートを使用する場合は約60分、北東側アクセスルートを使用する場合は約90分を想定している。 なお、チェンジングエリアが速やかに設営できるよう定期的に訓練を行い、設営時間の短縮及び更なる改善を図ることとしている。 チェンジングエリアの設営は、原子力防災組織の緊急時対策要員（夜間及び休日（平日の勤務時間帯以外））の保安班2名、または参集要員（10時間後までに参集）のうち、チェンジングエリアの設営に割り当てることができる要員で行う。 設営の着手は、保安班長が、原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した後、事象進展の状況（格納容器雰囲気放射線レベル計（CAMS）等により炉心損傷を判断した場合等）、参集済みの要員数及び保安班が実施する作業の優先順位を考慮して判断し、速やかに実施する。	緊急時対策所への放射性物質の持ち込みを防止するため、図5.1-3の設営フローに従い、図5.1-4、5のとおりチェンジングエリアを設営する。 チェンジングエリアの設営は、保安班員2名で、南側アクセスルートを使用する場合は約60分、北東側アクセスルートを使用する場合は約90分を想定している。 なお、チェンジングエリアが速やかに設営できるよう定期的に訓練を行い、設営時間の短縮及び更なる改善を図ることとしている。 チェンジングエリアの設営は、原子力防災組織の要員（夜間・休祭日）の保安班2名、または参集要員（10時間後までに参集）のうち、チェンジングエリアの設営に割り当てることができる要員で行う。 設営の着手は、保安班長が、原子力災害対策特別措置法第10条特定事象が発生した後、事象進展の状況（格納容器雰囲気放射線レベル計（CAMS）等による炉心損傷の兆候等）、参集済みの要員数及び保安班が実施する作業の優先順位を考慮して判断し、速やかに実施する。	⑤ (手順着手の記載適正化)
247	補足説明資料 61-9 5.1 (4)	61-9-5-9	チェンジングエリア用資機材については、運用開始後のチェンジングエリアの補修や汚染によるシート張替え等も考慮して、表5.1-2のとおりとする。チェンジングエリア用資機材は、チェンジングエリア付近に保管する。なお、アクセスルートに応じてチェンジングエリアを設営するため、チェンジングエリア用資機材は南側アクセスルート又は北東側アクセスルートのチェンジングエリア設営に必要な最大数を保管する。	チェンジングエリア用資機材については、運用開始後のチェンジングエリアの補修や汚染によるシート張替え等も考慮して、表5.1-2のとおりとする。なお、アクセスルートに応じてチェンジングエリアを設営するため、チェンジングエリア用資機材は南側アクセスルート又は北東側アクセスルートのチェンジングエリア設営に必要な最大数を保管する。	⑤ (保管場所記載充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
248	補足説明 資料 61-9 5.1 (10)	61-9-5- 19	保安班は、チェン징ングエリアの設営以外に、緊急時対策所の可搬型陽圧化空調機運転(約60分)、可搬型エリアモニタの設置(20分)、可搬型モニタリングポストの設置(最大435分)、可搬型気象観測装置の設置(90分)を行うことを想定している。これら対応項目の優先順位については、保安班長が状況に応じ判断する。以下にタイムチャートの例を示す。なお、緊急時対策所のチェン징ングエリアは、北東側ルートを設営した場合(90分)を想定する。	保安班は、チェン징ングエリアの設営以外に、緊急時対策所の可搬型陽圧化空調機運転(50分)、可搬型エリアモニタの設置(20分)、可搬型モニタリングポストの設置(最大420分)、可搬型気象観測装置の設置(90分)を行うことを想定している。これら対応項目の優先順位については、保安班長が状況に応じ判断する。以下にタイムチャートの例を示す。なお、緊急時対策所のチェン징ングエリアは、北東側ルートを設営した場合(90分)を想定する。	⑤ (記載の適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.2 配備資機材等の数量等について

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																												
249	補足説明 資料 61-9 5.2	61-9-5- 21	<p>(1) 通信連絡設備の通信種別と配備台数、電源設備</p> <p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に配備する通信連絡設備の通信種別と配備台数等は次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要高数</th> <th>配備台数※1</th> <th>電源設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">発電所内外 衛星電話設備</td> <td>衛星電話設備(常設)</td> <td>9台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備(可搬型)</td> <td>15台</td> <td>充電式電池(本体内蔵)、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発電所内 電力保安通信用電話設備</td> <td>固定電話機</td> <td>19台</td> <td>充電機</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>2台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">送受話機</td> <td>ハンドセット</td> <td>2台</td> <td>非常用高圧母線、充電機</td> </tr> <tr> <td>スピーカー</td> <td>2台</td> <td>非常用高圧母線、充電機</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無線連絡設備</td> <td>無線連絡設備(常設)</td> <td>4台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備(可搬型)</td> <td>90台</td> <td>充電式電池(本体内蔵)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">携帯型音声呼出電話設備</td> <td>携帯型音声呼出電話機</td> <td>6台</td> <td>単二乾電池4本(連続約4日間使用可能)※3</td> </tr> <tr> <td>申請用ケーブルドラム</td> <td>2台</td> <td>対策本部・待機場所間の通信連絡用※2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">発電所外 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>テレビ会議システム(衛星系・有線系 共用)</td> <td>1式</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機(有線系)</td> <td>4台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機(衛星系)</td> <td>2台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX(有線系)</td> <td>1台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX(衛星系)</td> <td>1台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備(社内向)</td> <td>衛星社内電話機</td> <td>4台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム(社内向)</td> <td>テレビ会議システム(社内向)</td> <td>1式</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム(社外向)</td> <td>テレビ会議システム(社外向)</td> <td>1式</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>専用電話設備</td> <td>専用電話設備(自治体他向)</td> <td>7台</td> <td>乾電池、手動発電</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 予備を含む(今後、訓練等で見直しを行う) ※2: 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を指す ※3: 予備の乾電池を保有することで7日間以上継続しての通話が可能</p>	通信種別	主要高数	配備台数※1	電源設備	発電所内外 衛星電話設備	衛星電話設備(常設)	9台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	衛星電話設備(可搬型)	15台	充電式電池(本体内蔵)、代替交流電源設備※2	発電所内 電力保安通信用電話設備	固定電話機	19台	充電機	FAX	2台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	送受話機	ハンドセット	2台	非常用高圧母線、充電機	スピーカー	2台	非常用高圧母線、充電機	無線連絡設備	無線連絡設備(常設)	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	無線連絡設備(可搬型)	90台	充電式電池(本体内蔵)	携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	6台	単二乾電池4本(連続約4日間使用可能)※3	申請用ケーブルドラム	2台	対策本部・待機場所間の通信連絡用※2	発電所外 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	テレビ会議システム(衛星系・有線系 共用)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	IP-電話機(有線系)	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	IP-電話機(衛星系)	2台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	IP-FAX(有線系)	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	IP-FAX(衛星系)	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	衛星電話設備(社内向)	衛星社内電話機	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	テレビ会議システム(社内向)	テレビ会議システム(社内向)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	テレビ会議システム(社外向)	テレビ会議システム(社外向)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	専用電話設備	専用電話設備(自治体他向)	7台	乾電池、手動発電	<p>(1) 通信連絡設備の通信種別と配備台数、電源設備</p> <p>a. 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(ケース1)及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)(ケース2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要高数</th> <th>配備台数※1</th> <th>電源設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">発電所内外 電力保安通信用電話設備※1</td> <td>固定電話機</td> <td>15台</td> <td>非常用高圧母線、充電機、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>FHS 端末</td> <td>30台</td> <td>充電式電池(本体内蔵)</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>1台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">衛星電話設備</td> <td>衛星電話設備(常設)</td> <td>9台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備(可搬型)</td> <td>15台</td> <td>充電式電池(本体内蔵)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">テレビ会議システム</td> <td>テレビ会議システム(社内向)</td> <td>1式</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム(社外向)</td> <td>1式</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">送受話機</td> <td>ハンドセット</td> <td>2台</td> <td>非常用高圧母線、充電機</td> </tr> <tr> <td>スピーカー</td> <td>2台</td> <td>非常用高圧母線、充電機</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無線連絡設備</td> <td>無線連絡設備(常設)</td> <td>4台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備(可搬型)</td> <td>78台</td> <td>充電式電池(本体内蔵)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">携帯型音声呼出電話設備</td> <td>携帯型音声呼出電話機</td> <td>2台</td> <td>単二乾電池4本(連続約4日間使用可能)※3</td> </tr> <tr> <td>申請用ケーブルドラム</td> <td>2台</td> <td>対策本部・待機場所間の通信連絡用※2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">発電所外 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>テレビ会議システム(衛星系・地上系 共用)</td> <td>1式</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機(地上系)</td> <td>4台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機(衛星系)</td> <td>2台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX(地上系)</td> <td>1台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX(衛星系)</td> <td>1台</td> <td>非常用高圧母線、代替交流電源設備※2</td> </tr> <tr> <td>専用電話設備</td> <td>専用電話設備(自治体他向)</td> <td>7台</td> <td>乾電池、手動発電</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 局線加入電話設備に接続されており、発電所外への連絡も可能 ※2: 予備を含む(今後、訓練等で見直しを行う) ※3: 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備を指す ※4: 予備の乾電池を保有することで7日間以上継続しての通話が可能</p>	通信種別	主要高数	配備台数※1	電源設備	発電所内外 電力保安通信用電話設備※1	固定電話機	15台	非常用高圧母線、充電機、代替交流電源設備※2	FHS 端末	30台	充電式電池(本体内蔵)	FAX	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	衛星電話設備	衛星電話設備(常設)	9台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	衛星電話設備(可搬型)	15台	充電式電池(本体内蔵)	テレビ会議システム	テレビ会議システム(社内向)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	テレビ会議システム(社外向)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	送受話機	ハンドセット	2台	非常用高圧母線、充電機	スピーカー	2台	非常用高圧母線、充電機	無線連絡設備	無線連絡設備(常設)	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	無線連絡設備(可搬型)	78台	充電式電池(本体内蔵)	携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	2台	単二乾電池4本(連続約4日間使用可能)※3	申請用ケーブルドラム	2台	対策本部・待機場所間の通信連絡用※2	発電所外 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	テレビ会議システム(衛星系・地上系 共用)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	IP-電話機(地上系)	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	IP-電話機(衛星系)	2台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	IP-FAX(地上系)	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	IP-FAX(衛星系)	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2	専用電話設備	専用電話設備(自治体他向)	7台	乾電池、手動発電	⑤(設計進捗による通信設備見直し)
通信種別	主要高数	配備台数※1	電源設備																																																																																																																																														
発電所内外 衛星電話設備	衛星電話設備(常設)	9台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	衛星電話設備(可搬型)	15台	充電式電池(本体内蔵)、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
発電所内 電力保安通信用電話設備	固定電話機	19台	充電機																																																																																																																																														
	FAX	2台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
送受話機	ハンドセット	2台	非常用高圧母線、充電機																																																																																																																																														
	スピーカー	2台	非常用高圧母線、充電機																																																																																																																																														
無線連絡設備	無線連絡設備(常設)	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	無線連絡設備(可搬型)	90台	充電式電池(本体内蔵)																																																																																																																																														
携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	6台	単二乾電池4本(連続約4日間使用可能)※3																																																																																																																																														
	申請用ケーブルドラム	2台	対策本部・待機場所間の通信連絡用※2																																																																																																																																														
発電所外 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	テレビ会議システム(衛星系・有線系 共用)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	IP-電話機(有線系)	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	IP-電話機(衛星系)	2台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	IP-FAX(有線系)	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	IP-FAX(衛星系)	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
衛星電話設備(社内向)	衛星社内電話機	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
テレビ会議システム(社内向)	テレビ会議システム(社内向)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
テレビ会議システム(社外向)	テレビ会議システム(社外向)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
専用電話設備	専用電話設備(自治体他向)	7台	乾電池、手動発電																																																																																																																																														
通信種別	主要高数	配備台数※1	電源設備																																																																																																																																														
発電所内外 電力保安通信用電話設備※1	固定電話機	15台	非常用高圧母線、充電機、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	FHS 端末	30台	充電式電池(本体内蔵)																																																																																																																																														
	FAX	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
衛星電話設備	衛星電話設備(常設)	9台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	衛星電話設備(可搬型)	15台	充電式電池(本体内蔵)																																																																																																																																														
テレビ会議システム	テレビ会議システム(社内向)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	テレビ会議システム(社外向)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
送受話機	ハンドセット	2台	非常用高圧母線、充電機																																																																																																																																														
	スピーカー	2台	非常用高圧母線、充電機																																																																																																																																														
無線連絡設備	無線連絡設備(常設)	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	無線連絡設備(可搬型)	78台	充電式電池(本体内蔵)																																																																																																																																														
携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	2台	単二乾電池4本(連続約4日間使用可能)※3																																																																																																																																														
	申請用ケーブルドラム	2台	対策本部・待機場所間の通信連絡用※2																																																																																																																																														
発電所外 統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	テレビ会議システム(衛星系・地上系 共用)	1式	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	IP-電話機(地上系)	4台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	IP-電話機(衛星系)	2台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	IP-FAX(地上系)	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
	IP-FAX(衛星系)	1台	非常用高圧母線、代替交流電源設備※2																																																																																																																																														
専用電話設備	専用電話設備(自治体他向)	7台	乾電池、手動発電																																																																																																																																														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																		
250	補足説明 資料 61-9 5.2	61-9-5- 22	<p>(2) 放射線防護資機材品名と配備数</p> <p>○防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="2">配備数(6/7号伊共用)*7</th> </tr> <tr> <th>中央制御室</th> <th>構内(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不織布カバーオール</td> <td>420着**</td> <td>約5,000着</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>420足**</td> <td>約5,000足</td> </tr> <tr> <td>帽子</td> <td>420着**</td> <td>約5,000着</td> </tr> <tr> <td>網手袋</td> <td>420双**</td> <td>約5,000双</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>840双**</td> <td>約15,000双</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>180個**</td> <td>約2,000個</td> </tr> <tr> <td>チャコールフィルタ</td> <td>840個**</td> <td>約5,000個</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>210着**</td> <td>約3,000着</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴</td> <td>10足**</td> <td>約300足</td> </tr> <tr> <td>タンダスタンベスト</td> <td>—</td> <td>10着</td> </tr> <tr> <td>セルフニアセット**</td> <td>4台</td> <td>約100台</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸器**</td> <td>5台</td> <td>約20台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 180名(1~7号伊対応の緊急時対策要員164名+自衛消防隊10名+余裕、以下同様)×7日×1.5倍 ※2: ※1×2 ※3: 180名×3日(除染による再使用を考慮)×1.5倍 ※4: 180名×7日×1.5倍×50%(年間降水日数を考慮) ※5: 80名(1~7号伊対応の現場復旧班要員66名+保安班要員15名)×0.5(現場要員の半数) ※6: 14名(ブルーム通過直後に対応する現場復旧班要員14名) ※7: 予備を含む(今後、訓練等で見直しを行う) ※8: 20名(6号及び7号伊運転員18名+余裕)×2交代×7日×1.5倍 ※9: ※8×2 ※10: 20名(6号及び7号伊運転員18名+余裕)×2交代×3日(除染による再使用を考慮)×1.5倍 ※11: 20名(6号及び7号伊運転員18名+余裕)×2交代×7日×1.5倍×50%(年間降水日数を考慮) ※12: 20名(6号及び7号伊運転員18名+余裕)×0.5(現場要員の半数) ※13: 初期対応用3台+予備1台 ※14: インターフェイスシステムLOCA等対応用4台+予備1台</p> <p>- 1.5倍の妥当性の確認について 【緊急時対策所】 初動態勢時(1日目)、1~7号伊対応の要員は緊急時対策要員164名+自衛消防隊10名であり、機組班要員84名、現場要員80名及び自衛消防隊10名で構成されている。このうち、本部要員は、緊急時対策所を隣接化することにより、防護具着用する必要がないが、全要員は12時間に1回交代するため、2回の交代分を考慮する。また、現場要員80名は、1日に6回現場に行くことを想定する。自衛消防隊は火災現場には消防隊で出向し、防護具着用する必要がないため考慮しない。 ブルーム通過以降(2日目以降)、1~7号伊対応の要員は緊急時対策要員111名+5号伊運転員8名であり、機組班要員54名、現場要員57名及び5号伊運転員8名で構成されている。このうち、本部要員は、緊急時対策所を隣接化することにより、防護具着用する必要がないが、全要員は</p>	品名	配備数(6/7号伊共用)*7		中央制御室	構内(参考)	不織布カバーオール	420着**	約5,000着	靴下	420足**	約5,000足	帽子	420着**	約5,000着	網手袋	420双**	約5,000双	ゴム手袋	840双**	約15,000双	全面マスク	180個**	約2,000個	チャコールフィルタ	840個**	約5,000個	アノラック	210着**	約3,000着	汚染区域用靴	10足**	約300足	タンダスタンベスト	—	10着	セルフニアセット**	4台	約100台	酸素呼吸器**	5台	約20台	<p>(2) 放射線防護資機材品名と配備数</p> <p>○防護具</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="2">配備数(6/7号伊共用)*7</th> </tr> <tr> <th>中央制御室</th> <th>構内(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不織布カバーオール</td> <td>420着**</td> <td>約5,000着</td> </tr> <tr> <td>靴下</td> <td>420足**</td> <td>約5,000足</td> </tr> <tr> <td>帽子</td> <td>420着**</td> <td>約5,000着</td> </tr> <tr> <td>網手袋</td> <td>420双**</td> <td>約5,000双</td> </tr> <tr> <td>ゴム手袋</td> <td>840双**</td> <td>約15,000双</td> </tr> <tr> <td>全面マスク</td> <td>180個**</td> <td>約2,000個</td> </tr> <tr> <td>チャコールフィルタ</td> <td>840個**</td> <td>約5,000個</td> </tr> <tr> <td>アノラック</td> <td>210着**</td> <td>約3,000着</td> </tr> <tr> <td>汚染区域用靴</td> <td>10足**</td> <td>約300足</td> </tr> <tr> <td>タンダスタンベスト</td> <td>—</td> <td>10着</td> </tr> <tr> <td>セルフニアセット**</td> <td>4台</td> <td>約100台</td> </tr> <tr> <td>酸素呼吸器**</td> <td>5台</td> <td>約20台</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 180名(1~7号伊対応の緊急時対策要員164名+自衛消防隊10名+余裕、以下同様)×7日×1.5倍 ※2: ※1×2 ※3: 180名×3日(除染による再使用を考慮)×1.5倍 ※4: 180名×7日×1.5倍×50%(年間降水日数を考慮) ※5: 80名(1~7号伊対応の現場復旧班要員66名+保安班要員15名)×0.5(現場要員の半数) ※6: 14名(ブルーム通過時現場復旧班要員14名) ※7: 予備を含む(今後、訓練等で見直しを行う) ※8: 20名(6/7号伊運転員18名+余裕)×2交代×7日×1.5倍 ※9: ※8×2 ※10: 20名(6/7号伊運転員18名+余裕)×2交代×3日(除染による再使用を考慮)×1.5倍 ※11: 20名(6/7号伊運転員18名+余裕)×2交代×7日×1.5倍×50%(年間降水日数を考慮) ※12: 20名(6/7号伊運転員18名+余裕)×0.5(現場要員の半数) ※13: 初期対応用3台+予備1台 ※14: インターフェイスシステムLOCA等対応用4台+予備1台</p> <p>- 1.5倍の妥当性の確認について 【緊急時対策所】 初動態勢時(1日目)、1~7号伊対応の緊急時対策要員数は164名+自衛消防隊10名であり、機組班要員84名、現場要員80名及び自衛消防隊10名で構成されている。このうち、本部要員は、緊急時対策所を隣接化することにより、防護具着用する必要がないが、全要員は12時間に1回交代するため、2回の交代分を考慮する。また、現場要員80名は、1日に6回現場に行くことを想定する。自衛消防隊は火災現場には消防隊で出向し、防護具着用する必要がないため考慮しない。 ブルーム通過以降(2日目以降)、1~7号伊対応の緊急時対策要員数は71名であり、機組班要員54名、現場要員17名及び自衛消防隊10名で構成されている。このうち、本部要員は、緊急時対策所を隣接化することにより、防護具着用する必要がないが、全要員は7日目に隣に1回交代するため、1回の交代分を考慮する。また、現場要員は1日に6回現場に行くことを想定する。自</p>	品名	配備数(6/7号伊共用)*7		中央制御室	構内(参考)	不織布カバーオール	420着**	約5,000着	靴下	420足**	約5,000足	帽子	420着**	約5,000着	網手袋	420双**	約5,000双	ゴム手袋	840双**	約15,000双	全面マスク	180個**	約2,000個	チャコールフィルタ	840個**	約5,000個	アノラック	210着**	約3,000着	汚染区域用靴	10足**	約300足	タンダスタンベスト	—	10着	セルフニアセット**	4台	約100台	酸素呼吸器**	5台	約20台	<p>⑤ (体制見直しと 保管資機材数量 の再検討)</p>
品名	配備数(6/7号伊共用)*7																																																																																						
	中央制御室	構内(参考)																																																																																					
不織布カバーオール	420着**	約5,000着																																																																																					
靴下	420足**	約5,000足																																																																																					
帽子	420着**	約5,000着																																																																																					
網手袋	420双**	約5,000双																																																																																					
ゴム手袋	840双**	約15,000双																																																																																					
全面マスク	180個**	約2,000個																																																																																					
チャコールフィルタ	840個**	約5,000個																																																																																					
アノラック	210着**	約3,000着																																																																																					
汚染区域用靴	10足**	約300足																																																																																					
タンダスタンベスト	—	10着																																																																																					
セルフニアセット**	4台	約100台																																																																																					
酸素呼吸器**	5台	約20台																																																																																					
品名	配備数(6/7号伊共用)*7																																																																																						
	中央制御室	構内(参考)																																																																																					
不織布カバーオール	420着**	約5,000着																																																																																					
靴下	420足**	約5,000足																																																																																					
帽子	420着**	約5,000着																																																																																					
網手袋	420双**	約5,000双																																																																																					
ゴム手袋	840双**	約15,000双																																																																																					
全面マスク	180個**	約2,000個																																																																																					
チャコールフィルタ	840個**	約5,000個																																																																																					
アノラック	210着**	約3,000着																																																																																					
汚染区域用靴	10足**	約300足																																																																																					
タンダスタンベスト	—	10着																																																																																					
セルフニアセット**	4台	約100台																																																																																					
酸素呼吸器**	5台	約20台																																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.3 通信連絡設備の必要な容量及びデータ回線容量について

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

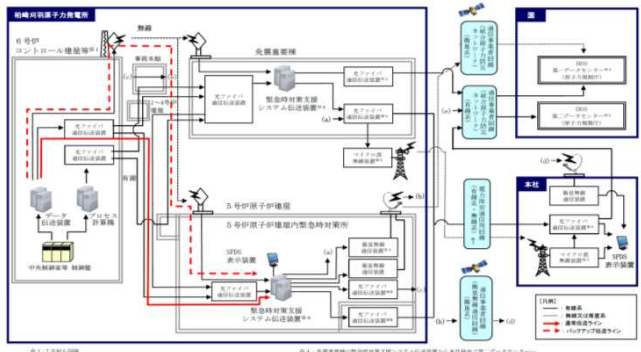
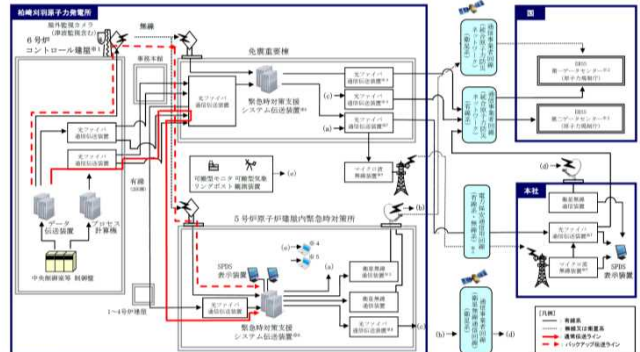
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																												
251	補足説明資料 61-9-5.3	61-9-5-26	<p>表5.3-1の内容、欄外の項目変更</p> <p>表 5.3-1 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の通信連絡設備の必要容量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要設備</th> <th>数量^{※1}</th> <th>最低必要数量^{※2}</th> <th>最低必要数量^{※3}の根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">発電所内外</td> <td>衛星電話設備 (常設)</td> <td>9台</td> <td>5台</td> <td>号機班3台 (6,7号炉中央制御室連絡用2台、停止号炉中央制御室連絡用1台)、通報班1台、共用1台</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (可搬型)</td> <td>15台</td> <td>3台</td> <td>共用 (モニタリングカー等)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">発電所内</td> <td rowspan="2">電力保安通信用電話設備</td> <td>固定電話機</td> <td>19台</td> <td>4台</td> <td>号機班 (6号炉) 2台 (中央制御室連絡用)、号機班 (7号炉) 2台 (中央制御室連絡用)</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>2台</td> <td>2台</td> <td>6号炉中央制御室連絡用1台、7号炉中央制御室連絡用1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">送受話器</td> <td>ハンドセット</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td rowspan="2">所内連絡用</td> </tr> <tr> <td>スピーカー</td> <td>2台</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無線連絡設備</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td>4台</td> <td>4台</td> <td>復旧班現場連絡用4台</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (可搬型)</td> <td>90台</td> <td>18台</td> <td>現場連絡用18台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">携帯型音声呼出電話設備</td> <td>携帯型音声呼出電話機</td> <td>6台</td> <td>4台</td> <td>対策本部2台、待機場所2台、予備2台</td> </tr> <tr> <td>中継用ケーブルドラム</td> <td>2台</td> <td>2台</td> <td>対策本部-待機場所間の通信連絡用2台</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">発電所外</td> <td rowspan="5">統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>社内外会議用</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機 (有線系)</td> <td>4台</td> <td>2台</td> <td>政府関係者用1台、当社用1台</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機 (衛星系)</td> <td>2台</td> <td>2台</td> <td>政府関係者用1台、当社用1台</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX (有線系)</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>発電所内外連絡用 共用</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX (衛星系)</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>発電所内外連絡用 共用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">衛星電話設備 (社内向)</td> <td>衛星社内電話機</td> <td>4台</td> <td>4台</td> <td>本社連絡用</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (社内向)</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>社内外会議用</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (社内向)</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>社内会議用</td> </tr> <tr> <td>専用電話設備 (自治体他向)</td> <td>7台</td> <td>—</td> <td>他の発電所外用通信連絡設備にて代用が可能</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 予備を含む (今後、訓練等で見直しを行う) ※2: 今後、訓練等で見直しを行う。</p>	通信種別	主要設備	数量 ^{※1}	最低必要数量 ^{※2}	最低必要数量 ^{※3} の根拠	発電所内外	衛星電話設備 (常設)	9台	5台	号機班3台 (6,7号炉中央制御室連絡用2台、停止号炉中央制御室連絡用1台)、通報班1台、共用1台	衛星電話設備 (可搬型)	15台	3台	共用 (モニタリングカー等)	発電所内	電力保安通信用電話設備	固定電話機	19台	4台	号機班 (6号炉) 2台 (中央制御室連絡用)、号機班 (7号炉) 2台 (中央制御室連絡用)	FAX	2台	2台	6号炉中央制御室連絡用1台、7号炉中央制御室連絡用1台	送受話器	ハンドセット	2台	1台	所内連絡用	スピーカー	2台	1台	無線連絡設備	無線連絡設備 (常設)	4台	4台	復旧班現場連絡用4台	無線連絡設備 (可搬型)	90台	18台	現場連絡用18台	携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	6台	4台	対策本部2台、待機場所2台、予備2台	中継用ケーブルドラム	2台	2台	対策本部-待機場所間の通信連絡用2台	発電所外	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)	1式	1式	社内外会議用	IP-電話機 (有線系)	4台	2台	政府関係者用1台、当社用1台	IP-電話機 (衛星系)	2台	2台	政府関係者用1台、当社用1台	IP-FAX (有線系)	1台	1台	発電所内外連絡用 共用	IP-FAX (衛星系)	1台	1台	発電所内外連絡用 共用	衛星電話設備 (社内向)	衛星社内電話機	4台	4台	本社連絡用	テレビ会議システム (社内向)	1式	1式	社内外会議用	テレビ会議システム (社内向)	1式	1式	社内会議用	専用電話設備 (自治体他向)	7台	—	他の発電所外用通信連絡設備にて代用が可能	<p>表 5.3-1 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の通信連絡設備の必要容量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通信種別</th> <th>主要設備</th> <th>数量^{※2}</th> <th>最低必要数量^{※3}</th> <th>最低必要数量^{※3}の根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">発電所内外</td> <td rowspan="3">電力保安通信用電話設備^{※1}</td> <td>固定電話機</td> <td>15台 (回線)</td> <td rowspan="2">[25台 (回線)]</td> <td rowspan="3">[本部2台、計画班2台、保安班2台、号機班6台、復旧班4台、通報班2台、立地・広報班2台、資材班2台、総務班3台]</td> </tr> <tr> <td>PHS 端末</td> <td>30台 (回線)</td> </tr> <tr> <td>FAX</td> <td>1台 (回線)</td> <td>[1台 (回線)]</td> <td>[社内外連絡用]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">衛星電話設備</td> <td>衛星電話設備 (常設)</td> <td>9台</td> <td>5台</td> <td>号機班3台 (6,7号炉中央制御室連絡用2台、停止号炉中央制御室連絡用1台)、通報班1台、共用1台</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (可搬型)</td> <td>19台</td> <td>3台</td> <td>共用 (モニタリングカー等)</td> </tr> <tr> <td>テレビ会議システム (社内向)</td> <td>1式</td> <td>[1式]</td> <td>[社内会議用]</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">発電所内</td> <td rowspan="2">送受話器</td> <td>ハンドセット</td> <td>2台</td> <td>[1台]</td> <td rowspan="2">[所内連絡用]</td> </tr> <tr> <td>スピーカー</td> <td>2台</td> <td>[1台]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無線連絡設備</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td>4台</td> <td>4台</td> <td>復旧班現場連絡用4台</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (可搬型)</td> <td>80台</td> <td>18台</td> <td>現場連絡用18台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">携帯型音声呼出電話設備</td> <td>携帯型音声呼出電話機</td> <td>4台</td> <td>4台</td> <td>対策本部2台 待機場所2台</td> </tr> <tr> <td>中継ドラム</td> <td>2台</td> <td>2台</td> <td>対策本部-待機場所間の通信連絡用1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">発電所外</td> <td rowspan="6">統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> <td>テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>社内外会議用</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機 (有線系)</td> <td>4台</td> <td>[2台]</td> <td>[政府関係者用1台、当社用1台]</td> </tr> <tr> <td>IP-電話機 (衛星系)</td> <td>2台</td> <td>2台</td> <td>政府関係者用1台、当社用1台</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX (有線系)</td> <td>1台</td> <td>[1台]</td> <td>[発電所内外連絡用 共用]</td> </tr> <tr> <td>IP-FAX (衛星系)</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>発電所内外連絡用 共用</td> </tr> <tr> <td>専用電話設備 (自治体他向)</td> <td>7台</td> <td>—</td> <td>他の発電所外用通信連絡設備にて代用が可能</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 局線加入電話設備に接続されており、発電所外への連絡も可能 ※2: 予備を含む (今後、訓練等で見直しを行う) ※3: 今後、訓練等で見直しを行う。[] 内は設計基準事故対応設備であり、参考として多様性も考慮した十分な容量を記載している。</p>	通信種別	主要設備	数量 ^{※2}	最低必要数量 ^{※3}	最低必要数量 ^{※3} の根拠	発電所内外	電力保安通信用電話設備 ^{※1}	固定電話機	15台 (回線)	[25台 (回線)]	[本部2台、計画班2台、保安班2台、号機班6台、復旧班4台、通報班2台、立地・広報班2台、資材班2台、総務班3台]	PHS 端末	30台 (回線)	FAX	1台 (回線)	[1台 (回線)]	[社内外連絡用]	衛星電話設備	衛星電話設備 (常設)	9台	5台	号機班3台 (6,7号炉中央制御室連絡用2台、停止号炉中央制御室連絡用1台)、通報班1台、共用1台	衛星電話設備 (可搬型)	19台	3台	共用 (モニタリングカー等)	テレビ会議システム (社内向)	1式	[1式]	[社内会議用]	発電所内	送受話器	ハンドセット	2台	[1台]	[所内連絡用]	スピーカー	2台	[1台]	無線連絡設備	無線連絡設備 (常設)	4台	4台	復旧班現場連絡用4台	無線連絡設備 (可搬型)	80台	18台	現場連絡用18台	携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	4台	4台	対策本部2台 待機場所2台	中継ドラム	2台	2台	対策本部-待機場所間の通信連絡用1台	発電所外	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)	1式	1式	社内外会議用	IP-電話機 (有線系)	4台	[2台]	[政府関係者用1台、当社用1台]	IP-電話機 (衛星系)	2台	2台	政府関係者用1台、当社用1台	IP-FAX (有線系)	1台	[1台]	[発電所内外連絡用 共用]	IP-FAX (衛星系)	1台	1台	発電所内外連絡用 共用	専用電話設備 (自治体他向)	7台	—	他の発電所外用通信連絡設備にて代用が可能	<p>② (設計進捗による通信連絡設備配備台数見直し)</p>
通信種別	主要設備	数量 ^{※1}	最低必要数量 ^{※2}	最低必要数量 ^{※3} の根拠																																																																																																																																																																													
発電所内外	衛星電話設備 (常設)	9台	5台	号機班3台 (6,7号炉中央制御室連絡用2台、停止号炉中央制御室連絡用1台)、通報班1台、共用1台																																																																																																																																																																													
	衛星電話設備 (可搬型)	15台	3台	共用 (モニタリングカー等)																																																																																																																																																																													
発電所内	電力保安通信用電話設備	固定電話機	19台	4台	号機班 (6号炉) 2台 (中央制御室連絡用)、号機班 (7号炉) 2台 (中央制御室連絡用)																																																																																																																																																																												
		FAX	2台	2台	6号炉中央制御室連絡用1台、7号炉中央制御室連絡用1台																																																																																																																																																																												
	送受話器	ハンドセット	2台	1台	所内連絡用																																																																																																																																																																												
		スピーカー	2台	1台																																																																																																																																																																													
	無線連絡設備	無線連絡設備 (常設)	4台	4台	復旧班現場連絡用4台																																																																																																																																																																												
		無線連絡設備 (可搬型)	90台	18台	現場連絡用18台																																																																																																																																																																												
	携帯型音声呼出電話設備	携帯型音声呼出電話機	6台	4台	対策本部2台、待機場所2台、予備2台																																																																																																																																																																												
		中継用ケーブルドラム	2台	2台	対策本部-待機場所間の通信連絡用2台																																																																																																																																																																												
	発電所外	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)	1式	1式	社内外会議用																																																																																																																																																																											
			IP-電話機 (有線系)	4台	2台	政府関係者用1台、当社用1台																																																																																																																																																																											
IP-電話機 (衛星系)			2台	2台	政府関係者用1台、当社用1台																																																																																																																																																																												
IP-FAX (有線系)			1台	1台	発電所内外連絡用 共用																																																																																																																																																																												
IP-FAX (衛星系)			1台	1台	発電所内外連絡用 共用																																																																																																																																																																												
衛星電話設備 (社内向)		衛星社内電話機	4台	4台	本社連絡用																																																																																																																																																																												
		テレビ会議システム (社内向)	1式	1式	社内外会議用																																																																																																																																																																												
テレビ会議システム (社内向)		1式	1式	社内会議用																																																																																																																																																																													
専用電話設備 (自治体他向)		7台	—	他の発電所外用通信連絡設備にて代用が可能																																																																																																																																																																													
通信種別		主要設備	数量 ^{※2}	最低必要数量 ^{※3}	最低必要数量 ^{※3} の根拠																																																																																																																																																																												
発電所内外	電力保安通信用電話設備 ^{※1}	固定電話機	15台 (回線)	[25台 (回線)]	[本部2台、計画班2台、保安班2台、号機班6台、復旧班4台、通報班2台、立地・広報班2台、資材班2台、総務班3台]																																																																																																																																																																												
		PHS 端末	30台 (回線)																																																																																																																																																																														
		FAX	1台 (回線)	[1台 (回線)]		[社内外連絡用]																																																																																																																																																																											
	衛星電話設備	衛星電話設備 (常設)	9台	5台	号機班3台 (6,7号炉中央制御室連絡用2台、停止号炉中央制御室連絡用1台)、通報班1台、共用1台																																																																																																																																																																												
		衛星電話設備 (可搬型)	19台	3台	共用 (モニタリングカー等)																																																																																																																																																																												
		テレビ会議システム (社内向)	1式	[1式]	[社内会議用]																																																																																																																																																																												
	発電所内	送受話器	ハンドセット	2台	[1台]	[所内連絡用]																																																																																																																																																																											
			スピーカー	2台	[1台]																																																																																																																																																																												
		無線連絡設備	無線連絡設備 (常設)	4台	4台	復旧班現場連絡用4台																																																																																																																																																																											
			無線連絡設備 (可搬型)	80台	18台	現場連絡用18台																																																																																																																																																																											
携帯型音声呼出電話設備		携帯型音声呼出電話機	4台	4台	対策本部2台 待機場所2台																																																																																																																																																																												
	中継ドラム	2台	2台	対策本部-待機場所間の通信連絡用1台																																																																																																																																																																													
発電所外	統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	テレビ会議システム (衛星系・有線系 共用)	1式	1式	社内外会議用																																																																																																																																																																												
		IP-電話機 (有線系)	4台	[2台]	[政府関係者用1台、当社用1台]																																																																																																																																																																												
		IP-電話機 (衛星系)	2台	2台	政府関係者用1台、当社用1台																																																																																																																																																																												
		IP-FAX (有線系)	1台	[1台]	[発電所内外連絡用 共用]																																																																																																																																																																												
		IP-FAX (衛星系)	1台	1台	発電所内外連絡用 共用																																																																																																																																																																												
		専用電話設備 (自治体他向)	7台	—	他の発電所外用通信連絡設備にて代用が可能																																																																																																																																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.4 SPDSのデータ伝送概要とパラメータについて

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
252	補足説明資料 61-9 5.4	61-9-5-30	 <p>図 5.4-1 安全パラメータ表示システム (SPDS) 等のデータ伝送概要</p>	 <p>図 5.4-1 必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム (SPDS)) 等のデータ伝送概要</p>	⑤ 設備名称の 適正化

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																					
253	補足説明資料 61-9 5.4	61-9-5-32	<p style="text-align: center;">6号炉 (2/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>EBSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>原子炉水位 (広帯域) (A)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位 (広帯域) (C)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位 (広帯域) (F)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位 (燃料域) P.B.V</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位 (燃料域) (A)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位 (燃料域) (B)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位 (S.A) (ワイド)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位 (S.A) (ナロー)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td>炉心冷却の 状態確認</td><td>炉水温度 P.B.V</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>逃し安全弁 開</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (気相部)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (液相部)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (計装配管)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (気相部)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (液相部)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (計装配管)</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	EBSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ		原子炉水位 (広帯域) (A)	○	—	○		原子炉水位 (広帯域) (C)	○	—	○		原子炉水位 (広帯域) (F)	○	—	○		原子炉水位 (燃料域) P.B.V	○	○	○		原子炉水位 (燃料域) (A)	○	—	○		原子炉水位 (燃料域) (B)	○	—	○		原子炉水位 (S.A) (ワイド)	○	—	○		原子炉水位 (S.A) (ナロー)	○	—	○	炉心冷却の 状態確認	炉水温度 P.B.V	○	○	○		逃し安全弁 開	○	○	○		原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (気相部)	○	—	○		原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (液相部)	○	—	○		原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (計装配管)	○	—	○		原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (気相部)	○	—	○		原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (液相部)	○	—	○		原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (計装配管)	○	—	○	—	① 表示パラメータ の追加
目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	EBSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																						
	原子炉水位 (広帯域) (A)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位 (広帯域) (C)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位 (広帯域) (F)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位 (燃料域) P.B.V	○	○	○																																																																																						
	原子炉水位 (燃料域) (A)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位 (燃料域) (B)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位 (S.A) (ワイド)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位 (S.A) (ナロー)	○	—	○																																																																																						
炉心冷却の 状態確認	炉水温度 P.B.V	○	○	○																																																																																						
	逃し安全弁 開	○	○	○																																																																																						
	原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (気相部)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (液相部)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位計凝縮槽 (A) 温度 (計装配管)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (気相部)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (液相部)	○	—	○																																																																																						
	原子炉水位計凝縮槽 (B) 温度 (計装配管)	○	—	○																																																																																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
254	補足説明 資料 61-9 5.4	61-9-5- 33	<p style="text-align: center;">6号炉 (3/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>H P C F (B) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>H P C F (C) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>高圧炉心注水系 (B) ポンプ吐出圧力</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>高圧炉心注水系 (C) ポンプ吐出圧力</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>R C I C 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>高圧代替注水系系統流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>R H R (A) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>R H R (B) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>R H R (C) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (A) 入口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (B) 入口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (C) 入口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (A) 出口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (B) 出口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (C) 出口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (A) 入口冷却水流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (B) 入口冷却水流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (C) 入口冷却水流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉補機冷却水系 (A) 系統流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉補機冷却水系 (B) 系統流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉補機冷却水系 (C) 系統流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6A1 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6A2 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6B1 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6B2 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6SA1 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6SA2 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6SB1 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6SB2 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6C 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6D 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6E 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>D/G 6A 遮断器 投入</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>D/G 6B 遮断器 投入</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>D/G 6C 遮断器 投入</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力容器下鏡上部温度)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系流量 (R H R A 系代替注水 量)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>復水貯蔵槽水位 (S A)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ		H P C F (B) 系統流量	○	○	○		H P C F (C) 系統流量	○	○	○		高圧炉心注水系 (B) ポンプ吐出圧力	○	-	○		高圧炉心注水系 (C) ポンプ吐出圧力	○	-	○		R C I C 系統流量	○	○	○		高圧代替注水系系統流量	○	-	○		R H R (A) 系統流量	○	○	○		R H R (B) 系統流量	○	○	○		R H R (C) 系統流量	○	○	○		残留熱除去系熱交換器 (A) 入口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (B) 入口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (C) 入口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (A) 出口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (B) 出口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (C) 出口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (A) 入口冷却水流量	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (B) 入口冷却水流量	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (C) 入口冷却水流量	○	-	○		原子炉補機冷却水系 (A) 系統流量	○	-	○		原子炉補機冷却水系 (B) 系統流量	○	-	○		原子炉補機冷却水系 (C) 系統流量	○	-	○		6.9 kV 6A1 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6A2 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6B1 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6B2 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6SA1 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6SA2 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6SB1 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6SB2 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6C 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6D 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6E 母線電圧	○	○	○		D/G 6A 遮断器 投入	○	○	○		D/G 6B 遮断器 投入	○	○	○		D/G 6C 遮断器 投入	○	○	○		原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力容器下鏡上部温度)	○	-	○		復水補給水系流量 (R H R A 系代替注水 量)	○	-	○		復水貯蔵槽水位 (S A)	○	-	○	<p style="text-align: center;">6号炉 (2/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>H P C F (B) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>H P C F (C) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>R C I C 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>高圧代替注水系系統流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>R H R (A) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>R H R (B) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>R H R (C) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (A) 入口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (B) 入口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (C) 入口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (A) 出口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (B) 出口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (C) 出口温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (A) 入口冷却水流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (B) 入口冷却水流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系熱交換器 (C) 入口冷却水流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉補機冷却水系 (A) 系統流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉補機冷却水系 (B) 系統流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉補機冷却水系 (C) 系統流量</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6A1 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6A2 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6B1 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6B2 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6SA1 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6SA2 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6SB1 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6SB2 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6C 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6D 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>6.9 kV 6E 母線電圧</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>D/G 6A 遮断器 投入</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>D/G 6B 遮断器 投入</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>D/G 6C 遮断器 投入</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力容器下鏡上部温度)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系流量 (原子炉圧力容器 (R P V 注水流量))</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>復水貯蔵槽水位 (S A)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ		H P C F (B) 系統流量	○	○	○		H P C F (C) 系統流量	○	○	○		R C I C 系統流量	○	○	○		高圧代替注水系系統流量	○	-	○		R H R (A) 系統流量	○	○	○		R H R (B) 系統流量	○	○	○		R H R (C) 系統流量	○	○	○		残留熱除去系熱交換器 (A) 入口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (B) 入口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (C) 入口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (A) 出口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (B) 出口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (C) 出口温度	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (A) 入口冷却水流量	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (B) 入口冷却水流量	○	-	○		残留熱除去系熱交換器 (C) 入口冷却水流量	○	-	○		原子炉補機冷却水系 (A) 系統流量	○	-	○		原子炉補機冷却水系 (B) 系統流量	○	-	○		原子炉補機冷却水系 (C) 系統流量	○	-	○		6.9 kV 6A1 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6A2 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6B1 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6B2 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6SA1 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6SA2 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6SB1 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6SB2 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6C 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6D 母線電圧	○	○	○		6.9 kV 6E 母線電圧	○	○	○		D/G 6A 遮断器 投入	○	○	○		D/G 6B 遮断器 投入	○	○	○		D/G 6C 遮断器 投入	○	○	○		原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力容器下鏡上部温度)	○	-	○		復水補給水系流量 (原子炉圧力容器 (R P V 注水流量))	○	-	○		復水貯蔵槽水位 (S A)	○	-	○	① 表示パラメータ の追加
			目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	H P C F (B) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	H P C F (C) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧炉心注水系 (B) ポンプ吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧炉心注水系 (C) ポンプ吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R C I C 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧代替注水系系統流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R H R (A) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R H R (B) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R H R (C) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (A) 入口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (B) 入口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (C) 入口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (A) 出口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (B) 出口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (C) 出口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (A) 入口冷却水流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (B) 入口冷却水流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (C) 入口冷却水流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉補機冷却水系 (A) 系統流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉補機冷却水系 (B) 系統流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉補機冷却水系 (C) 系統流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6A1 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6A2 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6B1 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6B2 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6SA1 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6SA2 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6SB1 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6SB2 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6C 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6D 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6E 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D/G 6A 遮断器 投入	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D/G 6B 遮断器 投入	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D/G 6C 遮断器 投入	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力容器下鏡上部温度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	復水補給水系流量 (R H R A 系代替注水 量)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	復水貯蔵槽水位 (S A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	H P C F (B) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	H P C F (C) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R C I C 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧代替注水系系統流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R H R (A) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R H R (B) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	R H R (C) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (A) 入口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (B) 入口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (C) 入口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (A) 出口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (B) 出口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (C) 出口温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (A) 入口冷却水流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (B) 入口冷却水流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器 (C) 入口冷却水流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉補機冷却水系 (A) 系統流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉補機冷却水系 (B) 系統流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉補機冷却水系 (C) 系統流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6A1 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6A2 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6B1 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6B2 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6SA1 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6SA2 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6SB1 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6SB2 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6C 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6D 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	6.9 kV 6E 母線電圧	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D/G 6A 遮断器 投入	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D/G 6B 遮断器 投入	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D/G 6C 遮断器 投入	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	原子炉圧力容器温度 (原子炉圧力容器下鏡上部温度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	復水補給水系流量 (原子炉圧力容器 (R P V 注水流量))	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	復水貯蔵槽水位 (S A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
255	補足説明資料 61-9 5.4	61-9-5-34	<p style="text-align: center;">6号炉 (4/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>CAMS (A) D/W放射能</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) D/W放射能</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (A) S/C放射能</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) S/C放射能</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>ドライウエル圧力 (広帯域) (最大)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内圧力 (D/W)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッションチェンバ圧力 (最大)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内圧力 (S/C)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RPVベロシール部周辺温度 (最大)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッションプール水位 BV</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>S/P水温度 (最大)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間上部)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間下部)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (下部)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (A) 水素濃度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) 水素濃度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内水素濃度 (SA) (D/W)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内水素濃度 (SA) (S/C)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (A) 酸素濃度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) 酸素濃度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (A) サンプル切替 (D/W)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) サンプル切替 (D/W)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR (A) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR (B) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR (C) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR格納容器冷却ライン隔離弁B 全閉以外</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR格納容器冷却ライン隔離弁C 全閉以外</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系ポンプ (A) 吐出圧力</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系ポンプ (B) 吐出圧力</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系ポンプ (C) 吐出圧力</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>ドライウエル雰囲気温度 (上部ドライウエルランジ部雰囲気温度)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>ドライウエル雰囲気温度 (下部ドライウエルリターンライン上部雰囲気温度)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>格納容器内の状態確認</p>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ		CAMS (A) D/W放射能	○	○	○		CAMS (B) D/W放射能	○	○	○		CAMS (A) S/C放射能	○	○	○		CAMS (B) S/C放射能	○	○	○		ドライウエル圧力 (広帯域) (最大)	○	○	○		格納容器内圧力 (D/W)	○	-	○		サブプレッションチェンバ圧力 (最大)	○	○	○		格納容器内圧力 (S/C)	○	-	○		RPVベロシール部周辺温度 (最大)	○	○	○		サブプレッションプール水位 BV	○	○	○		サブプレッション・チェンバ・プール水位	○	-	○		サブプレッション・チェンバ気体温度	○	-	○		S/P水温度 (最大)	○	○	○		サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間上部)	○	-	○		サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間下部)	○	-	○		サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (下部)	○	-	○		CAMS (A) 水素濃度	○	○	○		CAMS (B) 水素濃度	○	○	○		格納容器内水素濃度 (SA) (D/W)	○	-	○		格納容器内水素濃度 (SA) (S/C)	○	-	○		CAMS (A) 酸素濃度	○	○	○		CAMS (B) 酸素濃度	○	○	○		CAMS (A) サンプル切替 (D/W)	○	○	○		CAMS (B) サンプル切替 (D/W)	○	○	○		RHR (A) 系統流量	○	○	○		RHR (B) 系統流量	○	○	○		RHR (C) 系統流量	○	○	○		RHR格納容器冷却ライン隔離弁B 全閉以外	○	○	○		RHR格納容器冷却ライン隔離弁C 全閉以外	○	○	○		残留熱除去系ポンプ (A) 吐出圧力	○	-	○		残留熱除去系ポンプ (B) 吐出圧力	○	-	○		残留熱除去系ポンプ (C) 吐出圧力	○	-	○		ドライウエル雰囲気温度 (上部ドライウエルランジ部雰囲気温度)	○	-	○		ドライウエル雰囲気温度 (下部ドライウエルリターンライン上部雰囲気温度)	○	-	○		復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)	○	-	○	<p style="text-align: center;">6号炉 (3/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>CAMS (A) D/W放射能</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) D/W放射能</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (A) S/C放射能</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) S/C放射能</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>ドライウエル圧力 (広帯域) (最大)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内圧力 (D/W)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッションチェンバ圧力 (最大)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内圧力 (S/C)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RPVベロシール部周辺温度 (最大)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッションプール水位 BV</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>S/P水温度 (最大)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間上部)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間下部)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (下部)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (A) 水素濃度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) 水素濃度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内水素濃度 (SA) (D/W)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器内水素濃度 (SA) (S/C)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (A) 酸素濃度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) 酸素濃度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (A) サンプル切替 (D/W)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>CAMS (B) サンプル切替 (D/W)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR (A) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR (B) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR (C) 系統流量</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR格納容器冷却ライン隔離弁B 全閉以外</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>RHR格納容器冷却ライン隔離弁C 全閉以外</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系ポンプ (A) 吐出圧力</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系ポンプ (B) 吐出圧力</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>残留熱除去系ポンプ (C) 吐出圧力</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>ドライウエル雰囲気温度 (上部ドライウエルランジ部雰囲気温度)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>ドライウエル雰囲気温度 (下部ドライウエルリターンライン上部雰囲気温度)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td>復水補給水系流量 (原子炉格納容器) (ドライウエル注水流量)</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>格納容器内の状態確認</p>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ		CAMS (A) D/W放射能	○	○	○		CAMS (B) D/W放射能	○	○	○		CAMS (A) S/C放射能	○	○	○		CAMS (B) S/C放射能	○	○	○		ドライウエル圧力 (広帯域) (最大)	○	○	○		格納容器内圧力 (D/W)	○	-	○		サブプレッションチェンバ圧力 (最大)	○	○	○		格納容器内圧力 (S/C)	○	-	○		RPVベロシール部周辺温度 (最大)	○	○	○		サブプレッションプール水位 BV	○	○	○		サブプレッション・チェンバ・プール水位	○	-	○		サブプレッション・チェンバ気体温度	○	-	○		S/P水温度 (最大)	○	○	○		サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間上部)	○	-	○		サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間下部)	○	-	○		サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (下部)	○	-	○		CAMS (A) 水素濃度	○	○	○		CAMS (B) 水素濃度	○	○	○		格納容器内水素濃度 (SA) (D/W)	○	-	○		格納容器内水素濃度 (SA) (S/C)	○	-	○		CAMS (A) 酸素濃度	○	○	○		CAMS (B) 酸素濃度	○	○	○		CAMS (A) サンプル切替 (D/W)	○	○	○		CAMS (B) サンプル切替 (D/W)	○	○	○		RHR (A) 系統流量	○	○	○		RHR (B) 系統流量	○	○	○		RHR (C) 系統流量	○	○	○		RHR格納容器冷却ライン隔離弁B 全閉以外	○	○	○		RHR格納容器冷却ライン隔離弁C 全閉以外	○	○	○		残留熱除去系ポンプ (A) 吐出圧力	○	-	○		残留熱除去系ポンプ (B) 吐出圧力	○	-	○		残留熱除去系ポンプ (C) 吐出圧力	○	-	○		ドライウエル雰囲気温度 (上部ドライウエルランジ部雰囲気温度)	○	-	○		ドライウエル雰囲気温度 (下部ドライウエルリターンライン上部雰囲気温度)	○	-	○		復水補給水系流量 (原子炉格納容器) (ドライウエル注水流量)	○	-	○	① 表示パラメータの追加
			目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	CAMS (A) D/W放射能	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) D/W放射能	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) S/C放射能	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) S/C放射能	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドライウエル圧力 (広帯域) (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内圧力 (D/W)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッションチェンバ圧力 (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内圧力 (S/C)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RPVベロシール部周辺温度 (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッションプール水位 BV	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ・プール水位	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ気体温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	S/P水温度 (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間上部)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間下部)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (下部)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) 水素濃度	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) 水素濃度	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内水素濃度 (SA) (D/W)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内水素濃度 (SA) (S/C)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) 酸素濃度	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) 酸素濃度	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) サンプル切替 (D/W)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) サンプル切替 (D/W)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR (A) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR (B) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR (C) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR格納容器冷却ライン隔離弁B 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR格納容器冷却ライン隔離弁C 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	残留熱除去系ポンプ (A) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	残留熱除去系ポンプ (B) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	残留熱除去系ポンプ (C) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドライウエル雰囲気温度 (上部ドライウエルランジ部雰囲気温度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドライウエル雰囲気温度 (下部ドライウエルリターンライン上部雰囲気温度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) D/W放射能	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) D/W放射能	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) S/C放射能	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) S/C放射能	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドライウエル圧力 (広帯域) (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内圧力 (D/W)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッションチェンバ圧力 (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内圧力 (S/C)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RPVベロシール部周辺温度 (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッションプール水位 BV	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ・プール水位	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ気体温度	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	S/P水温度 (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間上部)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (中間下部)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度 (下部)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) 水素濃度	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) 水素濃度	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内水素濃度 (SA) (D/W)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	格納容器内水素濃度 (SA) (S/C)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) 酸素濃度	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) 酸素濃度	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (A) サンプル切替 (D/W)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	CAMS (B) サンプル切替 (D/W)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR (A) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR (B) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR (C) 系統流量	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR格納容器冷却ライン隔離弁B 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	RHR格納容器冷却ライン隔離弁C 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	残留熱除去系ポンプ (A) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	残留熱除去系ポンプ (B) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	残留熱除去系ポンプ (C) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドライウエル雰囲気温度 (上部ドライウエルランジ部雰囲気温度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	ドライウエル雰囲気温度 (下部ドライウエルリターンライン上部雰囲気温度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	復水補給水系流量 (原子炉格納容器) (ドライウエル注水流量)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
256	補足説明 資料 61-9 5.4	61-9-5- 35	<p style="text-align: center;">6号炉 (5 / 10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">格納容器内 の状態確認</td> <td>復水移送ポンプ (A) 吐出圧力</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ (B) 吐出圧力</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ (C) 吐出圧力</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復水補給水温度 (代替循環冷却)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (3m))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (2m))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (1m))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復水補給水流量 (格納容器下部注水流量)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">放射能隔離 の状態確認</td> <td>排気筒排気放射能 (IC) (最大)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>排気筒排気 (SCIN) 放射能 (A)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>排気筒排気 (SCIN) 放射能 (B)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (1)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (2)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (3)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (4)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>PCIS 隔離 内側</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>PCIS 隔離 外側</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>MSIV (内側) 閉</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気内側隔離弁 (A) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気内側隔離弁 (B) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気内側隔離弁 (C) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気内側隔離弁 (D) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>MSIV (外側) 閉</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気外側隔離弁 (A) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気外側隔離弁 (B) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気外側隔離弁 (C) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気外側隔離弁 (D) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">環境の情報 確認</td> <td>SGTS (A) 作動 (1系)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SGTS (B) 作動 (1系)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SGTS 排ガス放射能 (IC) (最大)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (A)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (B)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系 (A) 排気流量</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系 (B) 排気流量</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋外気差圧 (A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋外気差圧 (B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋外気差圧 (C)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋外気差圧 (D)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6号機 海水モニタ (指数タイプ)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-*</td> </tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ	格納容器内 の状態確認	復水移送ポンプ (A) 吐出圧力	○	-	○	復水移送ポンプ (B) 吐出圧力	○	-	○	復水移送ポンプ (C) 吐出圧力	○	-	○	復水補給水温度 (代替循環冷却)	○	-	○	格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (3m))	○	-	○	格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (2m))	○	-	○	格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (1m))	○	-	○	復水補給水流量 (格納容器下部注水流量)	○	-	○	放射能隔離 の状態確認	排気筒排気放射能 (IC) (最大)	○	○	○	排気筒排気 (SCIN) 放射能 (A)	○	○	○	排気筒排気 (SCIN) 放射能 (B)	○	○	○	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (1)	○	○	○	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (2)	○	○	○	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (3)	○	○	○	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (4)	○	○	○	PCIS 隔離 内側	○	○	○	PCIS 隔離 外側	○	○	○	MSIV (内側) 閉	○	○	○	主蒸気内側隔離弁 (A) 全閉以外	○	○	○	主蒸気内側隔離弁 (B) 全閉以外	○	○	○	主蒸気内側隔離弁 (C) 全閉以外	○	○	○	主蒸気内側隔離弁 (D) 全閉以外	○	○	○	MSIV (外側) 閉	○	○	○	主蒸気外側隔離弁 (A) 全閉以外	○	○	○	主蒸気外側隔離弁 (B) 全閉以外	○	○	○	主蒸気外側隔離弁 (C) 全閉以外	○	○	○	主蒸気外側隔離弁 (D) 全閉以外	○	○	○	環境の情報 確認	SGTS (A) 作動 (1系)	○	○	○	SGTS (B) 作動 (1系)	○	○	○	SGTS 排ガス放射能 (IC) (最大)	○	○	○	SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (A)	○	○	○	SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (B)	○	○	○	非常用ガス処理系 (A) 排気流量	○	-	○	非常用ガス処理系 (B) 排気流量	○	-	○	原子炉建屋外気差圧 (A)	○	-	○	原子炉建屋外気差圧 (B)	○	-	○	原子炉建屋外気差圧 (C)	○	-	○	原子炉建屋外気差圧 (D)	○	-	○	6号機 海水モニタ (指数タイプ)	○	○	-*	<p style="text-align: center;">6号炉 (4 / 9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">格納容器内 の状態確認</td> <td>復水移送ポンプ (A) 吐出圧力</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ (B) 吐出圧力</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ (C) 吐出圧力</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>復水補給水温度 (代替循環冷却)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(ベデスタル水位高 (3m))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>格納容器下部水位</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(ベデスタル水位高 (2m))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">放射能隔離 の状態確認</td> <td>排気筒排気放射能 (IC) (最大)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>排気筒排気 (SCIN) 放射能 (A)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>排気筒排気 (SCIN) 放射能 (B)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (1)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (2)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (3)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (4)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>PCIS 隔離 内側</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>PCIS 隔離 外側</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>MSIV (内側) 閉</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気内側隔離弁 (A) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気内側隔離弁 (B) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気内側隔離弁 (C) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気内側隔離弁 (D) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>MSIV (外側) 閉</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気外側隔離弁 (A) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気外側隔離弁 (B) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気外側隔離弁 (C) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>主蒸気外側隔離弁 (D) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">環境の情報 確認</td> <td>SGTS (A) 作動 (1系)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SGTS (B) 作動 (1系)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SGTS 排ガス放射能 (IC) (最大)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (A)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (B)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6号機 海水モニタ (指数タイプ)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-*</td> </tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ	格納容器内 の状態確認	復水移送ポンプ (A) 吐出圧力	○	-	○	復水移送ポンプ (B) 吐出圧力	○	-	○	復水移送ポンプ (C) 吐出圧力	○	-	○	復水補給水温度 (代替循環冷却)	○	-	○	格納容器下部水位	○	-	○	(ベデスタル水位高 (3m))	○	-	○	格納容器下部水位	○	-	○	(ベデスタル水位高 (2m))	○	-	○	放射能隔離 の状態確認	排気筒排気放射能 (IC) (最大)	○	○	○	排気筒排気 (SCIN) 放射能 (A)	○	○	○	排気筒排気 (SCIN) 放射能 (B)	○	○	○	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (1)	○	○	○	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (2)	○	○	○	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (3)	○	○	○	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (4)	○	○	○	PCIS 隔離 内側	○	○	○	PCIS 隔離 外側	○	○	○	MSIV (内側) 閉	○	○	○	主蒸気内側隔離弁 (A) 全閉以外	○	○	○	主蒸気内側隔離弁 (B) 全閉以外	○	○	○	主蒸気内側隔離弁 (C) 全閉以外	○	○	○	主蒸気内側隔離弁 (D) 全閉以外	○	○	○	MSIV (外側) 閉	○	○	○	主蒸気外側隔離弁 (A) 全閉以外	○	○	○	主蒸気外側隔離弁 (B) 全閉以外	○	○	○	主蒸気外側隔離弁 (C) 全閉以外	○	○	○	主蒸気外側隔離弁 (D) 全閉以外	○	○	○	環境の情報 確認	SGTS (A) 作動 (1系)	○	○	○	SGTS (B) 作動 (1系)	○	○	○	SGTS 排ガス放射能 (IC) (最大)	○	○	○	SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (A)	○	○	○	SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (B)	○	○	○	6号機 海水モニタ (指数タイプ)	○	○	-*	<p style="text-align: center;">① 表示パラメータ の追加</p>
			目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
格納容器内 の状態確認	復水移送ポンプ (A) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	復水移送ポンプ (B) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	復水移送ポンプ (C) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	復水補給水温度 (代替循環冷却)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (3m))	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (2m))	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	格納容器下部水位 (ベデスタル水位高 (1m))	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	復水補給水流量 (格納容器下部注水流量)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
放射能隔離 の状態確認	排気筒排気放射能 (IC) (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	排気筒排気 (SCIN) 放射能 (A)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	排気筒排気 (SCIN) 放射能 (B)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (1)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (2)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (3)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (4)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	PCIS 隔離 内側	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	PCIS 隔離 外側	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	MSIV (内側) 閉	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気内側隔離弁 (A) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気内側隔離弁 (B) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気内側隔離弁 (C) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気内側隔離弁 (D) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	MSIV (外側) 閉	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気外側隔離弁 (A) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
主蒸気外側隔離弁 (B) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
主蒸気外側隔離弁 (C) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
主蒸気外側隔離弁 (D) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
環境の情報 確認	SGTS (A) 作動 (1系)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SGTS (B) 作動 (1系)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SGTS 排ガス放射能 (IC) (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (A)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (B)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	非常用ガス処理系 (A) 排気流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	非常用ガス処理系 (B) 排気流量	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	原子炉建屋外気差圧 (A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	原子炉建屋外気差圧 (B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	原子炉建屋外気差圧 (C)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	原子炉建屋外気差圧 (D)	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	6号機 海水モニタ (指数タイプ)	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	格納容器内 の状態確認	復水移送ポンプ (A) 吐出圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
復水移送ポンプ (B) 吐出圧力		○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
復水移送ポンプ (C) 吐出圧力		○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
復水補給水温度 (代替循環冷却)		○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
格納容器下部水位		○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
(ベデスタル水位高 (3m))		○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
格納容器下部水位		○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
(ベデスタル水位高 (2m))		○	-	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
放射能隔離 の状態確認	排気筒排気放射能 (IC) (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	排気筒排気 (SCIN) 放射能 (A)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	排気筒排気 (SCIN) 放射能 (B)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (1)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (2)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (3)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気管放射能高 (スクラム) 区分 (4)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	PCIS 隔離 内側	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	PCIS 隔離 外側	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	MSIV (内側) 閉	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気内側隔離弁 (A) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気内側隔離弁 (B) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気内側隔離弁 (C) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気内側隔離弁 (D) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	MSIV (外側) 閉	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	主蒸気外側隔離弁 (A) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
主蒸気外側隔離弁 (B) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
主蒸気外側隔離弁 (C) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
主蒸気外側隔離弁 (D) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
環境の情報 確認	SGTS (A) 作動 (1系)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SGTS (B) 作動 (1系)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SGTS 排ガス放射能 (IC) (最大)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (A)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SGTS 排ガス (SCIN) 放射能 (B)	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	6号機 海水モニタ (指数タイプ)	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
257	補足説明 資料 61-9 5.4	61-9-5- 36	<p style="text-align: center;">6号炉 (6 / 10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 1 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 2 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 3 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 4 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 5 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 6 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 7 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 8 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 9 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 1 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 2 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 3 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 4 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 5 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 6 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 7 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 8 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 9 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風向 2.0 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風向 8.5 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風向 16.0 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風速 2.0 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風速 8.5 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風速 16.0 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>大気安定度</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 1 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 2 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 3 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 4 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 5 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 6 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 7 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 8 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ		モニタリングポストNo. 1 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 2 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 3 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 4 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 5 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 6 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 7 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 8 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 9 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 1 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 2 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 3 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 4 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 5 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 6 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 7 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 8 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 9 低線量率	○	○	-*		風向 2.0 m	○	○	-*		風向 8.5 m	○	○	-*		風向 16.0 m	○	○	-*		風速 2.0 m	○	○	-*		風速 8.5 m	○	○	-*		風速 16.0 m	○	○	-*		大気安定度	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 1 高線量率	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 2 高線量率	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 3 高線量率	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 4 高線量率	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 5 高線量率	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 6 高線量率	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 7 高線量率	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 8 高線量率	○	○	-*	<p style="text-align: center;">6号炉 (5 / 9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 1 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 2 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 3 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 4 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 5 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 6 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 7 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 8 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 9 高線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 1 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 2 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 3 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 4 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 5 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 6 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 7 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 8 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>モニタリングポストNo. 9 低線量率</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風向 2.0 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風向 8.5 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風向 16.0 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風速 2.0 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風速 8.5 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>風速 16.0 m</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>大気安定度</td><td>○</td><td>○</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 1 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 2 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 3 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 4 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 5 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 6 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 7 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 8 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 9 高線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 1 低線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 2 低線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 3 低線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 4 低線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 5 低線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型モニタリングポストNo. 6 低線量率</td><td>○</td><td>-</td><td>-*</td></tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ		モニタリングポストNo. 1 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 2 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 3 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 4 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 5 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 6 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 7 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 8 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 9 高線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 1 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 2 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 3 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 4 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 5 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 6 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 7 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 8 低線量率	○	○	-*		モニタリングポストNo. 9 低線量率	○	○	-*		風向 2.0 m	○	○	-*		風向 8.5 m	○	○	-*		風向 16.0 m	○	○	-*		風速 2.0 m	○	○	-*		風速 8.5 m	○	○	-*		風速 16.0 m	○	○	-*		大気安定度	○	○	-*		可搬型モニタリングポストNo. 1 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 2 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 3 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 4 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 5 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 6 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 7 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 8 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 9 高線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 1 低線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 2 低線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 3 低線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 4 低線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 5 低線量率	○	-	-*		可搬型モニタリングポストNo. 6 低線量率	○	-	-*	<p style="text-align: center;">① 表示パラメータ の追加</p>
			目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	モニタリングポストNo. 1 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 2 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 3 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 4 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 5 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 6 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 7 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 8 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 9 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 1 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 2 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 3 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 4 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 5 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 6 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 7 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 8 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 9 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風向 2.0 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風向 8.5 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風向 16.0 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風速 2.0 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風速 8.5 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風速 16.0 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	大気安定度	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 1 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 2 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 3 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 4 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 5 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 6 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 7 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 8 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 1 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 2 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 3 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 4 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 5 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 6 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 7 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 8 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 9 高線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 1 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 2 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 3 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 4 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 5 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 6 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 7 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 8 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	モニタリングポストNo. 9 低線量率	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風向 2.0 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風向 8.5 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風向 16.0 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風速 2.0 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風速 8.5 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	風速 16.0 m	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	大気安定度	○	○	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 1 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 2 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 3 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 4 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 5 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 6 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 7 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 8 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 9 高線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 1 低線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 2 低線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 3 低線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 4 低線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 5 低線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	可搬型モニタリングポストNo. 6 低線量率	○	-	-*																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																	
258	補足説明資料 61-9 5.4	61-9-5- 37	<table border="1"> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 9 高線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 1 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 2 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 3 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 4 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 5 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 6 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> </table>	可搬型モニタリングポストNo. 9 高線量率	○	○	—*	可搬型モニタリングポストNo. 1 低線量率	○	○	—*	可搬型モニタリングポストNo. 2 低線量率	○	○	—*	可搬型モニタリングポストNo. 3 低線量率	○	○	—*	可搬型モニタリングポストNo. 4 低線量率	○	○	—*	可搬型モニタリングポストNo. 5 低線量率	○	○	—*	可搬型モニタリングポストNo. 6 低線量率	○	○	—*	—	① 表示パラメータ の追加																																																																																																																																					
可搬型モニタリングポストNo. 9 高線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																			
可搬型モニタリングポストNo. 1 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																			
可搬型モニタリングポストNo. 2 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																			
可搬型モニタリングポストNo. 3 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																			
可搬型モニタリングポストNo. 4 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																			
可搬型モニタリングポストNo. 5 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																			
可搬型モニタリングポストNo. 6 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																			
259	補足説明資料 61-9 5.4	61-9-5- 38	<p style="text-align: center;">6号炉 (7/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">環境の情報 確認</td> <td>可搬型モニタリングポストNo. 7 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 8 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 9 低線量率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>風向 (可搬型)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>風速 (可搬型)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>大気安定度 (可搬型)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>ADS A 作動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">非常用炉心冷 却系 (ECC S) の状態等</td> <td>ADS B 作動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R C I C 作動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H P C F ポンプ (B) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H P C F ポンプ (C) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R ポンプ (A) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R ポンプ (B) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R ポンプ (C) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R 注入弁 (A) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R 注入弁 (B) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R 注入弁 (C) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>全副制御全挿入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>総給水流量</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ	環境の情報 確認	可搬型モニタリングポストNo. 7 低線量率	○	○	—*	可搬型モニタリングポストNo. 8 低線量率	○	○	—*	可搬型モニタリングポストNo. 9 低線量率	○	○	—*	風向 (可搬型)	○	○	—*	風速 (可搬型)	○	○	—*	大気安定度 (可搬型)	○	○	—*	ADS A 作動	○	○	○	非常用炉心冷 却系 (ECC S) の状態等	ADS B 作動	○	○	○	R C I C 作動	○	○	○	H P C F ポンプ (B) 起動	○	○	○	H P C F ポンプ (C) 起動	○	○	○	R H R ポンプ (A) 起動	○	○	○	R H R ポンプ (B) 起動	○	○	○	R H R ポンプ (C) 起動	○	○	○	R H R 注入弁 (A) 全閉以外	○	○	○	R H R 注入弁 (B) 全閉以外	○	○	○	R H R 注入弁 (C) 全閉以外	○	○	○	全副制御全挿入	○	○	○	総給水流量	○	○	○	<p style="text-align: center;">6号炉 (6/9)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="5">環境の情報 確認</td> <td>可搬型モニタリングポストNo. 7 低線量率</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 8 低線量率</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポストNo. 9 低線量率</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>風向 (可搬型)</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>風速 (可搬型)</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">非常用炉心冷 却系 (ECC S) の状態等</td> <td>大気安定度 (可搬型)</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>ADS A 作動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ADS B 作動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R C I C 作動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H P C F ポンプ (B) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>H P C F ポンプ (C) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R ポンプ (A) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R ポンプ (B) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R ポンプ (C) 起動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R 注入弁 (A) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R 注入弁 (B) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>R H R 注入弁 (C) 全閉以外</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>全副制御全挿入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>総給水流量</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	環境の情報 確認	可搬型モニタリングポストNo. 7 低線量率	○	—	—*	可搬型モニタリングポストNo. 8 低線量率	○	—	—*	可搬型モニタリングポストNo. 9 低線量率	○	—	—*	風向 (可搬型)	○	—	—*	風速 (可搬型)	○	—	—*	非常用炉心冷 却系 (ECC S) の状態等	大気安定度 (可搬型)	○	—	—*	ADS A 作動	○	○	○	ADS B 作動	○	○	○	R C I C 作動	○	○	○	H P C F ポンプ (B) 起動	○	○	○	H P C F ポンプ (C) 起動	○	○	○	R H R ポンプ (A) 起動	○	○	○	R H R ポンプ (B) 起動	○	○	○	R H R ポンプ (C) 起動	○	○	○	R H R 注入弁 (A) 全閉以外	○	○	○	R H R 注入弁 (B) 全閉以外	○	○	○	R H R 注入弁 (C) 全閉以外	○	○	○	全副制御全挿入	○	○	○	総給水流量	○	○	○	① 表示パラメータ の追加
目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																		
環境の情報 確認	可搬型モニタリングポストNo. 7 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																		
	可搬型モニタリングポストNo. 8 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																		
	可搬型モニタリングポストNo. 9 低線量率	○	○	—*																																																																																																																																																																		
	風向 (可搬型)	○	○	—*																																																																																																																																																																		
	風速 (可搬型)	○	○	—*																																																																																																																																																																		
	大気安定度 (可搬型)	○	○	—*																																																																																																																																																																		
	ADS A 作動	○	○	○																																																																																																																																																																		
非常用炉心冷 却系 (ECC S) の状態等	ADS B 作動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R C I C 作動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	H P C F ポンプ (B) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	H P C F ポンプ (C) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R ポンプ (A) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R ポンプ (B) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R ポンプ (C) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R 注入弁 (A) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R 注入弁 (B) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R 注入弁 (C) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																		
	全副制御全挿入	○	○	○																																																																																																																																																																		
	総給水流量	○	○	○																																																																																																																																																																		
	環境の情報 確認	可搬型モニタリングポストNo. 7 低線量率	○	—	—*																																																																																																																																																																	
可搬型モニタリングポストNo. 8 低線量率		○	—	—*																																																																																																																																																																		
可搬型モニタリングポストNo. 9 低線量率		○	—	—*																																																																																																																																																																		
風向 (可搬型)		○	—	—*																																																																																																																																																																		
風速 (可搬型)		○	—	—*																																																																																																																																																																		
非常用炉心冷 却系 (ECC S) の状態等	大気安定度 (可搬型)	○	—	—*																																																																																																																																																																		
	ADS A 作動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	ADS B 作動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R C I C 作動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	H P C F ポンプ (B) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	H P C F ポンプ (C) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R ポンプ (A) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R ポンプ (B) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R ポンプ (C) 起動	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R 注入弁 (A) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R 注入弁 (B) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																		
	R H R 注入弁 (C) 全閉以外	○	○	○																																																																																																																																																																		
	全副制御全挿入	○	○	○																																																																																																																																																																		
総給水流量	○	○	○																																																																																																																																																																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																								
260	補足説明資料 61-9 5.4	61-9-5-40	6号炉 (9/10)	6号炉 (8/9)	① 表示パラメータ の追加																																																																																																																								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">使用済燃料 プールの状 態確認</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +7155mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6750mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6500mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5500mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +4000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +3000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +2000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +1000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -1000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -3000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -4240mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	目的		対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ	使用済燃料 プールの状 態確認	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +7155mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6750mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6500mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5500mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +4000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +3000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +2000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +1000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -1000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -3000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -4240mm))	○	-	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">使用済燃料 プールの状 態確認</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プールエリア雰囲気温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6750mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6500mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5500mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +4000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +3000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +2000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +1000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -1000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -3000mm))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (プール底部付近))</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ	使用済燃料 プールの状 態確認	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プールエリア雰囲気温度)	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6750mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6500mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5500mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +4000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +3000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +2000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +1000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -1000mm))	○	-	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -3000mm))	○	-	○
目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																									
使用済燃料 プールの状 態確認	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +7155mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6750mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6500mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5500mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +4000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +3000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +2000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +1000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -1000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -3000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -4240mm))	○	-	○																																																																																																																									
目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																									
使用済燃料 プールの状 態確認	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プールエリア雰囲気温度)	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6750mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6500mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +6000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5500mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +5000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +4000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +3000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +2000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 +1000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -1000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (燃料ラック上端 -3000mm))	○	-	○																																																																																																																									
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域) (使用済燃料貯蔵プール温度 (プール底部付近))	○	-	○																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																						
261	補足説明 資料 61-9 5.4	61-9-5- 41	<p style="text-align: center;">6号炉 (10/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">水素爆発に よる格納容 器の破損防 止確認</td> <td>フィルタ装置水素濃度 (格納容器圧力逃がし装置水素濃度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度 (フィルタベント装置出口水素濃度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ (A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ (B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置スクラバ水pH</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧 (A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧 (B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ (A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ (B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">水素爆発に よる原子炉 建屋の損傷 防止確認</td> <td>原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度C)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル所員用エアロック)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル機器搬入用ハッチ)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (サブプレッション・チェンバ出入口)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル所員用エアロック)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル機器搬入用ハッチ)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 吸気口温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 排気口温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 吸気口温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 排気口温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ	水素爆発に よる格納容 器の破損防 止確認	フィルタ装置水素濃度 (格納容器圧力逃がし装置水素濃度)	○	-	○	フィルタ装置水素濃度 (フィルタベント装置出口水素濃度)	○	-	○	フィルタ装置出口放射線モニタ (A)	○	-	○	フィルタ装置出口放射線モニタ (B)	○	-	○	フィルタ装置入口圧力	○	-	○	フィルタ装置水位 (A)	○	-	○	フィルタ装置水位 (B)	○	-	○	フィルタ装置スクラバ水pH	○	-	○	フィルタ装置金属フィルタ差圧 (A)	○	-	○	フィルタ装置金属フィルタ差圧 (B)	○	-	○	耐圧強化ベント系放射線モニタ (A)	○	-	○	耐圧強化ベント系放射線モニタ (B)	○	-	○	水素爆発に よる原子炉 建屋の損傷 防止確認	原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度A)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度B)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度C)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル所員用エアロック)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル機器搬入用ハッチ)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (サブプレッション・チェンバ出入口)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル所員用エアロック)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル機器搬入用ハッチ)	○	-	○	静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 吸気口温度)	○	-	○	静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 排気口温度)	○	-	○	静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 吸気口温度)	○	-	○	静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 排気口温度)	○	-	○	<p style="text-align: center;">6号炉 (9/9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的</th> <th>対象パラメータ</th> <th>SPDS パラメータ</th> <th>ERSS 伝送 パラメータ</th> <th>バック アップ対象 パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">水素爆発に よる格納容 器の破損防 止確認</td> <td>フィルタ装置水素濃度 (格納容器圧力逃がし装置水素濃度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度 (フィルタベント装置出口水素濃度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ (A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ (B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置スクラバ水pH</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ (A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ (B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">水素爆発に よる原子炉 建屋の損傷 防止確認</td> <td>原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度A)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度B)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル所員用エアロック)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル機器搬入用ハッチ)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (サブプレッション・チェンバ出入口)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル所員用エアロック)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル機器搬入用ハッチ)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 吸気温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 排気温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 吸気温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 排気温度)</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ	水素爆発に よる格納容 器の破損防 止確認	フィルタ装置水素濃度 (格納容器圧力逃がし装置水素濃度)	○	-	○	フィルタ装置水素濃度 (フィルタベント装置出口水素濃度)	○	-	○	フィルタ装置出口放射線モニタ (A)	○	-	○	フィルタ装置出口放射線モニタ (B)	○	-	○	フィルタ装置入口圧力	○	-	○	フィルタ装置水位 (A)	○	-	○	フィルタ装置水位 (B)	○	-	○	フィルタ装置スクラバ水pH	○	-	○	フィルタ装置金属フィルタ差圧	○	-	○	耐圧強化ベント系放射線モニタ (A)	○	-	○	耐圧強化ベント系放射線モニタ (B)	○	-	○	水素爆発に よる原子炉 建屋の損傷 防止確認	原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度A)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度B)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル所員用エアロック)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル機器搬入用ハッチ)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (サブプレッション・チェンバ出入口)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル所員用エアロック)	○	-	○	原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル機器搬入用ハッチ)	○	-	○	静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 吸気温度)	○	-	○	静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 排気温度)	○	-	○	静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 吸気温度)	○	-	○	静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 排気温度)	○	-	○	<p style="text-align: center;">① 表示パラメータ の追加</p>
			目的	対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																				
水素爆発に よる格納容 器の破損防 止確認	フィルタ装置水素濃度 (格納容器圧力逃がし装置水素濃度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置水素濃度 (フィルタベント装置出口水素濃度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置出口放射線モニタ (A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置出口放射線モニタ (B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置入口圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置水位 (A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置水位 (B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置スクラバ水pH	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置金属フィルタ差圧 (A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置金属フィルタ差圧 (B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	耐圧強化ベント系放射線モニタ (A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	耐圧強化ベント系放射線モニタ (B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	水素爆発に よる原子炉 建屋の損傷 防止確認	原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																						
		原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度C)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル所員用エアロック)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル機器搬入用ハッチ)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
原子炉建屋水素濃度 (サブプレッション・チェンバ出入口)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル所員用エアロック)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル機器搬入用ハッチ)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 吸気口温度)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 排気口温度)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 吸気口温度)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 排気口温度)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
目的		対象パラメータ	SPDS パラメータ	ERSS 伝送 パラメータ	バック アップ対象 パラメータ																																																																																																																																																																																																						
水素爆発に よる格納容 器の破損防 止確認		フィルタ装置水素濃度 (格納容器圧力逃がし装置水素濃度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																						
	フィルタ装置水素濃度 (フィルタベント装置出口水素濃度)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置出口放射線モニタ (A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置出口放射線モニタ (B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置入口圧力	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置水位 (A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置水位 (B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置スクラバ水pH	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	フィルタ装置金属フィルタ差圧	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	耐圧強化ベント系放射線モニタ (A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	耐圧強化ベント系放射線モニタ (B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																							
	水素爆発に よる原子炉 建屋の損傷 防止確認	原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度A)	○	-	○																																																																																																																																																																																																						
		原子炉建屋水素濃度 (R/Bオベフロ水素濃度B)	○	-	○																																																																																																																																																																																																						
		原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル所員用エアロック)	○	-	○																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋水素濃度 (上部ドライウエル機器搬入用ハッチ)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
原子炉建屋水素濃度 (サブプレッション・チェンバ出入口)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル所員用エアロック)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
原子炉建屋水素濃度 (下部ドライウエル機器搬入用ハッチ)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 吸気温度)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (北側P A R 排気温度)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 吸気温度)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							
静的触媒式水素再結合物 動作監視装置 (南側P A R 排気温度)		○	-	○																																																																																																																																																																																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
262	補足説明 資料 61-9 5.4	61-9-5- 42~52	7 炉 (1/10) ~ (10/10) がないため表を新規追加	7 炉 (1/9) ~ (9/9) の表	① 表示パラメータ の追加

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.5 緊急時対策所の要員数とその運用について

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後					変更前					変更理由		
			要員	作業項目	作業に必要な人数	人数	合計	要員	作業項目	作業に必要な人数	人数	合計			
263	補足説明 資料 61-9 5.5 (2)	61-9-5- 55	運転員 (当直)	ブルーム通過時には、運転員については中央制御室待避室に待避する。	—	18名	18名	運転員 (当直)	ブルーム通過時には、運転員については中央制御室待避室に待避する。	—	18名	18名	② 作業項目の見直し		
			復旧班要員	事故後の設備監視、給油作業等	6号及び7号炉ガスタービン発電機の運転監視	2名/ (6号及び7号炉)	2名	32名	復旧班要員	事故後の設備監視、給油作業等	6号及び7号炉ガスタービン発電機の運転監視	2名/ (6号及び7号炉)		2名	32名
					可搬型代替注水ポンプによる復水貯蔵槽への注水監視	2名/ (6号及び7号炉)	2名				消防車による復水貯蔵槽への注水監視	2名/ (6号及び7号炉)		2名	
					燃料補給(燃料タンクからタンクローリへの軽油移し替え、可搬型代替注水ポンプへの燃料補給)	4名/ (6号及び7号炉)	4名				燃料補給(燃料タンクからタンクローリへの軽油移し替え、消防車への燃料補給)	4名/ (6号及び7号炉)		4名	
					放射性物質拡散抑制対応(放射性物質の拡散を抑制するための原子炉建屋への放水操作の再開)	4名/ (6号及び7号炉)	4名				放射性物質拡散抑制対応(放射性物質の拡散を抑制するための原子炉建屋への放水操作の再開)	4名/ (6号及び7号炉)		4名	
					格納容器圧力逃がし装置対応	2名/ (6号及び7号炉)※2	2名				格納容器圧力逃がし装置対応	2名/ (6号及び7号炉)※2		2名	
					フィルタ装置排水ポンプ水張り	4名/ (6号及び7号炉)※2	2名				フィルタ装置排水ポンプ水張り	4名/ (6号及び7号炉)※2		2名	
					フィルタ装置への薬液注入	12名/ (6号及び7号炉)	12名				フィルタ装置への薬液注入	12名/ (6号及び7号炉)		12名	
					フィルタ装置の排水ラインの窒素パージ	4名/ (6号及び7号炉)	4名				フィルタ装置の排水ラインの窒素パージ	4名/ (6号及び7号炉)		4名	
			設備故障等の不測事態への対応	可搬型代替注水ポンプの予備機への交換(1台故障を想定)	3名/台	3名	22名	設備故障等の不測事態への対応	消防車の予備機への交換(1台故障を想定)	3名/台	3名	22名			
					代替原子炉補機冷却系の予備機への交換(1台故障を想定)	13名/台				13名	代替原子炉補機冷却系の予備機への交換(1台故障を想定)			13名/台	13名
			保安班要員	作業現場の放射線モニタリング	3名	3名	3名	保安班要員	作業現場の放射線モニタリング	3名	3名	3名			
6名/基	6名	ガスタービン発電機の予備機への交換作業(1台故障を想定)			6名/台	6名									

※1 要員数については、今後の訓練等の結果より人数を見直す可能性がある。
 ※2 フィルタ装置排水ポンプ水張り(作業A)は格納容器ベント実施前の作業で、フィルタ装置の排水(作業B)は格納容器ベント実施後の作業であるため、各号炉単位で同時に発生することがない。加えてこれら二つの作業は作業時間帯に十分な間隔があるため、作業A完了後に作業Bを実施することとし、作業Aと作業B合計で対策本部内に4名の現場要員を確保するものとした。

※1 要員数については、今後の訓練等の結果より人数を見直す可能性がある。
 ※2 フィルタ装置排水ポンプ水張り(作業A)は格納容器ベント実施前の作業で、フィルタ装置の排水(作業B)は格納容器ベント実施後の作業であるため、各号炉単位で同時に発生することがない。加えてこれら二つの作業は作業時間帯に十分な間隔があるため、作業A完了後に作業Bを実施することとし、作業Aと作業B合計で対策本部内に4名の現場要員を確保するものとした。

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.6 原子力警戒態勢, 緊急時態勢について

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
264	補足説明資料 61-9 5.6	61-9-5- 58, 59, 60	表5.6-3 原子力災害対策指針に基づく施設敷地緊急事態を判断する基準(1/3), (2/3), (3/3) (柏崎刈羽原子力発電所原子力事業者防災業務計画 平成29年3月別表2-2 原子力災害対策特別措置法第10条第1項に基づく通報基準を抜粋)	表5.6-4 原子力災害対策指針に基づく警戒事態を判断する基準 柏崎刈羽原子力発電所原子力事業者防災業務計画 平成27年3月別表2-2 原子力災害対策特別措置法第10条第1項に基づく通報基準(1/3)	② (記載の適正化)
265	補足説明資料 61-9 5.6	61-9-5- 61, 62, 63	表5.6-4 原子力災害対策指針に基づく全面緊急事態を判断する基準(1/3), (2/3), (3/3) (柏崎刈羽原子力発電所原子力事業者防災業務計画 平成29年3月別表2-3 原子力災害対策特別措置法第15条第1項の原子力緊急事態宣言発令の基準を抜粋)	表5.6-4 原子力災害対策指針に基づく警戒事態を判断する基準 (柏崎刈羽原子力発電所原子力事業者防災業務計画 平成27年3月別表2-3 原子力災害対策特別措置法第15条第1項の原子力緊急事態宣言発令の基準(3/3))	② (記載の適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.7 緊急時対策本部内における各機能班との情報共有について

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
266	補足説明 資料 61-9 5.7	—	—	—	—

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.8 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所と5号炉のプラント管理について

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
267	補足説明 資料 61-9 5.8	—	—	—	—

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 61条 緊急時対策所
章/項番号: 5.9 設置許可基準規則6条(外部からの衝撃による損傷の防止)への適合方針について

【変更理由の類型化】
①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
268	補足説明資料 61-9 5.9	61-9-5-73	(10) 火災・爆発（森林火災，近隣工場等の火災・爆発，航空機落下火災等） 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は，森林火災に伴い発生する有毒ガスに対しては，防火帯林縁からの隔離（約297m）を確保することにより影響を受けない設計とする。また近隣工場等の火災に伴い発生する有毒ガスに対しては，外気取入口（5号炉原子炉建屋3階北側に設置）への伝播経路が原子炉建屋等の構造物により遮られることにより，外気取入口に到達しないことから，影響を受けない設計とする。	(10) 火災・爆発（森林火災，近隣工場等の火災・爆発，航空機落下火災等） 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所は，森林火災に伴い発生する有毒ガスに対しては，防火帯林縁からの隔離（約151m）を確保することにより影響を受けない設計とする。また近隣の産業施設の火災に伴い発生する有毒ガスに対しては，外気取入口（5号炉原子炉建屋3階北側に設置）への伝播経路が原子炉建屋等の構造物により遮られることにより，外気取入口に到達しないことから，影響を受けない設計とする。	④ 他条文（6条）との記載統一
269	補足説明資料 61-9 5.9	61-9-5-74	(11) 有毒ガス 外部火災以外による有毒ガスのうち，敷地外で発生する有毒ガスについては隔離距離を確保していること及び敷地内の建屋内に貯蔵されている有毒物質が影響を及ぼすことはなく，敷地内屋外設備からの有毒ガス，窒素ガスの濃度は外気取入口において判定基準以下となる設置位置であるため問題ない。	(12) 有毒ガス 外部火災以外の有毒ガスについては，敷地外有毒ガスについては隔離距離を確保していること及び敷地内屋内貯蔵有毒物質が影響を及ぼすことはなく，敷地内屋外設備からの有毒ガス，窒素ガスの濃度は外気取入口において判定基準以下となる設置位置であるため問題ない。	② 記載の適正化
270	補足説明資料 61-9 5.9	61-9-5-74	(13) 電磁的障害 電磁的障害による擾乱に対し，5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の建物等のうち，安全パラメータ表示システム，通信連絡設備等は，フィルタの設置等により影響を受けない設計とすることで，柏崎刈羽原子力発電所の緊急時対策所機能が喪失しない設計とする。	(14) 電磁的障害 電磁的障害による擾乱に対し，5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の建物等のうち，必要な情報を把握できる設備，通信連絡設備等は，フィルタ等の設置により影響を受けない設計とすることで，柏崎刈羽原子力発電所の緊急時対策所機能が喪失しない設計とする。	② 記載の適正化

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
章/項番号: 5.10 1F事故を受けた組織見直し

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																								
271	補足説明資料 61-9 5.10 (1)	61-9-5-75	<p>表 5.10-1 福島第一原子力発電所事故対応の課題と必要要件。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>必要要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然災害と同時に起こり得る複数原子炉施設の同時被災を想定した備えが十分でなかった。 事故の状況や進展が個別の号炉毎に異なるにもかかわらず、従前の機能班単位で活動した。</td> <td>①複数施設の同時被災、中長期的な対応を考慮した委員会体制を構築する。 ②号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。</td> </tr> <tr> <td>中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。</td> <td>③中央制御室と発電所対策本部間の通信連絡設備を強化する。 ④情報共有ツールの活用により情報共有を図る。</td> </tr> <tr> <td>発電所長が全ての班(12班)を管理するフラットな体制で緊急時対応を行っていたため、あらゆる情報が発電所対策本部の本部長に報告され、情報が複雑し混乱した。</td> <td>⑤発電所長が直接監督する人数を減らす。(監督限界の設定) ⑥情報共有ツールを活用し、情報共有することにより、本部における発話を制限する。</td> </tr> <tr> <td>発電所長からの権限委譲が適切でなく、ほとんどの判断を発電所長が行う体制となっていた。</td> <td>⑦発電所長の権限を下部組織に委譲する。</td> </tr> <tr> <td>本来復旧活動を最優先で実施しなくてはならない発電所の要員が、対外的な広報や通報の最終的な確認者となり、復旧活動と対外情報発信活動の両立を求められた。</td> <td>⑧対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。 ⑨対外対応活動を本社対策本部に一元化する。</td> </tr> <tr> <td>公表の遅延、情報の齟齬、関係者間での情報共有の不足等が生じ、事故時の対外公表・情報伝達が不十分だった。</td> <td>⑩情報共有ツールの活用により情報共有を図る。 ⑪対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。</td> </tr> <tr> <td>本社対策本部が、発電所対策本部に事故対応に対する細かい指示や命令、コメントを出し、発電所長の判断を超えて外部の意見を優先したことで、発電所対策本部の指揮命令系統を混乱させた。</td> <td>⑫現場決定権は発電所対策本部に与え本社対策本部は支援に徹する。 ⑬指揮命令系統を明確化し、それ以外の者からの指示には従わない。</td> </tr> <tr> <td>官邸から発電所長へ直接連絡が入り、発電所対策本部を混乱させた。</td> <td>⑭外部からの問合せ対応は本社対策本部が行い、外部からの発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>緊急時対応に必要な作業を当社社員が自ら持つべき技術として設定していなかったことから、作業を自ら迅速に実行できなかった。</td> <td>⑮外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように消防車やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得する。</td> </tr> </tbody> </table>	課題	必要要件	自然災害と同時に起こり得る複数原子炉施設の同時被災を想定した備えが十分でなかった。 事故の状況や進展が個別の号炉毎に異なるにもかかわらず、従前の機能班単位で活動した。	①複数施設の同時被災、中長期的な対応を考慮した委員会体制を構築する。 ②号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。	中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。	③中央制御室と発電所対策本部間の通信連絡設備を強化する。 ④情報共有ツールの活用により情報共有を図る。	発電所長が全ての班(12班)を管理するフラットな体制で緊急時対応を行っていたため、あらゆる情報が発電所対策本部の本部長に報告され、情報が複雑し混乱した。	⑤発電所長が直接監督する人数を減らす。(監督限界の設定) ⑥情報共有ツールを活用し、情報共有することにより、本部における発話を制限する。	発電所長からの権限委譲が適切でなく、ほとんどの判断を発電所長が行う体制となっていた。	⑦発電所長の権限を下部組織に委譲する。	本来復旧活動を最優先で実施しなくてはならない発電所の要員が、対外的な広報や通報の最終的な確認者となり、復旧活動と対外情報発信活動の両立を求められた。	⑧対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。 ⑨対外対応活動を本社対策本部に一元化する。	公表の遅延、情報の齟齬、関係者間での情報共有の不足等が生じ、事故時の対外公表・情報伝達が不十分だった。	⑩情報共有ツールの活用により情報共有を図る。 ⑪対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。	本社対策本部が、発電所対策本部に事故対応に対する細かい指示や命令、コメントを出し、発電所長の判断を超えて外部の意見を優先したことで、発電所対策本部の指揮命令系統を混乱させた。	⑫現場決定権は発電所対策本部に与え本社対策本部は支援に徹する。 ⑬指揮命令系統を明確化し、それ以外の者からの指示には従わない。	官邸から発電所長へ直接連絡が入り、発電所対策本部を混乱させた。	⑭外部からの問合せ対応は本社対策本部が行い、外部からの発電所への直接介入を防止する。	緊急時対応に必要な作業を当社社員が自ら持つべき技術として設定していなかったことから、作業を自ら迅速に実行できなかった。	⑮外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように消防車やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得する。	<p>表 5.10-1 福島第一原子力発電所事故対応の課題と必要要件。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>必要要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然災害と同時に起こり得る複数原子炉施設の同時被災を想定した備えが十分でなかった。 事故の状況や進展が個別の号炉毎に異なるにもかかわらず、従前の機能班単位で活動した。</td> <td>①複数施設の同時被災、中長期的な対応を考慮した委員会体制を構築する。 ②号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。</td> </tr> <tr> <td>中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。</td> <td>③中央制御室と発電所対策本部間の通信連絡設備を強化する。 ④情報共有ツールの活用により情報共有を図る。</td> </tr> <tr> <td>発電所長が全ての班(12班)を管理するフラットな体制で緊急時対応を行っていたため、あらゆる情報が発電所対策本部の本部長(発電所長)に報告され、情報が複雑し混乱した。</td> <td>⑤発電所長が直接監督する人数を減らす。(監督限界の設定) ⑥情報共有ツールを活用し、情報共有することにより、本部における発話を制限する。</td> </tr> <tr> <td>発電所長からの権限委譲が適切でなく、ほとんどの判断を発電所長が行う体制となっていた。</td> <td>⑦発電所長の権限を下部組織に委譲する。</td> </tr> <tr> <td>本来復旧活動を最優先で実施しなくてはならない発電所の要員が、対外的な広報や通報の最終的な確認者となり、復旧活動と対外情報発信活動の両立を求められた。</td> <td>⑧対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。 ⑨対外対応活動を本社対策本部に一元化する。</td> </tr> <tr> <td>公表の遅延、情報の齟齬、関係者間での情報共有の不足等が生じ、事故時の対外公表・情報伝達が不十分だった。</td> <td>⑩情報共有ツールの活用により情報共有を図る。 ⑪対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。</td> </tr> <tr> <td>本社対策本部が、発電所対策本部に事故対応に対する細かい指示や命令、コメントを出し、発電所長の判断を超えて外部の意見を優先したことで、発電所対策本部の指揮命令系統を混乱させた。</td> <td>⑫現場決定権は発電所対策本部に与え本社対策本部は支援に徹する。 ⑬指揮命令系統を明確化し、それ以外の者からの指示には従わない。</td> </tr> <tr> <td>官邸から発電所長へ直接連絡が入り、発電所対策本部を混乱させた。</td> <td>⑭外部からの問合せ対応は本社対策本部が行い、外部からの発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>緊急時対応に必要な作業を当社社員が自ら持つべき技術として設定していなかったことから、作業を自ら迅速に実行できなかった。</td> <td>⑮外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように消防車やホイールローダ等を予め配備し、運転操作を習得する。</td> </tr> </tbody> </table>	課題	必要要件	自然災害と同時に起こり得る複数原子炉施設の同時被災を想定した備えが十分でなかった。 事故の状況や進展が個別の号炉毎に異なるにもかかわらず、従前の機能班単位で活動した。	①複数施設の同時被災、中長期的な対応を考慮した委員会体制を構築する。 ②号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。	中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。	③中央制御室と発電所対策本部間の通信連絡設備を強化する。 ④情報共有ツールの活用により情報共有を図る。	発電所長が全ての班(12班)を管理するフラットな体制で緊急時対応を行っていたため、あらゆる情報が発電所対策本部の本部長(発電所長)に報告され、情報が複雑し混乱した。	⑤発電所長が直接監督する人数を減らす。(監督限界の設定) ⑥情報共有ツールを活用し、情報共有することにより、本部における発話を制限する。	発電所長からの権限委譲が適切でなく、ほとんどの判断を発電所長が行う体制となっていた。	⑦発電所長の権限を下部組織に委譲する。	本来復旧活動を最優先で実施しなくてはならない発電所の要員が、対外的な広報や通報の最終的な確認者となり、復旧活動と対外情報発信活動の両立を求められた。	⑧対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。 ⑨対外対応活動を本社対策本部に一元化する。	公表の遅延、情報の齟齬、関係者間での情報共有の不足等が生じ、事故時の対外公表・情報伝達が不十分だった。	⑩情報共有ツールの活用により情報共有を図る。 ⑪対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。	本社対策本部が、発電所対策本部に事故対応に対する細かい指示や命令、コメントを出し、発電所長の判断を超えて外部の意見を優先したことで、発電所対策本部の指揮命令系統を混乱させた。	⑫現場決定権は発電所対策本部に与え本社対策本部は支援に徹する。 ⑬指揮命令系統を明確化し、それ以外の者からの指示には従わない。	官邸から発電所長へ直接連絡が入り、発電所対策本部を混乱させた。	⑭外部からの問合せ対応は本社対策本部が行い、外部からの発電所への直接介入を防止する。	緊急時対応に必要な作業を当社社員が自ら持つべき技術として設定していなかったことから、作業を自ら迅速に実行できなかった。	⑮外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように消防車やホイールローダ等を予め配備し、運転操作を習得する。	② (作業項目の見直し)
課題	必要要件																																												
自然災害と同時に起こり得る複数原子炉施設の同時被災を想定した備えが十分でなかった。 事故の状況や進展が個別の号炉毎に異なるにもかかわらず、従前の機能班単位で活動した。	①複数施設の同時被災、中長期的な対応を考慮した委員会体制を構築する。 ②号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。																																												
中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。	③中央制御室と発電所対策本部間の通信連絡設備を強化する。 ④情報共有ツールの活用により情報共有を図る。																																												
発電所長が全ての班(12班)を管理するフラットな体制で緊急時対応を行っていたため、あらゆる情報が発電所対策本部の本部長に報告され、情報が複雑し混乱した。	⑤発電所長が直接監督する人数を減らす。(監督限界の設定) ⑥情報共有ツールを活用し、情報共有することにより、本部における発話を制限する。																																												
発電所長からの権限委譲が適切でなく、ほとんどの判断を発電所長が行う体制となっていた。	⑦発電所長の権限を下部組織に委譲する。																																												
本来復旧活動を最優先で実施しなくてはならない発電所の要員が、対外的な広報や通報の最終的な確認者となり、復旧活動と対外情報発信活動の両立を求められた。	⑧対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。 ⑨対外対応活動を本社対策本部に一元化する。																																												
公表の遅延、情報の齟齬、関係者間での情報共有の不足等が生じ、事故時の対外公表・情報伝達が不十分だった。	⑩情報共有ツールの活用により情報共有を図る。 ⑪対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。																																												
本社対策本部が、発電所対策本部に事故対応に対する細かい指示や命令、コメントを出し、発電所長の判断を超えて外部の意見を優先したことで、発電所対策本部の指揮命令系統を混乱させた。	⑫現場決定権は発電所対策本部に与え本社対策本部は支援に徹する。 ⑬指揮命令系統を明確化し、それ以外の者からの指示には従わない。																																												
官邸から発電所長へ直接連絡が入り、発電所対策本部を混乱させた。	⑭外部からの問合せ対応は本社対策本部が行い、外部からの発電所への直接介入を防止する。																																												
緊急時対応に必要な作業を当社社員が自ら持つべき技術として設定していなかったことから、作業を自ら迅速に実行できなかった。	⑮外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように消防車やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得する。																																												
課題	必要要件																																												
自然災害と同時に起こり得る複数原子炉施設の同時被災を想定した備えが十分でなかった。 事故の状況や進展が個別の号炉毎に異なるにもかかわらず、従前の機能班単位で活動した。	①複数施設の同時被災、中長期的な対応を考慮した委員会体制を構築する。 ②号機班を設け号炉単位に連絡体制を密にする。																																												
中央制御室と発電所対策本部の間、発電所対策本部と本社対策本部間において機器の動作状況を共有し、正しく共有できなかった。	③中央制御室と発電所対策本部間の通信連絡設備を強化する。 ④情報共有ツールの活用により情報共有を図る。																																												
発電所長が全ての班(12班)を管理するフラットな体制で緊急時対応を行っていたため、あらゆる情報が発電所対策本部の本部長(発電所長)に報告され、情報が複雑し混乱した。	⑤発電所長が直接監督する人数を減らす。(監督限界の設定) ⑥情報共有ツールを活用し、情報共有することにより、本部における発話を制限する。																																												
発電所長からの権限委譲が適切でなく、ほとんどの判断を発電所長が行う体制となっていた。	⑦発電所長の権限を下部組織に委譲する。																																												
本来復旧活動を最優先で実施しなくてはならない発電所の要員が、対外的な広報や通報の最終的な確認者となり、復旧活動と対外情報発信活動の両立を求められた。	⑧対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。 ⑨対外対応活動を本社対策本部に一元化する。																																												
公表の遅延、情報の齟齬、関係者間での情報共有の不足等が生じ、事故時の対外公表・情報伝達が不十分だった。	⑩情報共有ツールの活用により情報共有を図る。 ⑪対外対応を専属化し、発電所長の対外発信や広報の権限を委譲する。																																												
本社対策本部が、発電所対策本部に事故対応に対する細かい指示や命令、コメントを出し、発電所長の判断を超えて外部の意見を優先したことで、発電所対策本部の指揮命令系統を混乱させた。	⑫現場決定権は発電所対策本部に与え本社対策本部は支援に徹する。 ⑬指揮命令系統を明確化し、それ以外の者からの指示には従わない。																																												
官邸から発電所長へ直接連絡が入り、発電所対策本部を混乱させた。	⑭外部からの問合せ対応は本社対策本部が行い、外部からの発電所への直接介入を防止する。																																												
緊急時対応に必要な作業を当社社員が自ら持つべき技術として設定していなかったことから、作業を自ら迅速に実行できなかった。	⑮外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように消防車やホイールローダ等を予め配備し、運転操作を習得する。																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																				
272	補足説明資料 61-9 5.10 (1)	61-9-5-77	<p>表 5.10-2 当社原子力防災組織へ反映すべき必要要件及び要件適用の考え方。</p> <table border="1"> <tr> <th>必要要件^ア</th> <th>当社の原子力防災組織への要件適用の考え方。</th> </tr> <tr> <td>①複数施設同時被災、中長期的な対応ができる体制の構築。</td> <td>・発電所対策本部委員を増強。 ・交差して中長期的な対応を実施。</td> </tr> <tr> <td>②中央制御室毎の連絡体制の構築。</td> <td>・号機班の設置。 (フロント状況の様相・規模に応じて縮小・拡張する)。</td> </tr> <tr> <td>③監督境界の設定。</td> <td>・指示命令が混乱しないよう、現場指揮官を頂点に、直属の部下は最大7名以下に収まる構造を大原則とする。 ・原子力防災組織に必要な機能を以下の5つに定義し、統括を新規に設置。 1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。</td> </tr> <tr> <td>④対外対応の専属化。</td> <td>1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。</td> </tr> <tr> <td>⑤現場決定権を発電所長に与える。</td> <td>・最終的な対応責任は現場指揮官に与え、現場第一線で活動する者以外は、たとえ上位職位・上位職者であっても現場のサポートに徹する役割とする。 ・必要な役割や対応について、あらかじめ部長の権限を統括に委譲することで、自発的な対応を行えるようにする。 ・本社から発電所への介入は行わない。</td> </tr> <tr> <td>⑥発電所長の権限を下部組織に委譲。</td> <td>・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>⑦指揮命令系統の明確化。</td> <td>・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>⑧対外対応活動を本社対策本部に一本化。</td> <td>・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>⑨外部からの対応の本社一元化。</td> <td>・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>⑩情報共有ツールの活用。</td> <td>・縦割りの指示命令系統による情報伝達に翻覆がないよう、全組織で同一の情報を共有するための情報伝達・収集様式(テンプレート)の統一や情報共有のツールを活用する。 ・これに伴い、本部における発話を制限する。(情報錯綜の防止)。</td> </tr> <tr> <td>⑪現場力の強化。</td> <td>・外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように「可搬型代替注水ポンプ」やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得。 ・放射線管理補助員を育成する。</td> </tr> <tr> <td>⑫発電所支援体制の構築。</td> <td>・後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決める。 ・輸送を行う協力企業に放射線教育を実施する。 ・本社は、災害発生後、発電所が必要としている資機材を迅速に送ることができるよう、調達・輸送面に関する運用を手順化する。</td> </tr> </table> <p>表 5.10-2 における対応策⑩は設備対策のため、本表には記載せず。</p>	必要要件 ^ア	当社の原子力防災組織への要件適用の考え方。	①複数施設同時被災、中長期的な対応ができる体制の構築。	・発電所対策本部委員を増強。 ・交差して中長期的な対応を実施。	②中央制御室毎の連絡体制の構築。	・号機班の設置。 (フロント状況の様相・規模に応じて縮小・拡張する)。	③監督境界の設定。	・指示命令が混乱しないよう、現場指揮官を頂点に、直属の部下は最大7名以下に収まる構造を大原則とする。 ・原子力防災組織に必要な機能を以下の5つに定義し、統括を新規に設置。 1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。	④対外対応の専属化。	1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。	⑤現場決定権を発電所長に与える。	・最終的な対応責任は現場指揮官に与え、現場第一線で活動する者以外は、たとえ上位職位・上位職者であっても現場のサポートに徹する役割とする。 ・必要な役割や対応について、あらかじめ部長の権限を統括に委譲することで、自発的な対応を行えるようにする。 ・本社から発電所への介入は行わない。	⑥発電所長の権限を下部組織に委譲。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。	⑦指揮命令系統の明確化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。	⑧対外対応活動を本社対策本部に一本化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。	⑨外部からの対応の本社一元化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。	⑩情報共有ツールの活用。	・縦割りの指示命令系統による情報伝達に翻覆がないよう、全組織で同一の情報を共有するための情報伝達・収集様式(テンプレート)の統一や情報共有のツールを活用する。 ・これに伴い、本部における発話を制限する。(情報錯綜の防止)。	⑪現場力の強化。	・外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように「可搬型代替注水ポンプ」やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得。 ・放射線管理補助員を育成する。	⑫発電所支援体制の構築。	・後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決める。 ・輸送を行う協力企業に放射線教育を実施する。 ・本社は、災害発生後、発電所が必要としている資機材を迅速に送ることができるよう、調達・輸送面に関する運用を手順化する。	<p>表 5.10-2 当社原子力防災組織へ反映すべき必要要件及び要件適用の考え方。</p> <table border="1"> <tr> <th>必要要件^ア</th> <th>当社の原子力防災組織への要件適用の考え方。</th> </tr> <tr> <td>①複数施設同時被災、中長期的な対応ができる体制の構築。</td> <td>・発電所対策本部委員を増強。 ・交差して中長期的な対応を実施。</td> </tr> <tr> <td>②中央制御室毎の連絡体制の構築。</td> <td>・号機班の設置。 (フロント状況の様相・規模に応じて縮小・拡張する)。</td> </tr> <tr> <td>③監督境界の設定。</td> <td>・指示命令が混乱しないよう、現場指揮官を頂点に、直属の部下は最大7名以下に収まる構造を大原則とする。 ・原子力防災組織に必要な機能を以下の5つに定義し、統括を新規に設置。 1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。</td> </tr> <tr> <td>④対外対応の専属化。</td> <td>1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。</td> </tr> <tr> <td>⑤現場決定権を発電所長に与える。</td> <td>・最終的な対応責任は現場指揮官に与え、現場第一線で活動する者以外は、たとえ上位職位・上位職者であっても現場のサポートに徹する役割とする。 ・必要な役割や対応について、あらかじめ部長の権限を統括に委譲することで、自発的な対応を行えるようにする。 ・本社から発電所への介入は行わない。</td> </tr> <tr> <td>⑥発電所長の権限を下部組織に委譲。</td> <td>・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>⑦指揮命令系統の明確化。</td> <td>・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>⑧対外対応活動を本社対策本部に一本化。</td> <td>・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>⑨外部からの対応の本社一元化。</td> <td>・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。</td> </tr> <tr> <td>⑩情報共有ツールの活用。</td> <td>・縦割りの指示命令系統による情報伝達に翻覆がないよう、全組織で同一の情報を共有するための情報伝達・収集様式(テンプレート)の統一や情報共有のツールを活用する。 ・これに伴い、本部における発話を制限する。(情報錯綜の防止)。</td> </tr> <tr> <td>⑪現場力の強化。</td> <td>・外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように「可搬型代替注水ポンプ」やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得。 ・放射線管理補助員を育成する。</td> </tr> <tr> <td>⑫発電所支援体制の構築。</td> <td>・後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決める。 ・輸送を行う協力企業に放射線教育を実施する。 ・本社は、災害発生後、発電所が必要としている資機材を迅速に送ることができるよう、調達・輸送面に関する運用を手順化する。</td> </tr> </table> <p>表 5.10-2 における対応策⑩は設備対策のため、本表には記載せず。</p>	必要要件 ^ア	当社の原子力防災組織への要件適用の考え方。	①複数施設同時被災、中長期的な対応ができる体制の構築。	・発電所対策本部委員を増強。 ・交差して中長期的な対応を実施。	②中央制御室毎の連絡体制の構築。	・号機班の設置。 (フロント状況の様相・規模に応じて縮小・拡張する)。	③監督境界の設定。	・指示命令が混乱しないよう、現場指揮官を頂点に、直属の部下は最大7名以下に収まる構造を大原則とする。 ・原子力防災組織に必要な機能を以下の5つに定義し、統括を新規に設置。 1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。	④対外対応の専属化。	1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。	⑤現場決定権を発電所長に与える。	・最終的な対応責任は現場指揮官に与え、現場第一線で活動する者以外は、たとえ上位職位・上位職者であっても現場のサポートに徹する役割とする。 ・必要な役割や対応について、あらかじめ部長の権限を統括に委譲することで、自発的な対応を行えるようにする。 ・本社から発電所への介入は行わない。	⑥発電所長の権限を下部組織に委譲。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。	⑦指揮命令系統の明確化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。	⑧対外対応活動を本社対策本部に一本化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。	⑨外部からの対応の本社一元化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。	⑩情報共有ツールの活用。	・縦割りの指示命令系統による情報伝達に翻覆がないよう、全組織で同一の情報を共有するための情報伝達・収集様式(テンプレート)の統一や情報共有のツールを活用する。 ・これに伴い、本部における発話を制限する。(情報錯綜の防止)。	⑪現場力の強化。	・外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように「可搬型代替注水ポンプ」やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得。 ・放射線管理補助員を育成する。	⑫発電所支援体制の構築。	・後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決める。 ・輸送を行う協力企業に放射線教育を実施する。 ・本社は、災害発生後、発電所が必要としている資機材を迅速に送ることができるよう、調達・輸送面に関する運用を手順化する。	<p>② (作業項目の見直し)</p>
必要要件 ^ア	当社の原子力防災組織への要件適用の考え方。																																																								
①複数施設同時被災、中長期的な対応ができる体制の構築。	・発電所対策本部委員を増強。 ・交差して中長期的な対応を実施。																																																								
②中央制御室毎の連絡体制の構築。	・号機班の設置。 (フロント状況の様相・規模に応じて縮小・拡張する)。																																																								
③監督境界の設定。	・指示命令が混乱しないよう、現場指揮官を頂点に、直属の部下は最大7名以下に収まる構造を大原則とする。 ・原子力防災組織に必要な機能を以下の5つに定義し、統括を新規に設置。 1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。																																																								
④対外対応の専属化。	1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。																																																								
⑤現場決定権を発電所長に与える。	・最終的な対応責任は現場指揮官に与え、現場第一線で活動する者以外は、たとえ上位職位・上位職者であっても現場のサポートに徹する役割とする。 ・必要な役割や対応について、あらかじめ部長の権限を統括に委譲することで、自発的な対応を行えるようにする。 ・本社から発電所への介入は行わない。																																																								
⑥発電所長の権限を下部組織に委譲。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。																																																								
⑦指揮命令系統の明確化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。																																																								
⑧対外対応活動を本社対策本部に一本化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。																																																								
⑨外部からの対応の本社一元化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。																																																								
⑩情報共有ツールの活用。	・縦割りの指示命令系統による情報伝達に翻覆がないよう、全組織で同一の情報を共有するための情報伝達・収集様式(テンプレート)の統一や情報共有のツールを活用する。 ・これに伴い、本部における発話を制限する。(情報錯綜の防止)。																																																								
⑪現場力の強化。	・外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように「可搬型代替注水ポンプ」やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得。 ・放射線管理補助員を育成する。																																																								
⑫発電所支援体制の構築。	・後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決める。 ・輸送を行う協力企業に放射線教育を実施する。 ・本社は、災害発生後、発電所が必要としている資機材を迅速に送ることができるよう、調達・輸送面に関する運用を手順化する。																																																								
必要要件 ^ア	当社の原子力防災組織への要件適用の考え方。																																																								
①複数施設同時被災、中長期的な対応ができる体制の構築。	・発電所対策本部委員を増強。 ・交差して中長期的な対応を実施。																																																								
②中央制御室毎の連絡体制の構築。	・号機班の設置。 (フロント状況の様相・規模に応じて縮小・拡張する)。																																																								
③監督境界の設定。	・指示命令が混乱しないよう、現場指揮官を頂点に、直属の部下は最大7名以下に収まる構造を大原則とする。 ・原子力防災組織に必要な機能を以下の5つに定義し、統括を新規に設置。 1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。																																																								
④対外対応の専属化。	1.意思決定・指揮。 2.対外対応。 3.情報収集と計画立案。 4.現場対応。 5.ロジスティック、リソース管理。 ・対外対応に関する責任者や専属の対応者の配置。																																																								
⑤現場決定権を発電所長に与える。	・最終的な対応責任は現場指揮官に与え、現場第一線で活動する者以外は、たとえ上位職位・上位職者であっても現場のサポートに徹する役割とする。 ・必要な役割や対応について、あらかじめ部長の権限を統括に委譲することで、自発的な対応を行えるようにする。 ・本社から発電所への介入は行わない。																																																								
⑥発電所長の権限を下部組織に委譲。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。																																																								
⑦指揮命令系統の明確化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。																																																								
⑧対外対応活動を本社対策本部に一本化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。																																																								
⑨外部からの対応の本社一元化。	・本社対策本部に「対外対応」に関する責任者と専属の対応者を配置し、広報、情報発信を一本化する。 ・外部からの問合せは全て本社が行い、発電所への直接介入を防止する。																																																								
⑩情報共有ツールの活用。	・縦割りの指示命令系統による情報伝達に翻覆がないよう、全組織で同一の情報を共有するための情報伝達・収集様式(テンプレート)の統一や情報共有のツールを活用する。 ・これに伴い、本部における発話を制限する。(情報錯綜の防止)。																																																								
⑪現場力の強化。	・外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように「可搬型代替注水ポンプ」やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得。 ・放射線管理補助員を育成する。																																																								
⑫発電所支援体制の構築。	・後方支援拠点となる原子力事業所災害対策支援拠点をすみやかに立ち上げられるよう、拠点を整備し、あらかじめ派遣する人員を決める。 ・輸送を行う協力企業に放射線教育を実施する。 ・本社は、災害発生後、発電所が必要としている資機材を迅速に送ることができるよう、調達・輸送面に関する運用を手順化する。																																																								
273	補足説明資料 61-9 5.10 (2)	61-9-5-80	<p>○外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように「可搬型代替注水ポンプ」やホイールローダ等をあらかじめ配備し、運転操作を習得。</p>	<p>○外部からの支援に頼らずに当社社員が自ら対応できるように「消防車やホイールローダ等を予め配備し、運転操作を習得。</p>	<p>② (作業項目の見直し)</p>																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.11 柏崎刈羽原子力発電所の緊急時対策本部体制と指揮命令及び情報の流れについて

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
274	補足説明 資料 61-9 5.11	添 61-9-5- 83	<ul style="list-style-type: none"> 権限委譲と自律的活動 あらかじめ定める要領等に記載された手順の範囲内において, 本部長の権限は各統括, 班長に委譲されており, 各統括, 班長は上位職の指示を待つことなく, 自律的に活動する。 なお, 各統括, 班長が権限を持つ作業が人身安全を脅かす状態となる場合においては, 本部長へ作業の可否判断を求めることとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 権限委譲と自律的活動 予め定める要領等に記載された手順の範囲内において, 本部長の権限は各統括, 班長に委譲されており, 各統括, 班長は上位職の指示を待つことなく, 自律的に活動する。 	②権限の考え方見直し

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																				
275	補足説明 資料 61-9 5.11	添 61-9-5- 87	<p>表 5.11-1 各職位のミッション</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職位</th> <th>ミッション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部長</td> <td>・防災態勢の発令、変更の決定 ・緊急時対策本部（以下「対策本部」という。）の指揮・統括 ・重要な事項の意思決定</td> </tr> <tr> <td>原子炉主任技術者 安全監督担当</td> <td>・原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 ・人身安全に関する安全の監督、本部長への助言</td> </tr> <tr> <td>計画・情報統括</td> <td>・事故対応方針の立案 ・ゾントパラメータ等の把握とゾント状態の予測 ・本部長への技術的進言・助言（重大事故等対処設備等、構内設備の活用）</td> </tr> <tr> <td>計画班</td> <td>・事故対応に必要な情報（パラメータ、常設設備の状況・可搬型設備の準備状況等）の収集、プラント状態の進展予測・評価 ・プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 ・アクシデントマネジメントの専門知識に関する計画・情報統括のサポート</td> </tr> <tr> <td>保安班</td> <td>・発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 ・被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する緊急時対策要員への指示 ・影響範囲の評価に基づく対応方針に関する計画・情報統括への助言 ・放射線の影響の専門知識に関する計画・情報統括のサポート</td> </tr> <tr> <td>号機統括</td> <td>・対象号機に関する事故の影響緩和・拡大防止に関わるプラント設備の運転操作への助言、可搬型設備を用いた対応、不具合設備の復旧の統括</td> </tr> <tr> <td>号機班</td> <td>・当直からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手、対策本部へインプット ・事故対応手続の進捗に関する当直のサポート ・当直からの支援要請に関する号機統括への助言</td> </tr> <tr> <td>当直（運転員）</td> <td>・重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 ・中央制御室内監視・操作の実施 ・事故の影響緩和、拡大防止に関わるプラントの運転操作</td> </tr> <tr> <td>復旧班</td> <td>・事故の影響緩和・拡大防止に関わる可搬型設備の準備と操作 ・可搬型設備の準備状況の把握、号機統括へインプット ・不具合設備の復旧の実施</td> </tr> <tr> <td>自衛消防隊</td> <td>・初期消火活動（消防車隊）</td> </tr> <tr> <td>対外対応統括</td> <td>・対外対応活動の統括 ・対外対応情報の収集、本部長へインプット</td> </tr> <tr> <td>通報班</td> <td>・社外関係機関への通報連絡</td> </tr> <tr> <td>立地・広報班</td> <td>・自治体派遣者の活動状況把握とサポート ・マスコミ対応者への支援</td> </tr> <tr> <td>総務統括</td> <td>・発電所対策本部の運営支援の統括</td> </tr> <tr> <td>資材班</td> <td>・資材の調達及び輸送に関する一元管理 ・原子力緊急事態支援組織からの資機材受入調整</td> </tr> <tr> <td>総務班</td> <td>・要員の呼集、参集状況の把握、対策本部へインプット ・食料・被服の調達 ・宿泊関係の手配 ・医療活動 ・所内の警備指示 ・一般入所者の避難指示 ・物的防護施設の運用指示 ・他の班に属さない事項</td> </tr> </tbody> </table>	職位	ミッション	本部長	・防災態勢の発令、変更の決定 ・緊急時対策本部（以下「対策本部」という。）の指揮・統括 ・重要な事項の意思決定	原子炉主任技術者 安全監督担当	・原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 ・人身安全に関する安全の監督、本部長への助言	計画・情報統括	・事故対応方針の立案 ・ゾントパラメータ等の把握とゾント状態の予測 ・本部長への技術的進言・助言（重大事故等対処設備等、構内設備の活用）	計画班	・事故対応に必要な情報（パラメータ、常設設備の状況・可搬型設備の準備状況等）の収集、プラント状態の進展予測・評価 ・プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 ・アクシデントマネジメントの専門知識に関する計画・情報統括のサポート	保安班	・発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 ・被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する緊急時対策要員への指示 ・影響範囲の評価に基づく対応方針に関する計画・情報統括への助言 ・放射線の影響の専門知識に関する計画・情報統括のサポート	号機統括	・対象号機に関する事故の影響緩和・拡大防止に関わるプラント設備の運転操作への助言、可搬型設備を用いた対応、不具合設備の復旧の統括	号機班	・当直からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手、対策本部へインプット ・事故対応手続の進捗に関する当直のサポート ・当直からの支援要請に関する号機統括への助言	当直（運転員）	・重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 ・中央制御室内監視・操作の実施 ・事故の影響緩和、拡大防止に関わるプラントの運転操作	復旧班	・事故の影響緩和・拡大防止に関わる可搬型設備の準備と操作 ・可搬型設備の準備状況の把握、号機統括へインプット ・不具合設備の復旧の実施	自衛消防隊	・初期消火活動（消防車隊）	対外対応統括	・対外対応活動の統括 ・対外対応情報の収集、本部長へインプット	通報班	・社外関係機関への通報連絡	立地・広報班	・自治体派遣者の活動状況把握とサポート ・マスコミ対応者への支援	総務統括	・発電所対策本部の運営支援の統括	資材班	・資材の調達及び輸送に関する一元管理 ・原子力緊急事態支援組織からの資機材受入調整	総務班	・要員の呼集、参集状況の把握、対策本部へインプット ・食料・被服の調達 ・宿泊関係の手配 ・医療活動 ・所内の警備指示 ・一般入所者の避難指示 ・物的防護施設の運用指示 ・他の班に属さない事項	<p>表 5.11-1 各職位のミッション</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職位</th> <th>ミッション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部長</td> <td>・防災態勢の発令、変更の決定 ・緊急時対策本部（以下、「対策本部」という。）の指揮・統括 ・重要な事項の意思決定</td> </tr> <tr> <td>原子炉主任技術者 安全監督担当</td> <td>・原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 ・人身安全に関する安全の監督、本部長への助言</td> </tr> <tr> <td>計画・情報統括</td> <td>・事故対応方針（緊急時行動計画）の作成、対策本部への提示 ・資源の利用・運用に関する対策本部への助言 ・事故対応状況の把握に関する本部長のサポート</td> </tr> <tr> <td>計画班</td> <td>・事故対応に必要な情報（パラメータ、常設設備の状況・可搬型設備の準備状況等）の収集、プラント状態の進展予測・評価 ・プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 ・アクシデントマネジメントの専門知識に関する計画・情報統括のサポート</td> </tr> <tr> <td>保安班</td> <td>・発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 ・被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する緊急時対策要員への指示 ・影響範囲の評価に基づく対応方針に関する計画・情報統括への助言 ・放射線の影響の専門知識に関する計画・情報統括のリポート</td> </tr> <tr> <td>号機統括</td> <td>・対象号機に関する事故の影響緩和・拡大防止に関わるプラント設備の運転操作、可搬型設備を用いた対応、不具合設備の復旧の統括</td> </tr> <tr> <td>号機班</td> <td>・運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手、対策本部へインプット ・事故対応手段の選定に関する運転員のサポート ・運転員からの支援要請に関する号機統括への助言</td> </tr> <tr> <td>運転員（当直）</td> <td>・重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 ・中央制御室内監視・操作の実施 ・事故の影響緩和、拡大防止に関わるプラントの運転操作</td> </tr> <tr> <td>復旧班</td> <td>・事故の影響緩和・拡大防止に関わる可搬型設備の準備と操作 ・可搬型設備の準備状況の把握、号機統括へインプット ・不具合設備の復旧の実施</td> </tr> <tr> <td>自衛消防隊</td> <td>・初期消火活動（消防車隊）</td> </tr> <tr> <td>対外対応統括</td> <td>・対外対応活動の統括</td> </tr> <tr> <td>通報班</td> <td>・社外関係機関への通報連絡</td> </tr> <tr> <td>立地・広報班</td> <td>・対外対応情報の収集、本部長へインプット ・自治体派遣者の活動状況把握とサポート ・マスコミ対応者への支援</td> </tr> <tr> <td>総務統括</td> <td>・発電所対策本部の運営支援の統括</td> </tr> <tr> <td>資材班</td> <td>・資材の調達及び輸送に関する一元管理 ・原子力緊急事態支援組織からの資機材受入調整</td> </tr> <tr> <td>総務班</td> <td>・要員の呼集、参集状況の把握、対策本部へインプット ・食料・被服の調達 ・宿泊関係の手配 ・医療活動 ・所内の警備指示 ・一般入所者の避難指示 ・物的防護施設の運用指示 ・他の班に属さない事項</td> </tr> </tbody> </table>	職位	ミッション	本部長	・防災態勢の発令、変更の決定 ・緊急時対策本部（以下、「対策本部」という。）の指揮・統括 ・重要な事項の意思決定	原子炉主任技術者 安全監督担当	・原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 ・人身安全に関する安全の監督、本部長への助言	計画・情報統括	・事故対応方針（緊急時行動計画）の作成、対策本部への提示 ・資源の利用・運用に関する対策本部への助言 ・事故対応状況の把握に関する本部長のサポート	計画班	・事故対応に必要な情報（パラメータ、常設設備の状況・可搬型設備の準備状況等）の収集、プラント状態の進展予測・評価 ・プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 ・アクシデントマネジメントの専門知識に関する計画・情報統括のサポート	保安班	・発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 ・被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する緊急時対策要員への指示 ・影響範囲の評価に基づく対応方針に関する計画・情報統括への助言 ・放射線の影響の専門知識に関する計画・情報統括のリポート	号機統括	・対象号機に関する事故の影響緩和・拡大防止に関わるプラント設備の運転操作、可搬型設備を用いた対応、不具合設備の復旧の統括	号機班	・運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手、対策本部へインプット ・事故対応手段の選定に関する運転員のサポート ・運転員からの支援要請に関する号機統括への助言	運転員（当直）	・重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 ・中央制御室内監視・操作の実施 ・事故の影響緩和、拡大防止に関わるプラントの運転操作	復旧班	・事故の影響緩和・拡大防止に関わる可搬型設備の準備と操作 ・可搬型設備の準備状況の把握、号機統括へインプット ・不具合設備の復旧の実施	自衛消防隊	・初期消火活動（消防車隊）	対外対応統括	・対外対応活動の統括	通報班	・社外関係機関への通報連絡	立地・広報班	・対外対応情報の収集、本部長へインプット ・自治体派遣者の活動状況把握とサポート ・マスコミ対応者への支援	総務統括	・発電所対策本部の運営支援の統括	資材班	・資材の調達及び輸送に関する一元管理 ・原子力緊急事態支援組織からの資機材受入調整	総務班	・要員の呼集、参集状況の把握、対策本部へインプット ・食料・被服の調達 ・宿泊関係の手配 ・医療活動 ・所内の警備指示 ・一般入所者の避難指示 ・物的防護施設の運用指示 ・他の班に属さない事項	①職位毎のミッション見直し
職位	ミッション																																																																								
本部長	・防災態勢の発令、変更の決定 ・緊急時対策本部（以下「対策本部」という。）の指揮・統括 ・重要な事項の意思決定																																																																								
原子炉主任技術者 安全監督担当	・原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 ・人身安全に関する安全の監督、本部長への助言																																																																								
計画・情報統括	・事故対応方針の立案 ・ゾントパラメータ等の把握とゾント状態の予測 ・本部長への技術的進言・助言（重大事故等対処設備等、構内設備の活用）																																																																								
計画班	・事故対応に必要な情報（パラメータ、常設設備の状況・可搬型設備の準備状況等）の収集、プラント状態の進展予測・評価 ・プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 ・アクシデントマネジメントの専門知識に関する計画・情報統括のサポート																																																																								
保安班	・発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 ・被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する緊急時対策要員への指示 ・影響範囲の評価に基づく対応方針に関する計画・情報統括への助言 ・放射線の影響の専門知識に関する計画・情報統括のサポート																																																																								
号機統括	・対象号機に関する事故の影響緩和・拡大防止に関わるプラント設備の運転操作への助言、可搬型設備を用いた対応、不具合設備の復旧の統括																																																																								
号機班	・当直からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手、対策本部へインプット ・事故対応手続の進捗に関する当直のサポート ・当直からの支援要請に関する号機統括への助言																																																																								
当直（運転員）	・重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 ・中央制御室内監視・操作の実施 ・事故の影響緩和、拡大防止に関わるプラントの運転操作																																																																								
復旧班	・事故の影響緩和・拡大防止に関わる可搬型設備の準備と操作 ・可搬型設備の準備状況の把握、号機統括へインプット ・不具合設備の復旧の実施																																																																								
自衛消防隊	・初期消火活動（消防車隊）																																																																								
対外対応統括	・対外対応活動の統括 ・対外対応情報の収集、本部長へインプット																																																																								
通報班	・社外関係機関への通報連絡																																																																								
立地・広報班	・自治体派遣者の活動状況把握とサポート ・マスコミ対応者への支援																																																																								
総務統括	・発電所対策本部の運営支援の統括																																																																								
資材班	・資材の調達及び輸送に関する一元管理 ・原子力緊急事態支援組織からの資機材受入調整																																																																								
総務班	・要員の呼集、参集状況の把握、対策本部へインプット ・食料・被服の調達 ・宿泊関係の手配 ・医療活動 ・所内の警備指示 ・一般入所者の避難指示 ・物的防護施設の運用指示 ・他の班に属さない事項																																																																								
職位	ミッション																																																																								
本部長	・防災態勢の発令、変更の決定 ・緊急時対策本部（以下、「対策本部」という。）の指揮・統括 ・重要な事項の意思決定																																																																								
原子炉主任技術者 安全監督担当	・原子炉安全に関する保安の監督、本部長への助言 ・人身安全に関する安全の監督、本部長への助言																																																																								
計画・情報統括	・事故対応方針（緊急時行動計画）の作成、対策本部への提示 ・資源の利用・運用に関する対策本部への助言 ・事故対応状況の把握に関する本部長のサポート																																																																								
計画班	・事故対応に必要な情報（パラメータ、常設設備の状況・可搬型設備の準備状況等）の収集、プラント状態の進展予測・評価 ・プラント状態の進展予測・評価結果の事故対応方針への反映 ・アクシデントマネジメントの専門知識に関する計画・情報統括のサポート																																																																								
保安班	・発電所内外の放射線・放射能の状況把握、影響範囲の評価 ・被ばく管理、汚染拡大防止措置に関する緊急時対策要員への指示 ・影響範囲の評価に基づく対応方針に関する計画・情報統括への助言 ・放射線の影響の専門知識に関する計画・情報統括のリポート																																																																								
号機統括	・対象号機に関する事故の影響緩和・拡大防止に関わるプラント設備の運転操作、可搬型設備を用いた対応、不具合設備の復旧の統括																																																																								
号機班	・運転員からの重要パラメータ及び常設設備の状況の入手、対策本部へインプット ・事故対応手段の選定に関する運転員のサポート ・運転員からの支援要請に関する号機統括への助言																																																																								
運転員（当直）	・重要パラメータ及び常設設備の状況把握と操作 ・中央制御室内監視・操作の実施 ・事故の影響緩和、拡大防止に関わるプラントの運転操作																																																																								
復旧班	・事故の影響緩和・拡大防止に関わる可搬型設備の準備と操作 ・可搬型設備の準備状況の把握、号機統括へインプット ・不具合設備の復旧の実施																																																																								
自衛消防隊	・初期消火活動（消防車隊）																																																																								
対外対応統括	・対外対応活動の統括																																																																								
通報班	・社外関係機関への通報連絡																																																																								
立地・広報班	・対外対応情報の収集、本部長へインプット ・自治体派遣者の活動状況把握とサポート ・マスコミ対応者への支援																																																																								
総務統括	・発電所対策本部の運営支援の統括																																																																								
資材班	・資材の調達及び輸送に関する一元管理 ・原子力緊急事態支援組織からの資機材受入調整																																																																								
総務班	・要員の呼集、参集状況の把握、対策本部へインプット ・食料・被服の調達 ・宿泊関係の手配 ・医療活動 ・所内の警備指示 ・一般入所者の避難指示 ・物的防護施設の運用指示 ・他の班に属さない事項																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
276	補足説明資料 61-9 5.11	添 61-9-5- 88	<p>重大事故等に対処する要員 緊急時対策要員</p> <p>① 本部長 1名 ② 計画・情報統括 1名 ③ 1～5号統括 1名 ④ 6号統括 1名 ⑤ 7号統括 1名 ⑥ 総務統括 1名 ⑦ 自衛消防隊 (初期消火対応) 1名</p> <p>⑧ 1～5号対応要員 (1～5号炉) ⑨ 6号及び7号炉対応要員 (6号、7号炉) ⑩ 1～7号炉共通対応要員 ⑪ 情報統括 ⑫ 現場対応 ⑬ 対外対応 ⑭ 意思決定・指揮 ⑮ 情報収集・計画立案 ⑯ 復旧対応 ⑰ ロジスティック・リソース管理</p> <p>中央制御室運転員 6号及び7号炉の重大事故等に対処するために事象発生10時間以降に必要となる緊急時対策要員 106名</p> <p>合計：232名</p>	<p>重大事故等に対処する要員 緊急時対策要員</p> <p>① 本部長 1名 ② 計画・情報統括 1名 ③ 1～5号統括 1名 ④ 6号統括 1名 ⑤ 7号統括 1名 ⑥ 総務統括 1名 ⑦ 自衛消防隊 (初期消火対応) 1名</p> <p>⑧ 1～5号対応要員 (1～5号炉) ⑨ 6号及び7号炉対応要員 (6号、7号炉) ⑩ 1～7号炉共通対応要員 ⑪ 情報統括 ⑫ 現場対応 ⑬ 対外対応 ⑭ 意思決定・指揮 ⑮ 情報収集・計画立案 ⑯ 復旧対応 ⑰ ロジスティック・リソース管理</p> <p>中央制御室運転員 6号及び7号炉の重大事故等に対処するために事象発生10時間以降に必要となる緊急時対策要員 106名</p> <p>合計：231名</p>	<p>② 体制見直し</p>

図 5.11-1 柏崎刈羽原子力発電所 原子力防災組織 体制図 (第2次緊急時態勢・参集要員召集後、6、7号炉とも運転中の場合)

図 5.11-1 柏崎刈羽原子力発電所 緊急時対策本部、自衛消防隊及び中央制御室の体制 (第2次緊急時態勢・参集要員召集後、6、7号炉共運転中の場合)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.12 停止中の1～5号炉のパラメータ監視性について

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
277	補足説明 資料 61-9 5.12	—	—	—	—

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.13 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の構造及び耐震設計について

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
278	補足説明 資料 61-9 5.13	61-9-5- 101	<p>(2) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）の機能は、待機場所の空調バウンダリである躯体壁の気密性及び待機場所の遮蔽壁が有する遮蔽性を担うコンクリート躯体、及び待機場所内に設置する待避スペースの遮蔽性を担う室内遮蔽により構成される。</p> <p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）のコンクリート躯体は、5号炉原子炉建屋を構成するコンクリート躯体の一部であり、必要な構造強度を確保するとともに、対策要員の居住性を維持するための被ばく線量を低減できる遮蔽厚さを確保するとともに、換気設備とあいまって対策要員の居住性を維持するための気密性を有する設計とする。</p> <p>ここで、待機場所のコンクリート躯体は、常設重大事故等対処設備において「常設耐震重要重大事故防止設備」及び「常設重大事故緩和設備」に分類し、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、建物・構築物として耐震設計を行うこととする。</p> <p>室内遮蔽は、鋼製の柱をボルト締結した架構により必要な構造強度を確保し、架構に設置する遮蔽材により必要な遮蔽性を確保可能な設計とする。遮蔽材は待避スペースの架構の柱にボルト締結され、架構は柱と柱の間をブレースにより補強することより剛性を高め、ベースプレート及び基礎ボルトにより床面に支持する構造とする。</p> <p>ここで、室内遮蔽は、常設重大事故等対処設備において「常設耐震重要重大事故防止設備」及び「常設重大事故緩和設備」に分類し、「鋼構造設計規準 一許容応力度設計法—（日本建築学会）」に基づき、鋼構造の構造体として耐震設計を行うこととする。</p> <p>待機場所の各要求機能とコンクリート躯体及び室内遮蔽に対する許容限界（評価基準）について表5.13-2に示す。</p> <p>また、待機場所内部の配置図を図5.13-7、室内遮蔽の構造図を図5.13-8に示す。</p>	<p>(2) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）は、待機場所の気密性及び遮蔽性を担うコンクリート躯体、及び待機場所内に設置する待避スペースの遮蔽性を担う待避スペース遮蔽により構成される。</p> <p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）のコンクリート躯体は、5号炉原子炉建屋を構成するコンクリート躯体の一部であり、必要な構造強度を確保するとともに、対策要員の居住性を維持するための被ばく線量低減可能な遮蔽厚さを確保するとともに、換気設備と相まって対策要員の居住性を維持するための気密性を有する設計とする。</p> <p>ここで、待機場所のコンクリート躯体は、常設重大事故等対処設備において「常設耐震重要重大事故防止設備」及び「常設重大事故緩和設備」に分類し、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、建物・構築物として耐震設計を行うこととする。</p> <p>待避スペース遮蔽は、鋼製の柱をボルト締結した架構により必要な構造強度を確保し、架構に設置する遮蔽材により必要な遮蔽性を確保可能な設計とする。遮蔽材は待避スペースの架構の柱にボルト締結され、架構は柱と柱の間をブレースにより補強することより剛性を高め、ベースプレート及び基礎ボルトにより床面に支持する構造とする。</p> <p>ここで、待避スペース遮蔽は、常設重大事故等対処設備において「常設耐震重要重大事故防止設備」及び「常設重大事故緩和設備」に分類し、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、建物・構築物として耐震設計を行うこととする。</p> <p>待機場所の各要求機能に対する許容限界（評価基準）について表5.13-2に示す。</p> <p>また、待機場所内部の平面図を図5.13-7に示す。</p>	<p>① （設計進捗による待機場所遮蔽の設計方針追加）</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】


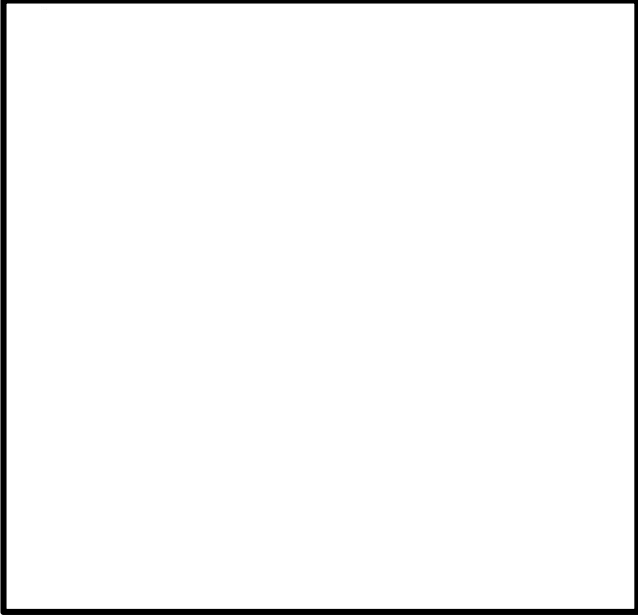
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																										
279	補足説明資料 61-9 5.13	61-9-5-102	<p>表 5.13-2 待機場所の各要求機能に対する許容限界（評価基準）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">要求機能</th> <th rowspan="2">機能設計上の性能目標</th> <th rowspan="2">地震力</th> <th colspan="2">部位</th> <th rowspan="2">許容限界 (評価基準)</th> </tr> <tr> <th>待機場所</th> <th>待機場所内の待避スペース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">構造強度を有すること</td> <td rowspan="2">基準地震動 S₀</td> <td>待機場所遮蔽(耐震壁)</td> <td></td> <td>最大せん断ひずみ 2×10⁻³以下となること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>室内遮蔽 (底面部架構、柱架構、ブレース架構、基礎ボルト)</td> <td>遮蔽材の直接支持構造物として、基準地震動 S_s による地震力で機能維持するよう設計されていること</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>気密性能を維持すること</td> <td>基準地震動 S_s</td> <td>待機場所遮蔽(耐震壁)</td> <td></td> <td>最大せん断ひずみ 2×10⁻³以下となること</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遮蔽性</td> <td rowspan="2">遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと</td> <td rowspan="2">基準地震動 S_s</td> <td>待機場所遮蔽(耐震壁)</td> <td></td> <td>最大せん断ひずみ 2×10⁻³以下となること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>室内遮蔽(遮蔽材)</td> <td>鋼構造物(室内遮蔽の架構)の変位に追従すること</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支持機能</td> <td rowspan="2">機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと</td> <td rowspan="2">基準地震動 S_s</td> <td>待機場所遮蔽(耐震壁)</td> <td></td> <td>最大せん断ひずみ 2×10⁻³以下となること</td> </tr> <tr> <td></td> <td>室内遮蔽(遮蔽材)</td> <td>鋼構造物(室内遮蔽の架構)の変位に追従すること</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足】 ※1：建屋全体としては、地震力をおもに耐震壁で負担する構造となっており、柱、梁、間仕切壁等が耐震壁の変形に追従すること、全体に剛性の高い構造となっており複数の耐震壁の相対変形が小さく床スラブの変形が抑えられるため、各層の耐震壁が最大せん断ひずみの許容限界を満足していれば、建物・構築物に要求される機能は維持される設計とする。 ※2：室内遮蔽は、地震力を鋼構造物の構造体（底面部架構、柱架構、ブレース架構）で負担する構造となるよう設計する。また遮蔽体は構造体の変形に追従するため室内遮蔽に要求される機能は維持される設計とする。</p>	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位		許容限界 (評価基準)	待機場所	待機場所内の待避スペース	—	構造強度を有すること	基準地震動 S ₀	待機場所遮蔽(耐震壁)		最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること		室内遮蔽 (底面部架構、柱架構、ブレース架構、基礎ボルト)	遮蔽材の直接支持構造物として、基準地震動 S _s による地震力で機能維持するよう設計されていること	気密性	気密性能を維持すること	基準地震動 S _s	待機場所遮蔽(耐震壁)		最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること	遮蔽性	遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと	基準地震動 S _s	待機場所遮蔽(耐震壁)		最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること		室内遮蔽(遮蔽材)	鋼構造物(室内遮蔽の架構)の変位に追従すること	支持機能	機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	待機場所遮蔽(耐震壁)		最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること		室内遮蔽(遮蔽材)	鋼構造物(室内遮蔽の架構)の変位に追従すること	<p>表 5.13-2 待機場所の各要求機能に対する許容限界（評価基準）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要求機能</th> <th>機能設計上の性能目標</th> <th>地震力</th> <th>部位</th> <th>許容限界 (評価基準)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">—</td> <td rowspan="4">構造強度を有すること</td> <td rowspan="4">基準地震動 S_s</td> <td>待避スペース遮蔽(ベースプレート、基礎ボルト)</td> <td>供用状態Dでの許容応力以下となること</td> </tr> <tr> <td>待避スペース遮蔽(柱、ブレース)</td> <td>供用状態Dでの許容応力以下となること</td> </tr> <tr> <td>待避スペース遮蔽(遮蔽材)</td> <td>供用状態Dでの許容応力以下となること</td> </tr> <tr> <td>耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)</td> <td>最大せん断ひずみ 2×10⁻³以下となること</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>気密性能を維持すること</td> <td>基準地震動 S_s</td> <td>耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)</td> <td>最大せん断ひずみ 2×10⁻³以下となること</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遮蔽性</td> <td rowspan="2">遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと</td> <td rowspan="2">基準地震動 S_s</td> <td>待避スペース遮蔽(遮蔽材)</td> <td>供用状態Dでの許容応力以下となること</td> </tr> <tr> <td>耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)</td> <td>最大せん断ひずみ 2×10⁻³以下となること</td> </tr> <tr> <td>支持機能</td> <td>機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと</td> <td>基準地震動 S_s</td> <td>耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)</td> <td>最大せん断ひずみ 2×10⁻³以下となること</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：建屋全体としては、地震力をおもに耐震壁で負担する構造となっており、柱、梁、間仕切壁等が耐震壁の変形に追従すること、全体に剛性の高い構造となっており複数の耐震壁の相対変形が小さく床スラブの変形が抑えられるため、各層の耐震壁が最大せん断ひずみの許容限界を満足していれば、建物・構築物に要求される機能は維持される設計とする。</p>	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	許容限界 (評価基準)	—	構造強度を有すること	基準地震動 S _s	待避スペース遮蔽(ベースプレート、基礎ボルト)	供用状態Dでの許容応力以下となること	待避スペース遮蔽(柱、ブレース)	供用状態Dでの許容応力以下となること	待避スペース遮蔽(遮蔽材)	供用状態Dでの許容応力以下となること	耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)	最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること	気密性	気密性能を維持すること	基準地震動 S _s	耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)	最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること	遮蔽性	遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと	基準地震動 S _s	待避スペース遮蔽(遮蔽材)	供用状態Dでの許容応力以下となること	耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)	最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること	支持機能	機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)	最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること	①（要求機能に対する評価基準の見直し）
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位				許容限界 (評価基準)																																																																								
			待機場所	待機場所内の待避スペース																																																																											
—	構造強度を有すること	基準地震動 S ₀	待機場所遮蔽(耐震壁)		最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること																																																																										
				室内遮蔽 (底面部架構、柱架構、ブレース架構、基礎ボルト)	遮蔽材の直接支持構造物として、基準地震動 S _s による地震力で機能維持するよう設計されていること																																																																										
気密性	気密性能を維持すること	基準地震動 S _s	待機場所遮蔽(耐震壁)		最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること																																																																										
遮蔽性	遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと	基準地震動 S _s	待機場所遮蔽(耐震壁)		最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること																																																																										
				室内遮蔽(遮蔽材)	鋼構造物(室内遮蔽の架構)の変位に追従すること																																																																										
支持機能	機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	待機場所遮蔽(耐震壁)		最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること																																																																										
				室内遮蔽(遮蔽材)	鋼構造物(室内遮蔽の架構)の変位に追従すること																																																																										
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	許容限界 (評価基準)																																																																											
—	構造強度を有すること	基準地震動 S _s	待避スペース遮蔽(ベースプレート、基礎ボルト)	供用状態Dでの許容応力以下となること																																																																											
			待避スペース遮蔽(柱、ブレース)	供用状態Dでの許容応力以下となること																																																																											
			待避スペース遮蔽(遮蔽材)	供用状態Dでの許容応力以下となること																																																																											
			耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)	最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること																																																																											
気密性	気密性能を維持すること	基準地震動 S _s	耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)	最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること																																																																											
遮蔽性	遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと	基準地震動 S _s	待避スペース遮蔽(遮蔽材)	供用状態Dでの許容応力以下となること																																																																											
			耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)	最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること																																																																											
支持機能	機器・配管系等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 S _s	耐震壁※1 (緊急時対策所(待機場所)遮蔽)	最大せん断ひずみ 2×10 ⁻³ 以下となること																																																																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
280	補足説明 資料 61-9 5.13	61-9-5- 103	 <p>図5.13-7 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 配置図</p>	 <p>図5.13-7 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 配置詳細図</p>	⑤ (記載の充実)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
281	補足説明 資料 61-9 5.13	61-9-5- 103	 <p>図5.13-8 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 室内遮蔽の構造図</p>	—	① (設計進捗による待機場所遮蔽の設計方針追加)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.14 移動式待機場所について

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
282	補足説明 資料 61-9 5.14	—	—	—	—

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.15 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の耐震設計について

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
283	補足説明資料 61-9 5.15	61-9-5-109	<p>緊急時対策所が設置される5号炉原子炉建屋については、基準地震動による地震力に対して機能が喪失しない設計とする。</p> <p>以下では、5号炉原子炉建屋の地震応答解析モデルについて示すとともに、基準地震動Ssによる地震応答解析を実施し、耐震成立性の見通しについて示す。</p> <p>なお、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所※1の機能である、居住性の確保、必要な情報の把握、通信連絡、電源の確保各々についての設備の耐震性、及び地震を想定した場合の5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の屋内アクセスルートの成立性については、本補足説明資料「4. 耐震設計方針について」で示す。</p>	<p>本資料は、緊急時対策所が設置される5号炉原子炉建屋の地震応答解析モデルについて示すと共に、基準地震動Ssによる地震応答解析を実施し、耐震成立性の見通しについて示すものである。</p> <p>なお、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所※1の系統機能である、居住性の確保、必要な情報の把握、通信連絡、電源の確保各々についての設備の耐震性、及び地震を想定した場合の5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の屋内アクセスルートの成立性については、重大事故対処設備について「3.18緊急時対策所（設置許可基準規則第61条に対する設計方針を示す資料）」で示す。</p>	<p>② 緊急時対策所機能と耐震性の明確化</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																		
284	補足説明資料 61-9 5.15	61-9-5- 129	<p>表 5.15-7 地震応答解析による評価における許容限界（重大事故等対処施設としての評価）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要求機能</th> <th>機能設計上の性能目標</th> <th>地震力</th> <th>部位</th> <th>機能維持のための考え方</th> <th>許容限界（評価基準値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">構造強度を有すること</td> <td rowspan="2">基準地震動 Ss</td> <td>耐震壁 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）</td> <td>最大せん断ひずみが構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>最大せん断ひずみ 2.0×10⁻³</td> </tr> <tr> <td>基礎地盤</td> <td>最大接地圧が地盤の支持力度を超えないことを確認</td> <td>極限支持力度 4,412kN/m² (450/m²)</td> </tr> <tr> <td>気密性 (注1)</td> <td>換気機能とあいまって気密機能を維持すること</td> <td>基準地震動 Ss</td> <td>耐震壁^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）</td> <td>最大せん断ひずみが気密性を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>おおむね弾性範囲 若しくは最大せん断ひずみ 2.0×10⁻³ (注3)</td> </tr> <tr> <td>遮蔽性</td> <td>遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと</td> <td>基準地震動 Ss</td> <td>耐震壁^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）</td> <td>最大せん断ひずみが遮蔽性を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>最大せん断ひずみ 2.0×10⁻³</td> </tr> <tr> <td>支持機能 (注3)</td> <td>機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと</td> <td>基準地震動 Ss</td> <td>耐震壁^(注2)</td> <td>最大せん断ひずみが支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>最大せん断ひずみ 2.0×10⁻³</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）の気密性については、原子炉建屋のコンクリート躯体とは別に設置される鋼製の高气密室により機能を維持する方針である。5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）については、原子炉建屋のコンクリート躯体（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）により換気機能とあいまって機能を維持する方針である。気密性の維持の確認に当たって、最大応答せん断スケルトン曲線上の第一折れ点を下回っている場合はおおむね弾性範囲にあると判断し、気密性が維持されているものと評価する。また、せん断スケルトン曲線上の第一折れ点を上回っている場合は、許容限界として設定した最大せん断ひずみによる空気漏えい量を算定し、設置する換気設備の性能と比較することにより、必要な気密性が維持されることを確認する。</p> <p>(注2) 建屋全体としては、地震力を主に耐震壁で負担する構造となっており、柱、梁、間仕切壁等が耐震壁の変形に追従すること、全体に剛性の高い構造となっており複数の耐震壁間の相対変形が小さく床スラブの変形が抑えられるため、各層の耐震壁が最大せん断ひずみの許容限界を満足していれば、建物・構築物に要求される機能は維持される。</p> <p>(注3) 「支持機能」の確認には、「内包する設備に対する波及的影響」の確認が含まれる。</p>	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界（評価基準値）	—	構造強度を有すること	基準地震動 Ss	耐震壁 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³	基礎地盤	最大接地圧が地盤の支持力度を超えないことを確認	極限支持力度 4,412kN/m ² (450/m ²)	気密性 (注1)	換気機能とあいまって気密機能を維持すること	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが気密性を維持するための許容限界を超えないことを確認	おおむね弾性範囲 若しくは最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³ (注3)	遮蔽性	遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが遮蔽性を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³	支持機能 (注3)	機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2)	最大せん断ひずみが支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³	<p>表 3.1-1 地震応答解析による評価における許容限界（重大事故等対処施設としての評価）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>要求機能</th> <th>機能設計上の性能目標</th> <th>地震力</th> <th>部位</th> <th>機能維持のための考え方</th> <th>許容限界（評価基準値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">構造強度を有すること</td> <td rowspan="2">基準地震動 Ss</td> <td>耐震壁 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）</td> <td>最大せん断ひずみが構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>最大せん断ひずみ 2.0×10⁻³</td> </tr> <tr> <td>基礎地盤</td> <td>最大接地圧が地盤の支持力度を超えないことを確認</td> <td>極限支持力度 4,412kN/m² (450/m²)</td> </tr> <tr> <td>気密性 (注1)</td> <td>換気機能とあいまって気密機能を維持すること</td> <td>基準地震動 Ss</td> <td>耐震壁^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）</td> <td>最大せん断ひずみが気密性を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>概ね弾性範囲 もしくは最大せん断ひずみ 2.0×10⁻³ (注3)</td> </tr> <tr> <td>遮蔽性</td> <td>遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと</td> <td>基準地震動 Ss</td> <td>耐震壁^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）</td> <td>最大せん断ひずみが遮蔽性を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>最大せん断ひずみ 2.0×10⁻³</td> </tr> <tr> <td>支持機能 (注3)</td> <td>機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと</td> <td>基準地震動 Ss</td> <td>耐震壁^(注2)</td> <td>最大せん断ひずみが支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認</td> <td>最大せん断ひずみ 2.0×10⁻³</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）の気密性については、原子炉建屋のコンクリート躯体とは別に設置される鋼製の高气密室により機能を維持する方針である。5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）については、原子炉建屋のコンクリート躯体（5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）により換気機能とあいまって機能を維持する方針である。気密性の維持の確認に当たって、最大応答せん断スケルトン曲線上の第一折れ点を下回っている場合は概ね弾性範囲にあると判断し、気密性が維持されているものと評価する。また、せん断スケルトン曲線上の第一折れ点を上回っている場合は、許容限界として設定した最大せん断ひずみによる空気漏えい量を算定し、設置する換気設備の性能と比較することにより、必要な気密性が維持されることを確認する。</p> <p>(注2) 建屋全体としては、地震力を主に耐震壁で負担する構造となっており、柱、梁、間仕切壁等が耐震壁の変形に追従すること、全体に剛性の高い構造となっており複数の耐震壁間の相対変形が小さく床スラブの変形が抑えられるため、各層の耐震壁が最大せん断ひずみの許容限界を満足していれば、建物・構築物に要求される機能は維持される。</p> <p>(注3) 「支持機能」の確認には、「内包する設備に対する波及的影響」の確認が含まれる。</p>	要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界（評価基準値）	—	構造強度を有すること	基準地震動 Ss	耐震壁 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³	基礎地盤	最大接地圧が地盤の支持力度を超えないことを確認	極限支持力度 4,412kN/m ² (450/m ²)	気密性 (注1)	換気機能とあいまって気密機能を維持すること	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが気密性を維持するための許容限界を超えないことを確認	概ね弾性範囲 もしくは最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³ (注3)	遮蔽性	遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが遮蔽性を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³	支持機能 (注3)	機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2)	最大せん断ひずみが支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³	⑤ 記載の充実
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界（評価基準値）																																																																		
—	構造強度を有すること	基準地震動 Ss	耐震壁 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³																																																																		
			基礎地盤	最大接地圧が地盤の支持力度を超えないことを確認	極限支持力度 4,412kN/m ² (450/m ²)																																																																		
気密性 (注1)	換気機能とあいまって気密機能を維持すること	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが気密性を維持するための許容限界を超えないことを確認	おおむね弾性範囲 若しくは最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³ (注3)																																																																		
遮蔽性	遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが遮蔽性を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³																																																																		
支持機能 (注3)	機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2)	最大せん断ひずみが支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³																																																																		
要求機能	機能設計上の性能目標	地震力	部位	機能維持のための考え方	許容限界（評価基準値）																																																																		
—	構造強度を有すること	基準地震動 Ss	耐震壁 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³																																																																		
			基礎地盤	最大接地圧が地盤の支持力度を超えないことを確認	極限支持力度 4,412kN/m ² (450/m ²)																																																																		
気密性 (注1)	換気機能とあいまって気密機能を維持すること	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが気密性を維持するための許容限界を超えないことを確認	概ね弾性範囲 もしくは最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³ (注3)																																																																		
遮蔽性	遮蔽体の損傷により遮蔽性を損なわないこと	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2) (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（対策本部）遮蔽、及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所）遮蔽）	最大せん断ひずみが遮蔽性を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³																																																																		
支持機能 (注3)	機器・配管等の設備を支持する機能を損なわないこと	基準地震動 Ss	耐震壁 ^(注2)	最大せん断ひずみが支持機能を維持するための許容限界を超えないことを確認	最大せん断ひずみ 2.0×10 ⁻³																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 61条 緊急時対策所
 章/項番号: 5.16 大湊側緊急時対策所の設置計画について

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																										
285	補足説明資料 61-9 5.16	61-9-5-148	表 5.16-3 各拠点の緊急時対策所の仕様について※1		表 5.15-3 各拠点の緊急時対策所の仕様について																																																																																																										
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (大湊側)</td> <td>大湊側緊急時対策所 (大湊側)</td> </tr> <tr> <td>設置高さ</td> <td>T. M. S. L. +27.8m</td> <td>T. M. S. L. +30m</td> </tr> <tr> <td>建屋構造</td> <td>耐震構造 (地上3階既設活用) (Ss機能維持)</td> <td>耐震構造 (地上2階地下2階) (Ss機能維持)</td> </tr> <tr> <td>延べ床面積</td> <td>既設建屋活用</td> <td>約 7,280 m²</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策室面積</td> <td>約 200 m²</td> <td>約 610 m²</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策室の場所</td> <td>地上3階</td> <td>地下2階</td> </tr> <tr> <td>緊対要員数</td> <td>180名程度</td> <td>250名程度</td> </tr> <tr> <td>電源設備</td> <td>所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 可搬型電源設備</td> <td>所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 ガスタービン発電機</td> </tr> <tr> <td>換気設備</td> <td>可搬型空調方式 空気ポンベ設置</td> <td>空気ポンベ設置 全号機の同時被災を想定した被ばく評価</td> </tr> <tr> <td>通信・情報設備</td> <td>無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他</td> <td>無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他</td> </tr> <tr> <td>放射線管理設備</td> <td>可搬型出入管理装置 可搬型エリアモニタ</td> <td>常設出入管理装置 常設エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>放射線防護設備</td> <td>無窓, 高性能・よう素フィルタ付</td> <td>無窓, 高性能・よう素フィルタ付</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自然災害による影響</td> <td>地震</td> <td colspan="2">Ss機能維持</td> </tr> <tr> <td>津波※2</td> <td>T. M. S. L. +27.8m</td> <td>T. M. S. L. +30m</td> </tr> <tr> <td>火災・竜巻 落雷他</td> <td colspan="2">緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。</td> </tr> <tr> <td>故意による大型航空機の衝突</td> <td colspan="2">緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。</td> </tr> <tr> <td>その他特徴</td> <td>基準地震動を含むすべての重大事故時等に対応可能</td> <td>同左 機械室等の非居室も放射線フィルタ設置 (汚染取込防止)</td> </tr> </table>			5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (大湊側)	大湊側緊急時対策所 (大湊側)	設置高さ	T. M. S. L. +27.8m	T. M. S. L. +30m	建屋構造	耐震構造 (地上3階既設活用) (Ss機能維持)	耐震構造 (地上2階地下2階) (Ss機能維持)	延べ床面積	既設建屋活用	約 7,280 m ²	緊急時対策室面積	約 200 m ²	約 610 m ²	緊急時対策室の場所	地上3階	地下2階	緊対要員数	180名程度	250名程度	電源設備	所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 可搬型電源設備	所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 ガスタービン発電機	換気設備	可搬型空調方式 空気ポンベ設置	空気ポンベ設置 全号機の同時被災を想定した被ばく評価	通信・情報設備	無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他	無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他	放射線管理設備	可搬型出入管理装置 可搬型エリアモニタ	常設出入管理装置 常設エリアモニタ	放射線防護設備	無窓, 高性能・よう素フィルタ付	無窓, 高性能・よう素フィルタ付	自然災害による影響	地震	Ss機能維持		津波※2	T. M. S. L. +27.8m	T. M. S. L. +30m	火災・竜巻 落雷他	緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。		故意による大型航空機の衝突	緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。		その他特徴	基準地震動を含むすべての重大事故時等に対応可能	同左 機械室等の非居室も放射線フィルタ設置 (汚染取込防止)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (大湊側)</td> <td>大湊側緊急時対策所 (大湊側)</td> </tr> <tr> <td>設置高さ</td> <td>T. M. S. L. +27.8m</td> <td>T. M. S. L. +30m</td> </tr> <tr> <td>建屋構造</td> <td>耐震構造 (地上3階既設活用) (Ss機能維持)</td> <td>耐震構造 (地上2階地下2階) (Ss機能維持)</td> </tr> <tr> <td>延べ床面積</td> <td>既設建屋活用</td> <td>約 7,280 m²</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策室面積</td> <td>約 200 m²</td> <td>約 1,550 m²</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策室の場所</td> <td>地上3階</td> <td>地下2階</td> </tr> <tr> <td>緊対要員数</td> <td>180名程度</td> <td>300名程度 (最大収容800名)</td> </tr> <tr> <td>電源設備</td> <td>所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 可搬型電源設備</td> <td>所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 ガスタービン発電機</td> </tr> <tr> <td>換気設備</td> <td>可搬型空調方式 空気ポンベ設置</td> <td>空気ポンベ設置 全号機の同時被災を想定した被ばく評価</td> </tr> <tr> <td>通信・情報設備</td> <td>無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他</td> <td>無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他</td> </tr> <tr> <td>放射線管理設備</td> <td>可搬型出入管理装置 可搬型エリアモニタ</td> <td>常設出入管理装置 常設エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>放射線防護設備</td> <td>無窓, 放射性フィルタ付</td> <td>無窓, 放射性フィルタ付</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自然災害による影響</td> <td>地震</td> <td colspan="2">Ss機能維持</td> </tr> <tr> <td>津波</td> <td>T. M. S. L. +27.8m</td> <td>T. M. S. L. +30m</td> </tr> <tr> <td>火災・竜巻 落雷他</td> <td colspan="2">緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。</td> </tr> <tr> <td>故意による大型航空機の衝突</td> <td colspan="2">緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。</td> </tr> <tr> <td>その他特徴</td> <td>基準地震動を含むすべての重大事故時等に対応可能</td> <td>同左 機械室等の非居室も放射線フィルタ設置 (汚染取込防止)</td> </tr> </table>			5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (大湊側)	大湊側緊急時対策所 (大湊側)	設置高さ	T. M. S. L. +27.8m	T. M. S. L. +30m	建屋構造	耐震構造 (地上3階既設活用) (Ss機能維持)	耐震構造 (地上2階地下2階) (Ss機能維持)	延べ床面積	既設建屋活用	約 7,280 m ²	緊急時対策室面積	約 200 m ²	約 1,550 m ²	緊急時対策室の場所	地上3階	地下2階	緊対要員数	180名程度	300名程度 (最大収容800名)	電源設備	所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 可搬型電源設備	所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 ガスタービン発電機	換気設備	可搬型空調方式 空気ポンベ設置	空気ポンベ設置 全号機の同時被災を想定した被ばく評価	通信・情報設備	無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他	無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他	放射線管理設備	可搬型出入管理装置 可搬型エリアモニタ	常設出入管理装置 常設エリアモニタ	放射線防護設備	無窓, 放射性フィルタ付	無窓, 放射性フィルタ付	自然災害による影響	地震	Ss機能維持		津波	T. M. S. L. +27.8m	T. M. S. L. +30m	火災・竜巻 落雷他	緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。		故意による大型航空機の衝突	緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。		その他特徴	基準地震動を含むすべての重大事故時等に対応可能	同左 機械室等の非居室も放射線フィルタ設置 (汚染取込防止)	② (設計進捗による緊対所仕様の見直し)
				5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (大湊側)	大湊側緊急時対策所 (大湊側)																																																																																																										
			設置高さ	T. M. S. L. +27.8m	T. M. S. L. +30m																																																																																																										
			建屋構造	耐震構造 (地上3階既設活用) (Ss機能維持)	耐震構造 (地上2階地下2階) (Ss機能維持)																																																																																																										
			延べ床面積	既設建屋活用	約 7,280 m ²																																																																																																										
			緊急時対策室面積	約 200 m ²	約 610 m ²																																																																																																										
			緊急時対策室の場所	地上3階	地下2階																																																																																																										
			緊対要員数	180名程度	250名程度																																																																																																										
			電源設備	所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 可搬型電源設備	所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 ガスタービン発電機																																																																																																										
			換気設備	可搬型空調方式 空気ポンベ設置	空気ポンベ設置 全号機の同時被災を想定した被ばく評価																																																																																																										
			通信・情報設備	無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他	無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他																																																																																																										
			放射線管理設備	可搬型出入管理装置 可搬型エリアモニタ	常設出入管理装置 常設エリアモニタ																																																																																																										
			放射線防護設備	無窓, 高性能・よう素フィルタ付	無窓, 高性能・よう素フィルタ付																																																																																																										
			自然災害による影響	地震	Ss機能維持																																																																																																										
				津波※2	T. M. S. L. +27.8m	T. M. S. L. +30m																																																																																																									
			火災・竜巻 落雷他	緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。																																																																																																											
			故意による大型航空機の衝突	緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。																																																																																																											
			その他特徴	基準地震動を含むすべての重大事故時等に対応可能	同左 機械室等の非居室も放射線フィルタ設置 (汚染取込防止)																																																																																																										
				5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (大湊側)	大湊側緊急時対策所 (大湊側)																																																																																																										
設置高さ	T. M. S. L. +27.8m	T. M. S. L. +30m																																																																																																													
建屋構造	耐震構造 (地上3階既設活用) (Ss機能維持)	耐震構造 (地上2階地下2階) (Ss機能維持)																																																																																																													
延べ床面積	既設建屋活用	約 7,280 m ²																																																																																																													
緊急時対策室面積	約 200 m ²	約 1,550 m ²																																																																																																													
緊急時対策室の場所	地上3階	地下2階																																																																																																													
緊対要員数	180名程度	300名程度 (最大収容800名)																																																																																																													
電源設備	所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 可搬型電源設備	所内電源 (大湊側) 非常用電源系統 ガスタービン発電機																																																																																																													
換気設備	可搬型空調方式 空気ポンベ設置	空気ポンベ設置 全号機の同時被災を想定した被ばく評価																																																																																																													
通信・情報設備	無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他	無線, 有線, 衛星通信設備, テレビ会議システム, 中央制御室との通信設備, 緊急時対策支援システム伝送装置・表示装置他																																																																																																													
放射線管理設備	可搬型出入管理装置 可搬型エリアモニタ	常設出入管理装置 常設エリアモニタ																																																																																																													
放射線防護設備	無窓, 放射性フィルタ付	無窓, 放射性フィルタ付																																																																																																													
自然災害による影響	地震	Ss機能維持																																																																																																													
	津波	T. M. S. L. +27.8m	T. M. S. L. +30m																																																																																																												
火災・竜巻 落雷他	緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。																																																																																																														
故意による大型航空機の衝突	緊急時対策所間の距離が確保されているため, 複数拠点が同時に発災する可能性は低く, 1拠点が使用不能となっても他拠点の緊急時対策所から対処することが可能。																																																																																																														
その他特徴	基準地震動を含むすべての重大事故時等に対応可能	同左 機械室等の非居室も放射線フィルタ設置 (汚染取込防止)																																																																																																													
※1 大湊側緊急時対策所は詳細設計中であり, 変更となる可能性がある。 ※2 基準津波高さ T. M. S. L. +8.3m		※ 大湊側緊急時対策所は詳細設計中であり, 変更となる可能性がある。																																																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 61条 緊急時対策所 61-10 緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価について

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由								
286	61-10-1.1	61-10-1-4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>新規制基準の項目</th> <th>適合状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1, 2 【解釈】 1 第1項及び第2項の要件を満たす緊急時対策所とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備を備えたものをいう。 e) 緊急時対策所の居住性については、次の要件を満たすものであること。 ① 想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等とすること。 ② ブルーム通過時等に特別な防護措置を講じる場合を除き、対策要員は緊急時対策所内でのマスクの着用なしとして評価すること。 ③ 交代要員体制、安定ヨウ素剤の服用、仮設備等を考慮してもよい。ただし、その場合は、実施のための体制を整備すること。 ④ 判断基準は、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと。</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性については、「実用発電用原子炉に係る重大事故時の制御室及び緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に関する審査ガイド」に基づき評価し、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないことを確認している(約58mSv/7日間)。なお、想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等と想定し、マスク着用なし、交替要員なし及びヨウ素剤の服用なしとして評価した。</td> </tr> </tbody> </table>	新規制基準の項目	適合状況	1, 2 【解釈】 1 第1項及び第2項の要件を満たす緊急時対策所とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備を備えたものをいう。 e) 緊急時対策所の居住性については、次の要件を満たすものであること。 ① 想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等とすること。 ② ブルーム通過時等に特別な防護措置を講じる場合を除き、対策要員は緊急時対策所内でのマスクの着用なしとして評価すること。 ③ 交代要員体制、安定ヨウ素剤の服用、仮設備等を考慮してもよい。ただし、その場合は、実施のための体制を整備すること。 ④ 判断基準は、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性については、「実用発電用原子炉に係る重大事故時の制御室及び緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に関する審査ガイド」に基づき評価し、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないことを確認している(約58mSv/7日間)。なお、想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等と想定し、マスク着用なし、交替要員なし及びヨウ素剤の服用なしとして評価した。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>新規制基準の項目</th> <th>適合状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1, 2 【解釈】 1 第1項及び第2項の要件を満たす緊急時対策所とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備を備えたものをいう。 e) 緊急時対策所の居住性については、次の要件を満たすものであること。 ① 想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等とすること。 ② ブルーム通過時等に特別な防護措置を講じる場合を除き、対策要員は緊急時対策所内でのマスクの着用なしとして評価すること。 ③ 交代要員体制、安定ヨウ素剤の服用、仮設備等を考慮してもよい。ただし、その場合は、実施のための体制を整備すること。 ④ 判断基準は、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと。</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性については、「実用発電用原子炉に係る重大事故時の制御室及び緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に関する審査ガイド」に基づき評価し、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないことを確認している(約56mSv/7日間)。なお、想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等と想定し、マスク着用なし、交替要員なし及び安定ヨウ素剤の服用なしとして評価した。</td> </tr> </tbody> </table>	新規制基準の項目	適合状況	1, 2 【解釈】 1 第1項及び第2項の要件を満たす緊急時対策所とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備を備えたものをいう。 e) 緊急時対策所の居住性については、次の要件を満たすものであること。 ① 想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等とすること。 ② ブルーム通過時等に特別な防護措置を講じる場合を除き、対策要員は緊急時対策所内でのマスクの着用なしとして評価すること。 ③ 交代要員体制、安定ヨウ素剤の服用、仮設備等を考慮してもよい。ただし、その場合は、実施のための体制を整備すること。 ④ 判断基準は、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性については、「実用発電用原子炉に係る重大事故時の制御室及び緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に関する審査ガイド」に基づき評価し、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないことを確認している(約56mSv/7日間)。なお、想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等と想定し、マスク着用なし、交替要員なし及び安定ヨウ素剤の服用なしとして評価した。	⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)
新規制基準の項目	適合状況												
1, 2 【解釈】 1 第1項及び第2項の要件を満たす緊急時対策所とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備を備えたものをいう。 e) 緊急時対策所の居住性については、次の要件を満たすものであること。 ① 想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等とすること。 ② ブルーム通過時等に特別な防護措置を講じる場合を除き、対策要員は緊急時対策所内でのマスクの着用なしとして評価すること。 ③ 交代要員体制、安定ヨウ素剤の服用、仮設備等を考慮してもよい。ただし、その場合は、実施のための体制を整備すること。 ④ 判断基準は、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性については、「実用発電用原子炉に係る重大事故時の制御室及び緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に関する審査ガイド」に基づき評価し、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないことを確認している(約58mSv/7日間)。なお、想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等と想定し、マスク着用なし、交替要員なし及びヨウ素剤の服用なしとして評価した。												
新規制基準の項目	適合状況												
1, 2 【解釈】 1 第1項及び第2項の要件を満たす緊急時対策所とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備を備えたものをいう。 e) 緊急時対策所の居住性については、次の要件を満たすものであること。 ① 想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等とすること。 ② ブルーム通過時等に特別な防護措置を講じる場合を除き、対策要員は緊急時対策所内でのマスクの着用なしとして評価すること。 ③ 交代要員体制、安定ヨウ素剤の服用、仮設備等を考慮してもよい。ただし、その場合は、実施のための体制を整備すること。 ④ 判断基準は、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性については、「実用発電用原子炉に係る重大事故時の制御室及び緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に関する審査ガイド」に基づき評価し、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないことを確認している(約56mSv/7日間)。なお、想定する放射性物質の放出量等は東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故と同等と想定し、マスク着用なし、交替要員なし及び安定ヨウ素剤の服用なしとして評価した。												
287	761-10-1.2	61-10-1-5	<p>重大事故等時の5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に当たっては、「実用発電用原子炉に係る重大事故時の制御室及び緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に関する審査ガイド」(以下「審査ガイド」という。)に基づき評価を行った。なお、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)と5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)は同等の遮蔽性能及び空調設備を有しているため、重大事故等の発生を想定する号炉(6号及び7号炉)に、より近接した5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を代表として評価を行った。</p>	<p>設計基準事故を超える事故時の5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に当たっては、「実用発電用原子炉に係る重大事故時の制御室及び緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価に関する審査ガイド」(以下、「審査ガイド」という)に基づき評価を行った。なお、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)と5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)は同等の遮蔽性能及び空調設備を有しているため、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)を代表として評価を行った。</p>	⑤								
288	61-10-1.2	61-10-1-5	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の対策要員の被ばく評価の結果、実効線量は7日間で約58mSvであり、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないことを確認した。</p>	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の対策要員の被ばく評価の結果、実効線量は7日間で約56mSvであり、対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないことを確認した。</p>	③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)								

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由																																																																						
289	61-10-1.2	61-10-1-8	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の対策要員の被ばく評価結果を表1-3に示す。対策要員の7日間の実効線量は約58mSvとなった。また、遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合は、対策要員の7日間の実効線量は約66mSvとなった。</p> <p>したがって、評価結果は判断基準の「対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと」を満足している。</p>	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の対策要員の被ばく評価結果を表1-3に示す。対策要員の7日間の実効線量は約56mSvとなった。また、遮蔽モデル上のコンクリート厚を施工誤差分だけ薄くした場合は、対策要員の7日間の実効線量は約64mSvとなった。</p> <p>したがって、評価結果は判断基準の「対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと」を満足している。</p>	⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価、コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)																																																																						
290	61-10-1.2	61-10-1-9	<p>表1-3 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性に係る被ばく評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被ばく経路</th> <th colspan="3">5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 7日間の実効線量[mSv]</th> </tr> <tr> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>合計※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく</td> <td>約1.9×10⁰</td> <td>約3.2×10⁻¹</td> <td>約2.3×10⁰ (約2.9×10⁰)</td> </tr> <tr> <td>②放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく</td> <td>約2.7×10¹</td> <td>約1.3×10¹</td> <td>約4.1×10¹ (約4.5×10¹)</td> </tr> <tr> <td>③外気から取り込まれた放射性物質による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく</td> <td>0.1以下</td> <td>0.1以下</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく</td> <td>0.1以下</td> <td>0.1以下</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> </tr> <tr> <td>外部被ばく</td> <td>0.1以下</td> <td>0.1以下</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> </tr> <tr> <td>④地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく</td> <td>約1.2×10¹</td> <td>約3.1×10⁰</td> <td>約1.5×10¹ (約1.8×10¹)</td> </tr> <tr> <td>合計(①+②+③+④)</td> <td>約4.1×10¹</td> <td>約1.7×10¹</td> <td>約58 (約66)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 括弧内:遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p>	被ばく経路	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 7日間の実効線量[mSv]			6号炉	7号炉	合計※1	①原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約1.9×10 ⁰	約3.2×10 ⁻¹	約2.3×10 ⁰ (約2.9×10 ⁰)	②放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約2.7×10 ¹	約1.3×10 ¹	約4.1×10 ¹ (約4.5×10 ¹)	③外気から取り込まれた放射性物質による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	0.1以下	0.1以下	0.1以下 (0.1以下)	(内訳) 内部被ばく	0.1以下	0.1以下	0.1以下 (0.1以下)	外部被ばく	0.1以下	0.1以下	0.1以下 (0.1以下)	④地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約1.2×10 ¹	約3.1×10 ⁰	約1.5×10 ¹ (約1.8×10 ¹)	合計(①+②+③+④)	約4.1×10 ¹	約1.7×10 ¹	約58 (約66)	<p>表1-3 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性に係る被ばく評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被ばく経路</th> <th colspan="3">5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 7日間の実効線量[mSv]</th> </tr> <tr> <th>6号炉※1</th> <th>7号炉※1</th> <th>合計※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく</td> <td>約4.5×10⁻¹ (約6.0×10⁻¹)</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> <td>約5.2×10⁻¹ (約6.9×10⁻¹)</td> </tr> <tr> <td>②放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく</td> <td>約2.7×10¹ (約3.1×10¹)</td> <td>約1.3×10¹ (約1.5×10¹)</td> <td>約4.1×10¹ (約4.6×10¹)</td> </tr> <tr> <td>③外気から取り込まれた放射性物質による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> </tr> <tr> <td>外部被ばく</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> <td>0.1以下 (0.1以下)</td> </tr> <tr> <td>④地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく</td> <td>約1.2×10¹ (約1.4×10¹)</td> <td>約3.1×10⁰ (約3.7×10⁰)</td> <td>約1.5×10¹ (約1.7×10¹)</td> </tr> <tr> <td>合計(①+②+③+④)</td> <td>約4.0×10¹ (約4.5×10¹)</td> <td>約1.6×10¹ (約1.9×10¹)</td> <td>約56 (約64)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 括弧内:遮蔽モデル上のコンクリート厚を施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく量</p>	被ばく経路	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 7日間の実効線量[mSv]			6号炉※1	7号炉※1	合計※1	①原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約4.5×10 ⁻¹ (約6.0×10 ⁻¹)	0.1以下 (0.1以下)	約5.2×10 ⁻¹ (約6.9×10 ⁻¹)	②放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約2.7×10 ¹ (約3.1×10 ¹)	約1.3×10 ¹ (約1.5×10 ¹)	約4.1×10 ¹ (約4.6×10 ¹)	③外気から取り込まれた放射性物質による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	(内訳) 内部被ばく	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	外部被ばく	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	④地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約1.2×10 ¹ (約1.4×10 ¹)	約3.1×10 ⁰ (約3.7×10 ⁰)	約1.5×10 ¹ (約1.7×10 ¹)	合計(①+②+③+④)	約4.0×10 ¹ (約4.5×10 ¹)	約1.6×10 ¹ (約1.9×10 ¹)	約56 (約64)	⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価、コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)
被ばく経路	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 7日間の実効線量[mSv]																																																																										
	6号炉	7号炉	合計※1																																																																								
①原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約1.9×10 ⁰	約3.2×10 ⁻¹	約2.3×10 ⁰ (約2.9×10 ⁰)																																																																								
②放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約2.7×10 ¹	約1.3×10 ¹	約4.1×10 ¹ (約4.5×10 ¹)																																																																								
③外気から取り込まれた放射性物質による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	0.1以下	0.1以下	0.1以下 (0.1以下)																																																																								
(内訳) 内部被ばく	0.1以下	0.1以下	0.1以下 (0.1以下)																																																																								
外部被ばく	0.1以下	0.1以下	0.1以下 (0.1以下)																																																																								
④地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約1.2×10 ¹	約3.1×10 ⁰	約1.5×10 ¹ (約1.8×10 ¹)																																																																								
合計(①+②+③+④)	約4.1×10 ¹	約1.7×10 ¹	約58 (約66)																																																																								
被ばく経路	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 7日間の実効線量[mSv]																																																																										
	6号炉※1	7号炉※1	合計※1																																																																								
①原子炉建屋内の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約4.5×10 ⁻¹ (約6.0×10 ⁻¹)	0.1以下 (0.1以下)	約5.2×10 ⁻¹ (約6.9×10 ⁻¹)																																																																								
②放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約2.7×10 ¹ (約3.1×10 ¹)	約1.3×10 ¹ (約1.5×10 ¹)	約4.1×10 ¹ (約4.6×10 ¹)																																																																								
③外気から取り込まれた放射性物質による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)																																																																								
(内訳) 内部被ばく	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)																																																																								
外部被ばく	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)	0.1以下 (0.1以下)																																																																								
④地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)内での被ばく	約1.2×10 ¹ (約1.4×10 ¹)	約3.1×10 ⁰ (約3.7×10 ⁰)	約1.5×10 ¹ (約1.7×10 ¹)																																																																								
合計(①+②+③+④)	約4.0×10 ¹ (約4.5×10 ¹)	約1.6×10 ¹ (約1.9×10 ¹)	約56 (約64)																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由																																																																																																																												
291	61-10-1.2	61-10-1-12	<p>表 1-4 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性に係る被ばく評価の主要条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="3">評価条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">放出量評価</td> <td>発災プラント</td> <td colspan="2">6号及び7号炉</td> </tr> <tr> <td>ソースターム</td> <td colspan="2">福島第一原子力発電所事故と同等</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">大気拡散条件</td> <td>放出継続時間</td> <td colspan="2">10時間</td> </tr> <tr> <td>放出源高さ</td> <td colspan="2">地上放出</td> </tr> <tr> <td>気象データ</td> <td colspan="2">1985.10~1986.9の1年間の気象データ</td> </tr> <tr> <td>着目方位</td> <td colspan="2">6号炉:4方位(NNW,N,NNE,NE) 7号炉:2方位(N,NNE)</td> </tr> <tr> <td>建屋巻き込み</td> <td colspan="2">巻き込みを考慮</td> </tr> <tr> <td>累積出現頻度</td> <td colspan="2">小さい方から97%</td> </tr> <tr> <td>重ね合わせ</td> <td colspan="2">号炉ごとに評価し被ばく線量を足し合わせる</td> </tr> <tr> <td>事故発生からの経過時間</td> <td>0~24時間後</td> <td>24~34時間後</td> <td>34~168時間後</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">防護措置</td> <td>可搬型陽圧化空調機による陽圧化</td> <td>加圧</td> <td>-</td> <td>加圧</td> </tr> <tr> <td>陽圧化装置による陽圧化</td> <td>-</td> <td>加圧</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>マスクの着用</td> <td colspan="3">考慮しない</td> </tr> <tr> <td>ヨウ素剤の服用</td> <td colspan="3">考慮しない</td> </tr> <tr> <td>要員の交替</td> <td colspan="3">考慮しない</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td>合計線量(7日間)</td> <td colspan="2">約58mSv(約66mSv)^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 括弧内: 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p>	項目	評価条件			放出量評価	発災プラント	6号及び7号炉		ソースターム	福島第一原子力発電所事故と同等		大気拡散条件	放出継続時間	10時間		放出源高さ	地上放出		気象データ	1985.10~1986.9の1年間の気象データ		着目方位	6号炉:4方位(NNW,N,NNE,NE) 7号炉:2方位(N,NNE)		建屋巻き込み	巻き込みを考慮		累積出現頻度	小さい方から97%		重ね合わせ	号炉ごとに評価し被ばく線量を足し合わせる		事故発生からの経過時間	0~24時間後	24~34時間後	34~168時間後	防護措置	可搬型陽圧化空調機による陽圧化	加圧	-	加圧	陽圧化装置による陽圧化	-	加圧	-	マスクの着用	考慮しない			ヨウ素剤の服用	考慮しない			要員の交替	考慮しない			結果	合計線量(7日間)	約58mSv(約66mSv) ^{※1}		<p>表 1-4 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性に係る被ばく評価の主要条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="3">評価条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">放出量評価</td> <td>発災プラント</td> <td colspan="2">6号及び7号炉</td> </tr> <tr> <td>ソースターム</td> <td colspan="2">福島第一原子力発電所事故と同等</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">大気拡散条件</td> <td>放出継続時間</td> <td colspan="2">10時間</td> </tr> <tr> <td>放出源高さ</td> <td colspan="2">地上放出</td> </tr> <tr> <td>気象データ</td> <td colspan="2">1985.10~1986.9の1年間の気象データ</td> </tr> <tr> <td>着目方位</td> <td colspan="2">6号炉:4方位(NNW,N,NNE,NE) 7号炉:2方位(N,NNE)</td> </tr> <tr> <td>建屋巻き込み</td> <td colspan="2">巻き込みを考慮</td> </tr> <tr> <td>累積出現頻度</td> <td colspan="2">小さい方から97%</td> </tr> <tr> <td>重ね合わせ</td> <td colspan="2">号炉ごとに評価し被ばく量を足し合わせる</td> </tr> <tr> <td>時間[h]</td> <td>0~24</td> <td>24~34</td> <td>34~168</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">防護措置</td> <td>可搬型陽圧化空調機による陽圧化</td> <td>加圧</td> <td>-</td> <td>加圧</td> </tr> <tr> <td>陽圧化装置による陽圧化</td> <td>-</td> <td>加圧</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>マスクの着用</td> <td colspan="3">考慮しない</td> </tr> <tr> <td>安定ヨウ素剤の服用</td> <td colspan="3">考慮しない</td> </tr> <tr> <td>要員の交替</td> <td colspan="3">考慮しない</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td>合計線量(7日間)</td> <td colspan="2">約56mSv(約64mSv)^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 括弧内: 遮蔽モデル上のコンクリート厚を施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく量</p>	項目	評価条件			放出量評価	発災プラント	6号及び7号炉		ソースターム	福島第一原子力発電所事故と同等		大気拡散条件	放出継続時間	10時間		放出源高さ	地上放出		気象データ	1985.10~1986.9の1年間の気象データ		着目方位	6号炉:4方位(NNW,N,NNE,NE) 7号炉:2方位(N,NNE)		建屋巻き込み	巻き込みを考慮		累積出現頻度	小さい方から97%		重ね合わせ	号炉ごとに評価し被ばく量を足し合わせる		時間[h]	0~24	24~34	34~168	防護措置	可搬型陽圧化空調機による陽圧化	加圧	-	加圧	陽圧化装置による陽圧化	-	加圧	-	マスクの着用	考慮しない			安定ヨウ素剤の服用	考慮しない			要員の交替	考慮しない			結果	合計線量(7日間)	約56mSv(約64mSv) ^{※1}		<p>⑤</p> <p>③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価, コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)</p>
項目	評価条件																																																																																																																																
放出量評価	発災プラント	6号及び7号炉																																																																																																																															
	ソースターム	福島第一原子力発電所事故と同等																																																																																																																															
大気拡散条件	放出継続時間	10時間																																																																																																																															
	放出源高さ	地上放出																																																																																																																															
	気象データ	1985.10~1986.9の1年間の気象データ																																																																																																																															
	着目方位	6号炉:4方位(NNW,N,NNE,NE) 7号炉:2方位(N,NNE)																																																																																																																															
	建屋巻き込み	巻き込みを考慮																																																																																																																															
	累積出現頻度	小さい方から97%																																																																																																																															
	重ね合わせ	号炉ごとに評価し被ばく線量を足し合わせる																																																																																																																															
	事故発生からの経過時間	0~24時間後	24~34時間後	34~168時間後																																																																																																																													
防護措置	可搬型陽圧化空調機による陽圧化	加圧	-	加圧																																																																																																																													
	陽圧化装置による陽圧化	-	加圧	-																																																																																																																													
	マスクの着用	考慮しない																																																																																																																															
	ヨウ素剤の服用	考慮しない																																																																																																																															
	要員の交替	考慮しない																																																																																																																															
	結果	合計線量(7日間)	約58mSv(約66mSv) ^{※1}																																																																																																																														
項目	評価条件																																																																																																																																
放出量評価	発災プラント	6号及び7号炉																																																																																																																															
	ソースターム	福島第一原子力発電所事故と同等																																																																																																																															
大気拡散条件	放出継続時間	10時間																																																																																																																															
	放出源高さ	地上放出																																																																																																																															
	気象データ	1985.10~1986.9の1年間の気象データ																																																																																																																															
	着目方位	6号炉:4方位(NNW,N,NNE,NE) 7号炉:2方位(N,NNE)																																																																																																																															
	建屋巻き込み	巻き込みを考慮																																																																																																																															
	累積出現頻度	小さい方から97%																																																																																																																															
	重ね合わせ	号炉ごとに評価し被ばく量を足し合わせる																																																																																																																															
	時間[h]	0~24	24~34	34~168																																																																																																																													
防護措置	可搬型陽圧化空調機による陽圧化	加圧	-	加圧																																																																																																																													
	陽圧化装置による陽圧化	-	加圧	-																																																																																																																													
	マスクの着用	考慮しない																																																																																																																															
	安定ヨウ素剤の服用	考慮しない																																																																																																																															
	要員の交替	考慮しない																																																																																																																															
	結果	合計線量(7日間)	約56mSv(約64mSv) ^{※1}																																																																																																																														

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																						
292	添付資料1	61-10-1-21	<p>表添1-1-6 直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の評価に用いる原子核種毎の積算線源強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">エネルギー(MeV)</th> <th rowspan="2">積算線源強度 (photons) (単一号炉当たり) (168時間後時点)</th> </tr> <tr> <th>下限</th> <th>上限 (代表エネルギー)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>—</td><td>1.00×10⁻²</td><td>約5.0×10²²</td></tr> <tr><td>1.00×10⁻²</td><td>2.00×10⁻²</td><td>約5.0×10²²</td></tr> <tr><td>2.00×10⁻²</td><td>3.00×10⁻²</td><td>約1.7×10²³</td></tr> <tr><td>3.00×10⁻²</td><td>4.50×10⁻²</td><td>約4.0×10²³</td></tr> <tr><td>4.50×10⁻²</td><td>6.00×10⁻²</td><td>約1.6×10²⁴</td></tr> <tr><td>6.00×10⁻²</td><td>7.00×10⁻²</td><td>約1.1×10²⁴</td></tr> <tr><td>7.00×10⁻²</td><td>7.50×10⁻²</td><td>約5.8×10²³</td></tr> <tr><td>7.50×10⁻²</td><td>1.00×10⁻¹</td><td>約2.9×10²³</td></tr> <tr><td>1.00×10⁻¹</td><td>1.50×10⁻¹</td><td>約2.9×10²³</td></tr> <tr><td>1.50×10⁻¹</td><td>2.00×10⁻¹</td><td>約8.4×10²³</td></tr> <tr><td>2.00×10⁻¹</td><td>3.00×10⁻¹</td><td>約1.7×10²⁴</td></tr> <tr><td>3.00×10⁻¹</td><td>4.00×10⁻¹</td><td>約1.9×10²⁴</td></tr> <tr><td>4.00×10⁻¹</td><td>4.50×10⁻¹</td><td>約9.6×10²³</td></tr> <tr><td>4.50×10⁻¹</td><td>5.10×10⁻¹</td><td>約1.5×10²⁴</td></tr> <tr><td>5.10×10⁻¹</td><td>5.12×10⁻¹</td><td>約5.2×10²³</td></tr> <tr><td>5.12×10⁻¹</td><td>6.00×10⁻¹</td><td>約2.3×10²⁴</td></tr> <tr><td>6.00×10⁻¹</td><td>7.00×10⁻¹</td><td>約2.6×10²⁴</td></tr> <tr><td>7.00×10⁻¹</td><td>8.00×10⁻¹</td><td>約1.1×10²⁵</td></tr> <tr><td>8.00×10⁻¹</td><td>1.00×10⁰</td><td>約2.2×10²⁵</td></tr> <tr><td>1.00×10⁰</td><td>1.33×10⁰</td><td>約7.5×10²⁴</td></tr> <tr><td>1.33×10⁰</td><td>1.34×10⁰</td><td>約2.3×10²⁵</td></tr> <tr><td>1.34×10⁰</td><td>1.50×10⁰</td><td>約3.6×10²⁵</td></tr> <tr><td>1.50×10⁰</td><td>1.66×10⁰</td><td>約6.8×10²⁴</td></tr> <tr><td>1.66×10⁰</td><td>2.00×10⁰</td><td>約1.4×10²⁵</td></tr> <tr><td>2.00×10⁰</td><td>2.50×10⁰</td><td>約1.3×10²⁵</td></tr> <tr><td>2.50×10⁰</td><td>3.00×10⁰</td><td>約7.9×10²⁴</td></tr> <tr><td>3.00×10⁰</td><td>3.50×10⁰</td><td>約1.3×10²⁵</td></tr> <tr><td>3.50×10⁰</td><td>4.00×10⁰</td><td>約1.3×10²⁵</td></tr> <tr><td>4.00×10⁰</td><td>4.50×10⁰</td><td>約8.9×10²⁴</td></tr> <tr><td>4.50×10⁰</td><td>5.00×10⁰</td><td>約8.9×10²⁴</td></tr> <tr><td>5.00×10⁰</td><td>5.50×10⁰</td><td>約8.9×10²⁴</td></tr> <tr><td>5.50×10⁰</td><td>6.00×10⁰</td><td>約8.9×10²⁴</td></tr> <tr><td>6.00×10⁰</td><td>6.50×10⁰</td><td>約1.0×10²⁵</td></tr> <tr><td>6.50×10⁰</td><td>7.00×10⁰</td><td>約1.0×10²⁵</td></tr> <tr><td>7.00×10⁰</td><td>7.50×10⁰</td><td>約1.0×10²⁵</td></tr> <tr><td>7.50×10⁰</td><td>8.00×10⁰</td><td>約1.0×10²⁵</td></tr> <tr><td>8.00×10⁰</td><td>1.00×10¹</td><td>約3.1×10²⁵</td></tr> <tr><td>1.00×10¹</td><td>1.20×10¹</td><td>約1.6×10²⁶</td></tr> <tr><td>1.20×10¹</td><td>1.40×10¹</td><td>約0.0×10²⁶</td></tr> <tr><td>1.40×10¹</td><td>2.00×10¹</td><td>約0.0×10²⁶</td></tr> <tr><td>2.00×10¹</td><td>3.00×10¹</td><td>約0.0×10²⁶</td></tr> <tr><td>3.00×10¹</td><td>5.00×10¹</td><td>約0.0×10²⁶</td></tr> </tbody> </table>	エネルギー(MeV)		積算線源強度 (photons) (単一号炉当たり) (168時間後時点)	下限	上限 (代表エネルギー)	—	1.00×10 ⁻²	約5.0×10 ²²	1.00×10 ⁻²	2.00×10 ⁻²	約5.0×10 ²²	2.00×10 ⁻²	3.00×10 ⁻²	約1.7×10 ²³	3.00×10 ⁻²	4.50×10 ⁻²	約4.0×10 ²³	4.50×10 ⁻²	6.00×10 ⁻²	約1.6×10 ²⁴	6.00×10 ⁻²	7.00×10 ⁻²	約1.1×10 ²⁴	7.00×10 ⁻²	7.50×10 ⁻²	約5.8×10 ²³	7.50×10 ⁻²	1.00×10 ⁻¹	約2.9×10 ²³	1.00×10 ⁻¹	1.50×10 ⁻¹	約2.9×10 ²³	1.50×10 ⁻¹	2.00×10 ⁻¹	約8.4×10 ²³	2.00×10 ⁻¹	3.00×10 ⁻¹	約1.7×10 ²⁴	3.00×10 ⁻¹	4.00×10 ⁻¹	約1.9×10 ²⁴	4.00×10 ⁻¹	4.50×10 ⁻¹	約9.6×10 ²³	4.50×10 ⁻¹	5.10×10 ⁻¹	約1.5×10 ²⁴	5.10×10 ⁻¹	5.12×10 ⁻¹	約5.2×10 ²³	5.12×10 ⁻¹	6.00×10 ⁻¹	約2.3×10 ²⁴	6.00×10 ⁻¹	7.00×10 ⁻¹	約2.6×10 ²⁴	7.00×10 ⁻¹	8.00×10 ⁻¹	約1.1×10 ²⁵	8.00×10 ⁻¹	1.00×10 ⁰	約2.2×10 ²⁵	1.00×10 ⁰	1.33×10 ⁰	約7.5×10 ²⁴	1.33×10 ⁰	1.34×10 ⁰	約2.3×10 ²⁵	1.34×10 ⁰	1.50×10 ⁰	約3.6×10 ²⁵	1.50×10 ⁰	1.66×10 ⁰	約6.8×10 ²⁴	1.66×10 ⁰	2.00×10 ⁰	約1.4×10 ²⁵	2.00×10 ⁰	2.50×10 ⁰	約1.3×10 ²⁵	2.50×10 ⁰	3.00×10 ⁰	約7.9×10 ²⁴	3.00×10 ⁰	3.50×10 ⁰	約1.3×10 ²⁵	3.50×10 ⁰	4.00×10 ⁰	約1.3×10 ²⁵	4.00×10 ⁰	4.50×10 ⁰	約8.9×10 ²⁴	4.50×10 ⁰	5.00×10 ⁰	約8.9×10 ²⁴	5.00×10 ⁰	5.50×10 ⁰	約8.9×10 ²⁴	5.50×10 ⁰	6.00×10 ⁰	約8.9×10 ²⁴	6.00×10 ⁰	6.50×10 ⁰	約1.0×10 ²⁵	6.50×10 ⁰	7.00×10 ⁰	約1.0×10 ²⁵	7.00×10 ⁰	7.50×10 ⁰	約1.0×10 ²⁵	7.50×10 ⁰	8.00×10 ⁰	約1.0×10 ²⁵	8.00×10 ⁰	1.00×10 ¹	約3.1×10 ²⁵	1.00×10 ¹	1.20×10 ¹	約1.6×10 ²⁶	1.20×10 ¹	1.40×10 ¹	約0.0×10 ²⁶	1.40×10 ¹	2.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁶	2.00×10 ¹	3.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁶	3.00×10 ¹	5.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁶	<p>表添1-1-6 直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の評価に用いる原子核種毎の積算線源強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">エネルギー(MeV)</th> <th rowspan="2">積算線源強度 (photons) (単一号炉当たり) (168時間後時点)</th> </tr> <tr> <th>下限</th> <th>上限 (代表エネルギー)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>—</td><td>1.00×10⁻²</td><td>約2.4×10²²</td></tr> <tr><td>1.00×10⁻²</td><td>2.00×10⁻²</td><td>約2.4×10²²</td></tr> <tr><td>2.00×10⁻²</td><td>3.00×10⁻²</td><td>約1.1×10²³</td></tr> <tr><td>3.00×10⁻²</td><td>4.50×10⁻²</td><td>約5.7×10²²</td></tr> <tr><td>4.50×10⁻²</td><td>6.00×10⁻²</td><td>約1.1×10²³</td></tr> <tr><td>6.00×10⁻²</td><td>7.00×10⁻²</td><td>約7.4×10²²</td></tr> <tr><td>7.00×10⁻²</td><td>7.50×10⁻²</td><td>約6.6×10²²</td></tr> <tr><td>7.50×10⁻²</td><td>1.00×10⁻¹</td><td>約3.3×10²²</td></tr> <tr><td>1.00×10⁻¹</td><td>1.50×10⁻¹</td><td>約1.9×10²²</td></tr> <tr><td>1.50×10⁻¹</td><td>2.00×10⁻¹</td><td>約4.9×10²²</td></tr> <tr><td>2.00×10⁻¹</td><td>3.00×10⁻¹</td><td>約9.8×10²²</td></tr> <tr><td>3.00×10⁻¹</td><td>4.00×10⁻¹</td><td>約1.5×10²³</td></tr> <tr><td>4.00×10⁻¹</td><td>4.50×10⁻¹</td><td>約7.4×10²²</td></tr> <tr><td>4.50×10⁻¹</td><td>5.10×10⁻¹</td><td>約1.0×10²³</td></tr> <tr><td>5.10×10⁻¹</td><td>5.12×10⁻¹</td><td>約3.4×10²²</td></tr> <tr><td>5.12×10⁻¹</td><td>6.00×10⁻¹</td><td>約1.5×10²³</td></tr> <tr><td>6.00×10⁻¹</td><td>7.00×10⁻¹</td><td>約1.7×10²³</td></tr> <tr><td>7.00×10⁻¹</td><td>8.00×10⁻¹</td><td>約7.4×10²²</td></tr> <tr><td>8.00×10⁻¹</td><td>1.00×10⁰</td><td>約1.5×10²³</td></tr> <tr><td>1.00×10⁰</td><td>1.33×10⁰</td><td>約3.3×10²²</td></tr> <tr><td>1.33×10⁰</td><td>1.34×10⁰</td><td>約9.9×10²²</td></tr> <tr><td>1.34×10⁰</td><td>1.50×10⁰</td><td>約1.6×10²³</td></tr> <tr><td>1.50×10⁰</td><td>1.66×10⁰</td><td>約1.6×10²³</td></tr> <tr><td>1.66×10⁰</td><td>2.00×10⁰</td><td>約3.5×10²³</td></tr> <tr><td>2.00×10⁰</td><td>2.50×10⁰</td><td>約2.4×10²³</td></tr> <tr><td>2.50×10⁰</td><td>3.00×10⁰</td><td>約1.2×10²³</td></tr> <tr><td>3.00×10⁰</td><td>3.50×10⁰</td><td>約2.7×10²²</td></tr> <tr><td>3.50×10⁰</td><td>4.00×10⁰</td><td>約2.7×10²²</td></tr> <tr><td>4.00×10⁰</td><td>4.50×10⁰</td><td>約5.5×10²¹</td></tr> <tr><td>4.50×10⁰</td><td>5.00×10⁰</td><td>約5.5×10²¹</td></tr> <tr><td>5.00×10⁰</td><td>5.50×10⁰</td><td>約5.5×10²¹</td></tr> <tr><td>5.50×10⁰</td><td>6.00×10⁰</td><td>約5.5×10²¹</td></tr> <tr><td>6.00×10⁰</td><td>6.50×10⁰</td><td>約6.3×10²⁰</td></tr> <tr><td>6.50×10⁰</td><td>7.00×10⁰</td><td>約6.3×10²⁰</td></tr> <tr><td>7.00×10⁰</td><td>7.50×10⁰</td><td>約6.3×10²⁰</td></tr> <tr><td>7.50×10⁰</td><td>8.00×10⁰</td><td>約6.3×10²⁰</td></tr> <tr><td>8.00×10⁰</td><td>1.00×10¹</td><td>約1.9×10²⁰</td></tr> <tr><td>1.00×10¹</td><td>1.20×10¹</td><td>約9.7×10¹⁹</td></tr> <tr><td>1.20×10¹</td><td>1.40×10¹</td><td>約0.0×10²⁰</td></tr> <tr><td>1.40×10¹</td><td>2.00×10¹</td><td>約0.0×10²⁰</td></tr> <tr><td>2.00×10¹</td><td>3.00×10¹</td><td>約0.0×10²⁰</td></tr> <tr><td>3.00×10¹</td><td>5.00×10¹</td><td>約0.0×10²⁰</td></tr> </tbody> </table>	エネルギー(MeV)		積算線源強度 (photons) (単一号炉当たり) (168時間後時点)	下限	上限 (代表エネルギー)	—	1.00×10 ⁻²	約2.4×10 ²²	1.00×10 ⁻²	2.00×10 ⁻²	約2.4×10 ²²	2.00×10 ⁻²	3.00×10 ⁻²	約1.1×10 ²³	3.00×10 ⁻²	4.50×10 ⁻²	約5.7×10 ²²	4.50×10 ⁻²	6.00×10 ⁻²	約1.1×10 ²³	6.00×10 ⁻²	7.00×10 ⁻²	約7.4×10 ²²	7.00×10 ⁻²	7.50×10 ⁻²	約6.6×10 ²²	7.50×10 ⁻²	1.00×10 ⁻¹	約3.3×10 ²²	1.00×10 ⁻¹	1.50×10 ⁻¹	約1.9×10 ²²	1.50×10 ⁻¹	2.00×10 ⁻¹	約4.9×10 ²²	2.00×10 ⁻¹	3.00×10 ⁻¹	約9.8×10 ²²	3.00×10 ⁻¹	4.00×10 ⁻¹	約1.5×10 ²³	4.00×10 ⁻¹	4.50×10 ⁻¹	約7.4×10 ²²	4.50×10 ⁻¹	5.10×10 ⁻¹	約1.0×10 ²³	5.10×10 ⁻¹	5.12×10 ⁻¹	約3.4×10 ²²	5.12×10 ⁻¹	6.00×10 ⁻¹	約1.5×10 ²³	6.00×10 ⁻¹	7.00×10 ⁻¹	約1.7×10 ²³	7.00×10 ⁻¹	8.00×10 ⁻¹	約7.4×10 ²²	8.00×10 ⁻¹	1.00×10 ⁰	約1.5×10 ²³	1.00×10 ⁰	1.33×10 ⁰	約3.3×10 ²²	1.33×10 ⁰	1.34×10 ⁰	約9.9×10 ²²	1.34×10 ⁰	1.50×10 ⁰	約1.6×10 ²³	1.50×10 ⁰	1.66×10 ⁰	約1.6×10 ²³	1.66×10 ⁰	2.00×10 ⁰	約3.5×10 ²³	2.00×10 ⁰	2.50×10 ⁰	約2.4×10 ²³	2.50×10 ⁰	3.00×10 ⁰	約1.2×10 ²³	3.00×10 ⁰	3.50×10 ⁰	約2.7×10 ²²	3.50×10 ⁰	4.00×10 ⁰	約2.7×10 ²²	4.00×10 ⁰	4.50×10 ⁰	約5.5×10 ²¹	4.50×10 ⁰	5.00×10 ⁰	約5.5×10 ²¹	5.00×10 ⁰	5.50×10 ⁰	約5.5×10 ²¹	5.50×10 ⁰	6.00×10 ⁰	約5.5×10 ²¹	6.00×10 ⁰	6.50×10 ⁰	約6.3×10 ²⁰	6.50×10 ⁰	7.00×10 ⁰	約6.3×10 ²⁰	7.00×10 ⁰	7.50×10 ⁰	約6.3×10 ²⁰	7.50×10 ⁰	8.00×10 ⁰	約6.3×10 ²⁰	8.00×10 ⁰	1.00×10 ¹	約1.9×10 ²⁰	1.00×10 ¹	1.20×10 ¹	約9.7×10 ¹⁹	1.20×10 ¹	1.40×10 ¹	約0.0×10 ²⁰	1.40×10 ¹	2.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁰	2.00×10 ¹	3.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁰	3.00×10 ¹	5.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁰	<p>③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)</p>
エネルギー(MeV)		積算線源強度 (photons) (単一号炉当たり) (168時間後時点)																																																																																																																																																																																																																																																																									
下限	上限 (代表エネルギー)																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	1.00×10 ⁻²	約5.0×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.00×10 ⁻²	2.00×10 ⁻²	約5.0×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.00×10 ⁻²	3.00×10 ⁻²	約1.7×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.00×10 ⁻²	4.50×10 ⁻²	約4.0×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.50×10 ⁻²	6.00×10 ⁻²	約1.6×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
6.00×10 ⁻²	7.00×10 ⁻²	約1.1×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.00×10 ⁻²	7.50×10 ⁻²	約5.8×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.50×10 ⁻²	1.00×10 ⁻¹	約2.9×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.00×10 ⁻¹	1.50×10 ⁻¹	約2.9×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.50×10 ⁻¹	2.00×10 ⁻¹	約8.4×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.00×10 ⁻¹	3.00×10 ⁻¹	約1.7×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.00×10 ⁻¹	4.00×10 ⁻¹	約1.9×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.00×10 ⁻¹	4.50×10 ⁻¹	約9.6×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.50×10 ⁻¹	5.10×10 ⁻¹	約1.5×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
5.10×10 ⁻¹	5.12×10 ⁻¹	約5.2×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
5.12×10 ⁻¹	6.00×10 ⁻¹	約2.3×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
6.00×10 ⁻¹	7.00×10 ⁻¹	約2.6×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.00×10 ⁻¹	8.00×10 ⁻¹	約1.1×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
8.00×10 ⁻¹	1.00×10 ⁰	約2.2×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.00×10 ⁰	1.33×10 ⁰	約7.5×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.33×10 ⁰	1.34×10 ⁰	約2.3×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.34×10 ⁰	1.50×10 ⁰	約3.6×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.50×10 ⁰	1.66×10 ⁰	約6.8×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.66×10 ⁰	2.00×10 ⁰	約1.4×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.00×10 ⁰	2.50×10 ⁰	約1.3×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.50×10 ⁰	3.00×10 ⁰	約7.9×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.00×10 ⁰	3.50×10 ⁰	約1.3×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.50×10 ⁰	4.00×10 ⁰	約1.3×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.00×10 ⁰	4.50×10 ⁰	約8.9×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.50×10 ⁰	5.00×10 ⁰	約8.9×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
5.00×10 ⁰	5.50×10 ⁰	約8.9×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
5.50×10 ⁰	6.00×10 ⁰	約8.9×10 ²⁴																																																																																																																																																																																																																																																																									
6.00×10 ⁰	6.50×10 ⁰	約1.0×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
6.50×10 ⁰	7.00×10 ⁰	約1.0×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.00×10 ⁰	7.50×10 ⁰	約1.0×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.50×10 ⁰	8.00×10 ⁰	約1.0×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
8.00×10 ⁰	1.00×10 ¹	約3.1×10 ²⁵																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.00×10 ¹	1.20×10 ¹	約1.6×10 ²⁶																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.20×10 ¹	1.40×10 ¹	約0.0×10 ²⁶																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.40×10 ¹	2.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁶																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.00×10 ¹	3.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁶																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.00×10 ¹	5.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁶																																																																																																																																																																																																																																																																									
エネルギー(MeV)		積算線源強度 (photons) (単一号炉当たり) (168時間後時点)																																																																																																																																																																																																																																																																									
下限	上限 (代表エネルギー)																																																																																																																																																																																																																																																																										
—	1.00×10 ⁻²	約2.4×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.00×10 ⁻²	2.00×10 ⁻²	約2.4×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.00×10 ⁻²	3.00×10 ⁻²	約1.1×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.00×10 ⁻²	4.50×10 ⁻²	約5.7×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.50×10 ⁻²	6.00×10 ⁻²	約1.1×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
6.00×10 ⁻²	7.00×10 ⁻²	約7.4×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.00×10 ⁻²	7.50×10 ⁻²	約6.6×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.50×10 ⁻²	1.00×10 ⁻¹	約3.3×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.00×10 ⁻¹	1.50×10 ⁻¹	約1.9×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.50×10 ⁻¹	2.00×10 ⁻¹	約4.9×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.00×10 ⁻¹	3.00×10 ⁻¹	約9.8×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.00×10 ⁻¹	4.00×10 ⁻¹	約1.5×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.00×10 ⁻¹	4.50×10 ⁻¹	約7.4×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.50×10 ⁻¹	5.10×10 ⁻¹	約1.0×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
5.10×10 ⁻¹	5.12×10 ⁻¹	約3.4×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
5.12×10 ⁻¹	6.00×10 ⁻¹	約1.5×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
6.00×10 ⁻¹	7.00×10 ⁻¹	約1.7×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.00×10 ⁻¹	8.00×10 ⁻¹	約7.4×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
8.00×10 ⁻¹	1.00×10 ⁰	約1.5×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.00×10 ⁰	1.33×10 ⁰	約3.3×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.33×10 ⁰	1.34×10 ⁰	約9.9×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.34×10 ⁰	1.50×10 ⁰	約1.6×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.50×10 ⁰	1.66×10 ⁰	約1.6×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.66×10 ⁰	2.00×10 ⁰	約3.5×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.00×10 ⁰	2.50×10 ⁰	約2.4×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.50×10 ⁰	3.00×10 ⁰	約1.2×10 ²³																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.00×10 ⁰	3.50×10 ⁰	約2.7×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.50×10 ⁰	4.00×10 ⁰	約2.7×10 ²²																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.00×10 ⁰	4.50×10 ⁰	約5.5×10 ²¹																																																																																																																																																																																																																																																																									
4.50×10 ⁰	5.00×10 ⁰	約5.5×10 ²¹																																																																																																																																																																																																																																																																									
5.00×10 ⁰	5.50×10 ⁰	約5.5×10 ²¹																																																																																																																																																																																																																																																																									
5.50×10 ⁰	6.00×10 ⁰	約5.5×10 ²¹																																																																																																																																																																																																																																																																									
6.00×10 ⁰	6.50×10 ⁰	約6.3×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
6.50×10 ⁰	7.00×10 ⁰	約6.3×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.00×10 ⁰	7.50×10 ⁰	約6.3×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
7.50×10 ⁰	8.00×10 ⁰	約6.3×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
8.00×10 ⁰	1.00×10 ¹	約1.9×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.00×10 ¹	1.20×10 ¹	約9.7×10 ¹⁹																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.20×10 ¹	1.40×10 ¹	約0.0×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
1.40×10 ¹	2.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
2.00×10 ¹	3.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
3.00×10 ¹	5.00×10 ¹	約0.0×10 ²⁰																																																																																																																																																																																																																																																																									
293	添付資料1	61-10-1-22	図添1-1-1 直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の評価モデル(1/2)	図添1-1-1 直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の評価モデル(1/2)	⑤(図中の数値の誤記の修正)																																																																																																																																																																																																																																																																						
294	添付資料1	61-10-1-23	図添1-1-1 直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の評価モデル(2/2)	図添1-1-1 直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の評価モデル(2/2)	⑤(図中の数値の誤記の修正)																																																																																																																																																																																																																																																																						

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由																																
295	添付資料1	61-10-1-26	<p>表活 1-1-8 線量換算係数及び地表面への沈着速度の条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価条件</th> <th>選定理由</th> <th>審査ガイドでの記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線量換算係数</td> <td>成人実効線量換算係数使用 (主な核種を以下に示す) I-131: 2.0×10^{-8} Sv/Bq I-132: 3.1×10^{-8} Sv/Bq I-133: 4.0×10^{-8} Sv/Bq I-134: 1.5×10^{-8} Sv/Bq I-135: 9.2×10^{-8} Sv/Bq Cs-134: 2.0×10^{-8} Sv/Bq Cs-136: 2.8×10^{-8} Sv/Bq Cs-137: 3.9×10^{-8} Sv/Bq 上記以外の核種は ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく</td> <td>ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>呼吸率</td> <td>1.2m³/h</td> <td>ICRP Publication71に基づく成人活動時の呼吸率を設定</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>地表面への沈着速度</td> <td>エアロゾル粒子: 1.2cm/s 無機よう素: 1.2cm/s 有機よう素: 沈着なし^{※1} 希ガス: 沈着なし ※1 有機よう素はエアロゾル粒子や無機よう素に比べ大気中への放出割合及び地表面への沈着速度が小さいことから、地表面への沈着分からの影響は無視できるものと考え、評価対象外とした。</td> <td>線量目標値評価指針(降水時における沈着率は乾燥時の2~3倍大きい)を参考に、湿性沈着を考慮して乾性沈着速度(0.3cm/s)の4倍を設定。乾性沈着速度はNUREG/CR-4551 Vol.2^{※1}より設定。(添付資料4及び添付資料5を参照)</td> <td>4.2.(2)d.放射性物質の地表面への沈着評価では、地表面への乾性沈着及び降雨による湿性沈着を考慮して地表面沈着濃度を計算する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 NUREG/CR-4551 Vol.2 "Evaluation of Severe Accident Risks: Quantification of Major Input Parameters"</p>	項目	評価条件	選定理由	審査ガイドでの記載	線量換算係数	成人実効線量換算係数使用 (主な核種を以下に示す) I-131: 2.0×10^{-8} Sv/Bq I-132: 3.1×10^{-8} Sv/Bq I-133: 4.0×10^{-8} Sv/Bq I-134: 1.5×10^{-8} Sv/Bq I-135: 9.2×10^{-8} Sv/Bq Cs-134: 2.0×10^{-8} Sv/Bq Cs-136: 2.8×10^{-8} Sv/Bq Cs-137: 3.9×10^{-8} Sv/Bq 上記以外の核種は ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく	ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく	—	呼吸率	1.2m ³ /h	ICRP Publication71に基づく成人活動時の呼吸率を設定	—	地表面への沈着速度	エアロゾル粒子: 1.2cm/s 無機よう素: 1.2cm/s 有機よう素: 沈着なし ^{※1} 希ガス: 沈着なし ※1 有機よう素はエアロゾル粒子や無機よう素に比べ大気中への放出割合及び地表面への沈着速度が小さいことから、地表面への沈着分からの影響は無視できるものと考え、評価対象外とした。	線量目標値評価指針(降水時における沈着率は乾燥時の2~3倍大きい)を参考に、湿性沈着を考慮して乾性沈着速度(0.3cm/s)の4倍を設定。乾性沈着速度はNUREG/CR-4551 Vol.2 ^{※1} より設定。(添付資料4及び添付資料5を参照)	4.2.(2)d.放射性物質の地表面への沈着評価では、地表面への乾性沈着及び降雨による湿性沈着を考慮して地表面沈着濃度を計算する。	<p>表活 1-1-8 線量換算係数及び地表面への沈着速度の条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価条件</th> <th>選定理由</th> <th>審査ガイドでの記載</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>線量換算係数</td> <td>成人実効線量換算係数使用 (主な核種を以下に示す) I-131: 2.0×10^{-8} Sv/Bq I-132: 3.1×10^{-8} Sv/Bq I-133: 4.0×10^{-8} Sv/Bq I-134: 1.5×10^{-8} Sv/Bq I-135: 9.2×10^{-8} Sv/Bq Cs-134: 2.0×10^{-8} Sv/Bq Cs-136: 2.8×10^{-8} Sv/Bq Cs-137: 3.9×10^{-8} Sv/Bq 上記以外の核種は ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく</td> <td>ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>呼吸率</td> <td>1.2m³/h</td> <td>ICRP Publication71に基づく成人活動時の呼吸率を設定</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>地表面への沈着速度</td> <td>エアロゾル: 1.2cm/s 無機よう素: 1.2cm/s 有機よう素: 沈着なし 希ガス: 沈着なし</td> <td>線量目標値評価指針(降水時における沈着率は乾燥時の2~3倍大きい)を参考に、湿性沈着を考慮して乾性沈着速度(0.3cm/s)の4倍を設定。乾性沈着速度はNUREG/CR-4551 Vol.2^{※1}より設定。</td> <td>4.2.(2)d.放射性物質の地表面への沈着評価では、地表面への乾性沈着及び降雨による湿性沈着を考慮して地表面沈着濃度を計算する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 NUREG/CR-4551 Vol.2 "Evaluation of Severe Accident Risks: Quantification of Major Input Parameters"</p>	項目	評価条件	選定理由	審査ガイドでの記載	線量換算係数	成人実効線量換算係数使用 (主な核種を以下に示す) I-131: 2.0×10^{-8} Sv/Bq I-132: 3.1×10^{-8} Sv/Bq I-133: 4.0×10^{-8} Sv/Bq I-134: 1.5×10^{-8} Sv/Bq I-135: 9.2×10^{-8} Sv/Bq Cs-134: 2.0×10^{-8} Sv/Bq Cs-136: 2.8×10^{-8} Sv/Bq Cs-137: 3.9×10^{-8} Sv/Bq 上記以外の核種は ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく	ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく	—	呼吸率	1.2m ³ /h	ICRP Publication71に基づく成人活動時の呼吸率を設定	—	地表面への沈着速度	エアロゾル: 1.2cm/s 無機よう素: 1.2cm/s 有機よう素: 沈着なし 希ガス: 沈着なし	線量目標値評価指針(降水時における沈着率は乾燥時の2~3倍大きい)を参考に、湿性沈着を考慮して乾性沈着速度(0.3cm/s)の4倍を設定。乾性沈着速度はNUREG/CR-4551 Vol.2 ^{※1} より設定。	4.2.(2)d.放射性物質の地表面への沈着評価では、地表面への乾性沈着及び降雨による湿性沈着を考慮して地表面沈着濃度を計算する。	⑤
項目	評価条件	選定理由	審査ガイドでの記載																																		
線量換算係数	成人実効線量換算係数使用 (主な核種を以下に示す) I-131: 2.0×10^{-8} Sv/Bq I-132: 3.1×10^{-8} Sv/Bq I-133: 4.0×10^{-8} Sv/Bq I-134: 1.5×10^{-8} Sv/Bq I-135: 9.2×10^{-8} Sv/Bq Cs-134: 2.0×10^{-8} Sv/Bq Cs-136: 2.8×10^{-8} Sv/Bq Cs-137: 3.9×10^{-8} Sv/Bq 上記以外の核種は ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく	ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく	—																																		
呼吸率	1.2m ³ /h	ICRP Publication71に基づく成人活動時の呼吸率を設定	—																																		
地表面への沈着速度	エアロゾル粒子: 1.2cm/s 無機よう素: 1.2cm/s 有機よう素: 沈着なし ^{※1} 希ガス: 沈着なし ※1 有機よう素はエアロゾル粒子や無機よう素に比べ大気中への放出割合及び地表面への沈着速度が小さいことから、地表面への沈着分からの影響は無視できるものと考え、評価対象外とした。	線量目標値評価指針(降水時における沈着率は乾燥時の2~3倍大きい)を参考に、湿性沈着を考慮して乾性沈着速度(0.3cm/s)の4倍を設定。乾性沈着速度はNUREG/CR-4551 Vol.2 ^{※1} より設定。(添付資料4及び添付資料5を参照)	4.2.(2)d.放射性物質の地表面への沈着評価では、地表面への乾性沈着及び降雨による湿性沈着を考慮して地表面沈着濃度を計算する。																																		
項目	評価条件	選定理由	審査ガイドでの記載																																		
線量換算係数	成人実効線量換算係数使用 (主な核種を以下に示す) I-131: 2.0×10^{-8} Sv/Bq I-132: 3.1×10^{-8} Sv/Bq I-133: 4.0×10^{-8} Sv/Bq I-134: 1.5×10^{-8} Sv/Bq I-135: 9.2×10^{-8} Sv/Bq Cs-134: 2.0×10^{-8} Sv/Bq Cs-136: 2.8×10^{-8} Sv/Bq Cs-137: 3.9×10^{-8} Sv/Bq 上記以外の核種は ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく	ICRP Publication71 及び ICRP Publication72 に基づく	—																																		
呼吸率	1.2m ³ /h	ICRP Publication71に基づく成人活動時の呼吸率を設定	—																																		
地表面への沈着速度	エアロゾル: 1.2cm/s 無機よう素: 1.2cm/s 有機よう素: 沈着なし 希ガス: 沈着なし	線量目標値評価指針(降水時における沈着率は乾燥時の2~3倍大きい)を参考に、湿性沈着を考慮して乾性沈着速度(0.3cm/s)の4倍を設定。乾性沈着速度はNUREG/CR-4551 Vol.2 ^{※1} より設定。	4.2.(2)d.放射性物質の地表面への沈着評価では、地表面への乾性沈着及び降雨による湿性沈着を考慮して地表面沈着濃度を計算する。																																		
296	添付資料4	61-10-1-36	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性に係る被ばく評価において、エアロゾル粒子及び無機よう素の地表面への沈着速度として、乾性沈着速度0.3cm/s^{※1}の4倍である1.2cm/sを用いている。</p>	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性に係る被ばく評価において、地表面への沈着速度として、乾性沈着速度0.3cm/s^{※1}の4倍である1.2cm/sを用いている。</p>	⑤																																

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由
297	添付資料4	61-10-1-36	<p>(1) 乾性沈着率</p> <p>乾性沈着率は、「日本原子力学会標準 原子力発電所の確率論的安全評価に関する実施基準(レベル3PSA編):2008」(社団法人 日本原子力学会) (以下「学会標準」という。) 解説4.7を参考に評価した。「学会標準」解説4.7では、使用する相対濃度は地表面高さ付近としているが、ここでは「原子力発電所中央制御室の居住性に係る被ばく評価手法について(内規)」(原子力安全・保安院 平成21年8月12日) [【解説5.3】(1)]に従い評価した、放出点高さの相対濃度を用いた。</p>	<p>(1) 乾性沈着率</p> <p>乾性沈着率は、「日本原子力学会標準 原子力発電所の確率論的安全評価に関する実施基準(レベル3PSA編):2008」(社団法人 日本原子力学会) (以下、学会標準) 解説4.7を参考に評価した。「学会標準」解説4.7では、使用する相対濃度は地表面高さ付近としているが、ここでは「原子力発電所中央制御室の居住性に係る被ばく評価手法について(内規)」(原子力安全・保安院 平成21年8月12日) [【解説5.3】(1)]に従い、居住性に係る被ばく評価を保守的に評価するために放出点高さの相対濃度を用いた。</p>	⑤
298	添付資料4	61-10-1-37	<p>(2) 湿性沈着率</p> <p>降雨時には、評価点上空の放射性核種の地表への沈着は、降雨による影響を受ける。湿性沈着率$(\chi/Q)_w(x,y)_i$は「学会標準」解説4.11より以下のように表される。</p> $(\chi/Q)_w(x,y)_i = \Lambda_i \cdot \int_0^{\infty} \chi/Q(x,y,z)_i dz = \chi/Q(x,y,0)_i \cdot \Lambda_i \sqrt{\frac{\pi}{2}} \sum_{z_i} \exp\left[-\frac{h^2}{2z_i}\right] \cdot \text{②}$ <p> $(\chi/Q)_w(x,y)_i$: 時刻<i>i</i>での湿性沈着率[1/m²] $\chi/Q(x,y,0)_i$: 時刻<i>i</i>での地表面高さでの相対濃度[s/m³] Λ_i : 時刻<i>i</i>でのウォッシュアウト係数[1/s] (= $9.5 \times 10^{-5} \times Pr_i^{0.8}$ 学会標準より) Pr_i : 時刻<i>i</i>での降水強度[mm/h] \sum_{z_i} : 時刻<i>i</i>での建屋影響を考慮した放射性雲の鉛直方向の拡散幅[m] h : 放出高さ[m] </p> <p>乾性沈着率と湿性沈着率を合計した沈着率の累積出現頻度97%値と、乾性沈着率の累積出現頻度97%値の比は以下で定義される。</p> $= \frac{\text{乾性沈着率と湿性沈着率を合計した沈着率の累積出現頻度97\%値}}{\text{乾性沈着率の累積出現頻度97\%値}} = \frac{\left(V_d \cdot \chi/Q(x,y,z)_i + \chi/Q(x,y,0)_i \cdot \Lambda_i \sqrt{\frac{\pi}{2}} \sum_{z_i} \exp\left[-\frac{h^2}{2z_i}\right] \right)_{97\%}}{(V_d \cdot \chi/Q(x,y,z)_i)_{97\%}} \dots \text{③}$	<p>(2) 湿性沈着率</p> <p>降雨時には、評価点上空の放射性核種の地表への沈着は、降雨による影響を受ける。湿性沈着率$(\chi/Q)_w(x,y)_i$は「学会標準」解説4.11より以下のように表される。</p> $(\chi/Q)_w(x,y)_i = \Lambda_i \cdot \int_0^{\infty} \chi/Q(x,y,z)_i dz = \chi/Q(x,y,0)_i \cdot \Lambda_i \sqrt{\frac{\pi}{2}} \sum_{z_i} \exp\left[-\frac{h^2}{2z_i}\right] \cdot \dots \text{②}$ <p> $(\chi/Q)_w(x,y)_i$: 時刻<i>i</i>での湿性沈着率[1/m²] $\chi/Q(x,y,0)_i$: 時刻<i>i</i>での地表面高さでの相対濃度[s/m³] Λ_i : 時刻<i>i</i>でのウォッシュアウト係数[1/s] (= $9.5 \times 10^{-6} \times Pr_i^{0.8}$ 学会標準より) Pr_i : 時刻<i>i</i>での降水強度[mm/h] \sum_{z_i} : 時刻<i>i</i>での建屋影響を考慮した放射性雲の鉛直方向の拡散幅[m] h : 放出高さ[m] </p> <p>乾性沈着率と湿性沈着率を合計した沈着率の累積出現頻度97%値と、乾性沈着率の累積出現頻度97%値の比は以下で定義される。</p> $= \frac{\text{乾性沈着率と湿性沈着率を合計した沈着率の累積出現頻度97\%値}}{\text{乾性沈着率の累積出現頻度97\%値}} = \frac{\left(V_d \cdot \chi/Q(x,y,z)_i + \chi/Q(x,y,0)_i \cdot \Lambda_i \sqrt{\frac{\pi}{2}} \sum_{z_i} \exp\left[-\frac{h^2}{2z_i}\right] \right)_{97\%}}{(V_d \cdot \chi/Q(x,y,z)_i)_{97\%}} \dots \text{③}$	⑤(記載の適正化, 評価式及び評価パラメータの誤記の修正)

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由																																		
299	添付資料4	61-10-1-38	<p>表添1-4-1 沈着率評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価点</th> <th>放出点</th> <th>相対濃度 [s/m³]</th> <th>①乾性沈着率 [1/m²]</th> <th>②乾性沈着率 +湿性沈着率 [1/m²]</th> <th>比 (②/①)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5号炉原子炉 建屋内緊急時 対策所(対策 本部)中心</td> <td>6号炉原子炉 建屋中心</td> <td>3.6×10^{-4}</td> <td>約 1.1×10^{-6}</td> <td>約 1.2×10^{-6}</td> <td>約 1.1</td> </tr> <tr> <td>7号炉原子炉 建屋中心</td> <td>9.8×10^{-5}</td> <td>約 3.0×10^{-7}</td> <td>約 3.3×10^{-7}</td> <td>約 1.1</td> </tr> </tbody> </table>	評価点	放出点	相対濃度 [s/m ³]	①乾性沈着率 [1/m ²]	②乾性沈着率 +湿性沈着率 [1/m ²]	比 (②/①)	5号炉原子炉 建屋内緊急時 対策所(対策 本部)中心	6号炉原子炉 建屋中心	3.6×10^{-4}	約 1.1×10^{-6}	約 1.2×10^{-6}	約 1.1	7号炉原子炉 建屋中心	9.8×10^{-5}	約 3.0×10^{-7}	約 3.3×10^{-7}	約 1.1	<p>表添1-4-1 沈着率評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価点</th> <th>放出点</th> <th>相対濃度 [s/m³]</th> <th>①乾性沈着率 [1/m²]</th> <th>②乾性沈着率 +湿性沈着率 [1/m²]</th> <th>比 (②/①)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5号炉原子炉 建屋内緊急時 対策所(対策 本部)中心</td> <td>6号炉原子炉 建屋中心</td> <td>3.6×10^{-4}</td> <td>1.1×10^{-6}</td> <td>1.2×10^{-6}</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>7号炉原子炉 建屋中心</td> <td>9.8×10^{-5}</td> <td>3.0×10^{-7}</td> <td>3.3×10^{-7}</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table>	評価点	放出点	相対濃度 [s/m ³]	①乾性沈着率 [1/m ²]	②乾性沈着率 +湿性沈着率 [1/m ²]	比 (②/①)	5号炉原子炉 建屋内緊急時 対策所(対策 本部)中心	6号炉原子炉 建屋中心	3.6×10^{-4}	1.1×10^{-6}	1.2×10^{-6}	1.1	7号炉原子炉 建屋中心	9.8×10^{-5}	3.0×10^{-7}	3.3×10^{-7}	1.1	⑤
評価点	放出点	相対濃度 [s/m ³]	①乾性沈着率 [1/m ²]	②乾性沈着率 +湿性沈着率 [1/m ²]	比 (②/①)																																		
5号炉原子炉 建屋内緊急時 対策所(対策 本部)中心	6号炉原子炉 建屋中心	3.6×10^{-4}	約 1.1×10^{-6}	約 1.2×10^{-6}	約 1.1																																		
	7号炉原子炉 建屋中心	9.8×10^{-5}	約 3.0×10^{-7}	約 3.3×10^{-7}	約 1.1																																		
評価点	放出点	相対濃度 [s/m ³]	①乾性沈着率 [1/m ²]	②乾性沈着率 +湿性沈着率 [1/m ²]	比 (②/①)																																		
5号炉原子炉 建屋内緊急時 対策所(対策 本部)中心	6号炉原子炉 建屋中心	3.6×10^{-4}	1.1×10^{-6}	1.2×10^{-6}	1.1																																		
	7号炉原子炉 建屋中心	9.8×10^{-5}	3.0×10^{-7}	3.3×10^{-7}	1.1																																		
300	添付資料6	61-10-1-51	<p>表添1-6-1 直接ガンマ線による被ばくの評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価位置</th> <th rowspan="2">積算日数</th> <th colspan="3">実効線量[mSv]</th> </tr> <tr> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)</td> <td>7日</td> <td>約 1.9×10^0</td> <td>約 3.1×10^{-1}</td> <td>約 2.2×10^0</td> </tr> </tbody> </table>	評価位置	積算日数	実効線量[mSv]			6号炉	7号炉	合計	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)	7日	約 1.9×10^0	約 3.1×10^{-1}	約 2.2×10^0	<p>表添1-6-1 直接ガンマ線による被ばくの評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価位置</th> <th rowspan="2">積算日数</th> <th colspan="3">実効線量[mSv]</th> </tr> <tr> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)</td> <td>7日</td> <td>約 4.5×10^{-1}</td> <td>約 7.0×10^{-2}</td> <td>約 5.2×10^{-1}</td> </tr> </tbody> </table>	評価位置	積算日数	実効線量[mSv]			6号炉	7号炉	合計	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)	7日	約 4.5×10^{-1}	約 7.0×10^{-2}	約 5.2×10^{-1}	③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)								
評価位置	積算日数	実効線量[mSv]																																					
		6号炉	7号炉	合計																																			
5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)	7日	約 1.9×10^0	約 3.1×10^{-1}	約 2.2×10^0																																			
評価位置	積算日数	実効線量[mSv]																																					
		6号炉	7号炉	合計																																			
5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)	7日	約 4.5×10^{-1}	約 7.0×10^{-2}	約 5.2×10^{-1}																																			
301	添付資料6	61-10-1-51	<p>表添1-6-2 スカイシャインガンマ線による被ばくの評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価位置</th> <th rowspan="2">積算日数</th> <th colspan="3">実効線量[mSv]</th> </tr> <tr> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)</td> <td>7日</td> <td>約 9.2×10^{-3}</td> <td>約 3.7×10^{-3}</td> <td>約 1.3×10^{-2}</td> </tr> </tbody> </table>	評価位置	積算日数	実効線量[mSv]			6号炉	7号炉	合計	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)	7日	約 9.2×10^{-3}	約 3.7×10^{-3}	約 1.3×10^{-2}	<p>表添1-6-2 スカイシャインガンマ線による被ばくの評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価位置</th> <th rowspan="2">積算日数</th> <th colspan="3">実効線量[mSv]</th> </tr> <tr> <th>6号炉</th> <th>7号炉</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)</td> <td>7日</td> <td>約 3.0×10^{-3}</td> <td>約 1.1×10^{-3}</td> <td>約 4.1×10^{-3}</td> </tr> </tbody> </table>	評価位置	積算日数	実効線量[mSv]			6号炉	7号炉	合計	5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)	7日	約 3.0×10^{-3}	約 1.1×10^{-3}	約 4.1×10^{-3}	③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)								
評価位置	積算日数	実効線量[mSv]																																					
		6号炉	7号炉	合計																																			
5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)	7日	約 9.2×10^{-3}	約 3.7×10^{-3}	約 1.3×10^{-2}																																			
評価位置	積算日数	実効線量[mSv]																																					
		6号炉	7号炉	合計																																			
5号炉原子炉建屋内 緊急時対策所 (対策本部)	7日	約 3.0×10^{-3}	約 1.1×10^{-3}	約 4.1×10^{-3}																																			

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由
302	添付資料7	61-10-1-56	<p>(3)評価コード クラウドシャインガンマ線による被ばくは、評価コードを使用せず以下に示す式を用いて評価した。</p> $H = \sum_k \int_0^T h_k(t) dt$ $h_k(t) = K \cdot (D/Q) \cdot q_k(t) \cdot \sum_{\gamma} p_{k\gamma} \cdot B_{\gamma} \cdot \exp(-\mu_{\gamma} \cdot X)$ <p>H : クラウドシャインガンマ線による実効線量[Sv] $h_k(t)$: クラウドシャインガンマ線のうち、核種 k からのガンマ線による単位時間当たりの実効線量[Sv/s] K : 空気カーマから実効線量への換算係数(1) [Sv/Gy] D/Q : 相対線量[Gy/Bq] $q_k(t)$: 時刻 t における核種 k の大気中への放出率[Bq/s] (0.5MeV 換算) $p_{k\gamma}$: 核種 k が放出する photon のうち、エネルギー γ の photon の割合[-] B_{γ} : エネルギー γ の photon におけるビルドアップ係数[-] μ_{γ} : エネルギー γ の photon における遮蔽体に対する線減衰係数[1/m] X : 遮蔽体厚さ[m] T : 評価期間[s]</p>	<p>(3)評価コード クラウドシャインガンマ線による被ばくは、評価コードを使用せず以下に示す式を用いて評価した。</p> $H = \sum_{\gamma} H_{\gamma}$ $H_{\gamma} = \sum_k \int_0^T K \cdot (D/Q) \cdot q_k(t) \cdot p_{k\gamma} \cdot B_{\gamma} \cdot \exp(-\mu_{\gamma} \cdot X) dt$ <p>H : クラウドシャインガンマ線による実効線量[Sv] H_{γ} : クラウドシャインガンマ線のうち、エネルギー γ のガンマ線による実効線量[Sv] K : 空気カーマから実効線量への換算係数(1) [Sv/Gy] D/Q : 相対線量[Gy/Bq] $q_k(t)$: 時刻 t における核種 k の大気中への放出率[Bq/s] (0.5MeV 換算) $p_{k\gamma}$: 核種 k が放出する photon のうち、エネルギー γ の photon の割合[-] B_{γ} : エネルギー γ の photon におけるビルドアップ係数[-] μ_{γ} : エネルギー γ の photon における遮蔽体に対する線減衰係数[1/m] X : 遮蔽体厚さ[m] T : 評価期間[s]</p>	⑤(評価式の記載方法の変更)
303	添付資料10	61-10-1-69	<p>評価の結果、陽圧化装置による陽圧化が2分間遅延した場合、7日間の積算被ばく線量は遅延しない場合と比べ約23mSv上昇すると評価された。このことから、遅延時間を設計上の最長時間(2分間)と想定した場合に、他の被ばく経路からの被ばく線量(約58mSv)と合算しても、対策要員の実効線量は7日間で100mSvを超えないことを確認した。</p>	<p>評価の結果、陽圧化装置による陽圧化が2分間遅延した場合、7日間の積算被ばく量は遅延しない場合と比べ約23mSv上昇すると評価された。このことから、遅延時間を設計上の最長時間(2分間)と想定した場合に、他の被ばく経路からの被ばく量(約56mSv)と合算しても、対策要員の実効線量は7日間で100mSvを超えないことを確認した。</p>	⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由																																																																		
304	添付資料11	61-10-1-81	<p>表添1-11-2 停止時炉内内蔵量 (安定核種を含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>核種グループ</th> <th>核種類</th> <th>炉内内蔵量[kg]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>CsI</td><td>I 類</td><td></td></tr> <tr><td>TeO₂, Te₂</td><td>Te 類</td><td></td></tr> <tr><td>SrO</td><td>Ba 類</td><td></td></tr> <tr><td>MoO₂</td><td>Ru 類</td><td></td></tr> <tr><td>CsOH</td><td>Cs 類</td><td></td></tr> <tr><td>BaO</td><td>Ba 類</td><td></td></tr> <tr><td>La₂O₃</td><td>La 類</td><td></td></tr> <tr><td>CeO₂</td><td>Ce 類</td><td></td></tr> <tr><td>Sb</td><td>Te 類</td><td></td></tr> <tr><td>UO₂</td><td>Ce 類</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※1 Te 単独よりも O₂が増える分, 炉内内蔵量として大きく評価される TeO₂を代表として参照</p>	核種グループ	核種類	炉内内蔵量[kg]	CsI	I 類		TeO ₂ , Te ₂	Te 類		SrO	Ba 類		MoO ₂	Ru 類		CsOH	Cs 類		BaO	Ba 類		La ₂ O ₃	La 類		CeO ₂	Ce 類		Sb	Te 類		UO ₂	Ce 類		<p>表添1-11-2 炉心内蔵量 (安定核種を含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>核種グループ</th> <th>核種類</th> <th>炉心内蔵量[kg]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>CsI</td><td>I 類</td><td></td></tr> <tr><td>TeO₂, Te₂</td><td>Te 類</td><td></td></tr> <tr><td>SrO</td><td>Ba 類</td><td></td></tr> <tr><td>MoO₂</td><td>Ru 類</td><td></td></tr> <tr><td>CsOH</td><td>Cs 類</td><td></td></tr> <tr><td>BaO</td><td>Ba 類</td><td></td></tr> <tr><td>La₂O₃</td><td>La 類</td><td></td></tr> <tr><td>CeO₂</td><td>Ce 類</td><td></td></tr> <tr><td>Sb</td><td>Te 類</td><td></td></tr> <tr><td>UO₂</td><td>Ce 類</td><td></td></tr> </tbody> </table>	核種グループ	核種類	炉心内蔵量[kg]	CsI	I 類		TeO ₂ , Te ₂	Te 類		SrO	Ba 類		MoO ₂	Ru 類		CsOH	Cs 類		BaO	Ba 類		La ₂ O ₃	La 類		CeO ₂	Ce 類		Sb	Te 類		UO ₂	Ce 類		⑤(評価条件の設定の考え方を明記)
核種グループ	核種類	炉内内蔵量[kg]																																																																					
CsI	I 類																																																																						
TeO ₂ , Te ₂	Te 類																																																																						
SrO	Ba 類																																																																						
MoO ₂	Ru 類																																																																						
CsOH	Cs 類																																																																						
BaO	Ba 類																																																																						
La ₂ O ₃	La 類																																																																						
CeO ₂	Ce 類																																																																						
Sb	Te 類																																																																						
UO ₂	Ce 類																																																																						
核種グループ	核種類	炉心内蔵量[kg]																																																																					
CsI	I 類																																																																						
TeO ₂ , Te ₂	Te 類																																																																						
SrO	Ba 類																																																																						
MoO ₂	Ru 類																																																																						
CsOH	Cs 類																																																																						
BaO	Ba 類																																																																						
La ₂ O ₃	La 類																																																																						
CeO ₂	Ce 類																																																																						
Sb	Te 類																																																																						
UO ₂	Ce 類																																																																						
305	添付資料12	61-10-1-82	<p>本評価の結果, 5号炉のSFP等の燃料等からのガンマ線による対策要員の実効線量は7日間で0.1mSv以下となり, 6号及び7号炉の炉心内燃料からの寄与(7日間で約58mSv)に比べ, 十分小さいことを確認した。</p>	<p>本評価の結果, 5号炉のSFP等の燃料等からのガンマ線による対策要員の実効線量は7日間で0.1mSv以下となり, 6号及び7号炉の炉心内燃料からの寄与(7日間で約56mSv)に比べ, 十分小さいことを確認した。</p>	③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)																																																																		
306	添付資料12	61-10-1-86	図添1-12-1 線源モデル (使用済燃料・燃料上部構造物) (平面図)	図添1-12-1 線源モデル (使用済燃料・燃料上部構造物) (平面図)	⑤																																																																		
307	添付資料12	61-10-1-86	図添1-12-2 線源モデル (使用済燃料・燃料上部構造物) (A-A'断面)	図添1-12-2 線源モデル (使用済燃料・燃料上部構造物) (A-A'断面図)	⑤																																																																		
308	添付資料12	61-10-1-87	図添1-12-3 線源モデル (制御棒) (平面図)	図添1-12-3 線源モデル (制御棒) (平面図)	⑤																																																																		
309	添付資料12	61-10-1-87	図添1-12-4 線源モデル (制御棒) (A-A'断面)	図添1-12-4 線源モデル (制御棒) (A-A'断面図)	⑤																																																																		
310	添付資料12	61-10-1-88	<p>b. QAD-CGGP2R コード QAD-CGGP2R コードでは, 評価点周りの遮蔽体の遮蔽効果を評価した。なお, ガンマ線のエネルギースペクトルはMCNP5 コードにて評価したものをを用いた。</p>	<p>b. QAD-CGGP2R コード QAD-CGGP2R コードでは, MCNP5 コードにて評価したガンマ線量率及びそのエネルギースペクトルを用いて, 本コードにより評価点周りの遮蔽体の遮蔽効果を評価した。</p>	⑤																																																																		
311	添付資料12	61-10-1-89	図添1-12-5 DSPと5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の位置関係	図添1-12-5 DSPと5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の位置関係	⑤																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由
312	添付資料12	61-10-1-90	<p>a. 線源</p> <p>線源として気水分離器を考慮し, 気水分離器と同等の点線源(核種:⁶⁰Co, 放射角度: 約165°)を用いた。</p> <p>点線源の線源強度は, 図添 1-12-6 に示す気水分離器のモデルを用いて, 表面線量(200mSv/h, 表面から距離1cm)を再現する線源濃度を QAD-CGGP2R コードにて評価し, 線源を1点に集約することによって求めた。このとき, 線源は気水分離器の上面にのみ均一に分布しているものとした。線源強度を表添 1-12-4 に示す。</p> <p>放出角度は, 図添 1-12-7 から図添 1-12-9 に示す DSP の概形及び気水分離器モデルの上面高さを基に算出した。放出角度を図添 1-12-10 に示す。</p>	<p>a. 線源</p> <p>線源として気水分離器を考慮し, 気水分離器と同等の点線源(核種:⁶⁰Co, 放射角度: 約165°)を用いた。</p>	⑤(評価条件の明記)
313	添付資料12	61-10-1-90	図添1-12-6 気水分離器のモデル	-	⑤(評価モデルの明記)
314	添付資料12	61-10-1-90	表添1-12-4 線源強度	-	⑤(評価条件の明記)
315	添付資料12	61-10-1-91	図添1-12-7 DSP平面図	-	⑤(評価モデルの明記)
316	添付資料12	61-10-1-91	図添1-12-8 DSP断面図(A-A'断面)	-	⑤(評価モデルの明記)
317	添付資料12	61-10-1-92	図添1-12-9 DSP断面図(B-B'断面)	-	⑤(評価モデルの明記)
318	添付資料12	61-10-1-92	図添1-12-10 放出角度	-	⑤(評価モデルの明記)
319	添付資料12	61-10-1-93	<p>b. 遮蔽</p> <p>(a) 線源周りの遮蔽</p> <p>原子炉建屋外壁及び原子炉建屋屋上並びに DSP 躯体は考慮しないものとした。また, 本評価では DSP の水位が十分確保できない場合の影響を評価するため, 保守的に水による遮蔽効果には期待しないものとした。</p> <p>(b) 評価点周りの遮蔽</p> <p>評価点周りの遮蔽としては, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の躯体を考慮し, 評価点が厚さ [] の普通コンクリート(密度2.15g/cm³)に覆われているものとした。</p>	<p>b. 遮蔽</p> <p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所周辺の躯体を考慮し, 評価点が厚さ [] の普通コンクリートに覆われているものとした。</p>	⑤(評価条件の明記)
320	添付資料12	61-10-1-93	<p>c. 線源と評価点との位置関係</p> <p>線源と評価点との位置関係を, 図添 1-12-11 及び図添 1-12-12 に示す。</p> <p>線源と評価点の水平距離は, [] とした。また, 評価高さは, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の床から1.5m高さとした。</p>	<p>c. 線源と評価点との位置関係</p> <p>線源と評価点との位置関係を, 図添 1-12-6 及び図添 1-12-7 に示す。</p> <p>なお, 評価高さは, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の床から+1.5m高さとした。</p>	⑤(評価条件の明記)
321	添付資料12	61-10-1-94	図添1-12-11 線源と評価点との位置関係(平面図)	図添1-12-6 線源と評価点との位置関係(平面図)	⑤
322	添付資料12	61-10-1-94	図添1-12-12 線源と評価点との位置関係(A-A'断面)	図添1-12-7 線源と評価点との位置関係(A-A'断面)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由
323	添付資料13	61-10-1-96	<p>検討の結果, コンクリート厚の施工誤差の影響は遮蔽モデルの持つ保守性に包含されると考えられ, 仮に遮蔽モデル上の各コンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合においても, 被ばく線量に与える影響は最大でも約8.4mSvとなり, 公称値を参照した評価結果(約58mSv)と合算しても判断基準「対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと」を満足することを確認した。</p>	<p>検討の結果, コンクリート厚の施工誤差の影響は遮蔽モデルの持つ保守性に包含されると考えられ, 仮に遮蔽モデル上の各コンクリート厚を施工誤差分だけ薄くした場合においても, 被ばく量に与える影響は最大でも約8mSvとなり, 公称値を参照した評価結果(約56mSv)と合算しても判断基準「対策要員の実効線量が7日間で100mSvを超えないこと」を満足することを確認した。</p>	<p>⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価, コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)</p>
324	添付資料13	61-10-1-96	<p>2. 施工誤差による遮蔽効果への影響について 遮蔽壁によるガンマ線の遮蔽効果はガンマ線のエネルギースペクトルにより異なることから, 施工誤差(-5mm)の影響は被ばく経路ごとに評価するものとした。また, 本検討においては, 単位厚さ当たりの線量透過率が最も小さくなる(誤差の影響が最も大きい)コンクリート厚区間(コンクリート厚0cmから100cm間について10cm間隔で算出した線量透過率から評価(表添1-13-1参照))における, 単位厚さ当たりの線量透過率を用いた。 なお, 直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線についてはコンクリート厚さ30cmから40cm, グランドシャインガンマ線についてはコンクリート厚さ20cmから30cm間, クラウドシャインガンマ線についてはコンクリート厚さ40cmから50cm間での単位厚さ当たりの線量透過率が最も小さくなる。 施工誤差分の厚さのコンクリートの線量透過率の評価結果を表添1-13-2に示す。施工誤差分の厚さ(-5mm)のコンクリートの線量透過率は約9.4×10^{-1}から約9.5×10^{-1}となった。</p>	<p>2. 施工誤差による遮蔽効果への影響について 遮蔽壁によるガンマ線の遮蔽効果はガンマ線のエネルギースペクトルにより異なることから, 施工誤差(-5mm)の影響は被ばく経路ごとに評価するものとした。また, 本検討においては, 単位厚さ当たりの線量透過率が最も小さくなる(誤差の影響が最も大きい)コンクリート厚区間^{※1}における, 単位厚さ当たりの線量透過率を用いた。 なお, 直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線並びにグランドシャインガンマ線についてはコンクリート厚さ40cmから50cm間, クラウドシャインガンマ線についてはコンクリート厚さ20cmから30cm間での単位厚さ当たりの線量透過率が最も小さくなる。 施工誤差分の厚さのコンクリートの線量透過率の評価結果を表添1-13-2に示す。施工誤差分の厚さ(-5mm)のコンクリートの線量透過率は約9.4×10^{-1}から約9.5×10^{-1}となった。 ※1 コンクリート厚0cmから100cm間について10cm間隔で算出した線量透過率から評価(表添1-13-1参照)</p>	<p>⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価, コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由																																																																																																						
325	添付資料13	61-10-1-97	<p>表添 1-13-1 各被ばく経路及びコンクリート厚に対する線量透過率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コンクリート厚 [cm]^{※1}</th> <th colspan="3">被ばく経路</th> </tr> <tr> <th>直接ガンマ線 スカイシャイン ガンマ線[-]</th> <th>グランドシャイン ガンマ線[-]</th> <th>クラウドシャイン ガンマ線[-]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>約 5.69×10⁻¹</td> <td>約 4.16×10⁻¹</td> <td>約 5.85×10⁻¹</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>約 2.27×10⁻¹</td> <td>約 1.28×10⁻¹</td> <td>約 2.27×10⁻¹</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>約 8.14×10⁻²</td> <td>約 3.86×10⁻²</td> <td>約 7.73×10⁻²</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>約 2.84×10⁻²</td> <td>約 1.19×10⁻²</td> <td>約 2.52×10⁻²</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>約 9.97×10⁻³</td> <td>約 3.84×10⁻³</td> <td>約 8.19×10⁻³</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>約 3.58×10⁻³</td> <td>約 1.29×10⁻³</td> <td>約 2.69×10⁻³</td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>約 1.32×10⁻³</td> <td>約 4.49×10⁻⁴</td> <td>約 9.00×10⁻⁴</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>約 5.03×10⁻⁴</td> <td>約 1.63×10⁻⁴</td> <td>約 3.09×10⁻⁴</td> </tr> <tr> <td>90</td> <td>約 1.97×10⁻⁴</td> <td>約 6.10×10⁻⁵</td> <td>約 1.09×10⁻⁴</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>約 7.91×10⁻⁵</td> <td>約 2.36×10⁻⁵</td> <td>約 3.99×10⁻⁵</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 コンクリート密度 : 2.15g/cm³</p>	コンクリート厚 [cm] ^{※1}	被ばく経路			直接ガンマ線 スカイシャイン ガンマ線[-]	グランドシャイン ガンマ線[-]	クラウドシャイン ガンマ線[-]	0	1	1	1	10	約 5.69×10 ⁻¹	約 4.16×10 ⁻¹	約 5.85×10 ⁻¹	20	約 2.27×10 ⁻¹	約 1.28×10 ⁻¹	約 2.27×10 ⁻¹	30	約 8.14×10 ⁻²	約 3.86×10 ⁻²	約 7.73×10 ⁻²	40	約 2.84×10 ⁻²	約 1.19×10 ⁻²	約 2.52×10 ⁻²	50	約 9.97×10 ⁻³	約 3.84×10 ⁻³	約 8.19×10 ⁻³	60	約 3.58×10 ⁻³	約 1.29×10 ⁻³	約 2.69×10 ⁻³	70	約 1.32×10 ⁻³	約 4.49×10 ⁻⁴	約 9.00×10 ⁻⁴	80	約 5.03×10 ⁻⁴	約 1.63×10 ⁻⁴	約 3.09×10 ⁻⁴	90	約 1.97×10 ⁻⁴	約 6.10×10 ⁻⁵	約 1.09×10 ⁻⁴	100	約 7.91×10 ⁻⁵	約 2.36×10 ⁻⁵	約 3.99×10 ⁻⁵	<p>表添 1-13-1 各被ばく経路及びコンクリート厚に対する線量透過率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コンクリート厚 [cm]^{※1}</th> <th colspan="3">被ばく経路</th> </tr> <tr> <th>直接ガンマ線 スカイシャイン ガンマ線[-]</th> <th>グランドシャイン ガンマ線[-]</th> <th>クラウドシャイン ガンマ線[-]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>約 5.81×10⁻¹</td> <td>約 5.85×10⁻¹</td> <td>約 4.16×10⁻¹</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>約 2.25×10⁻¹</td> <td>約 2.27×10⁻¹</td> <td>約 1.28×10⁻¹</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>約 7.70×10⁻²</td> <td>約 7.73×10⁻²</td> <td>約 3.86×10⁻²</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>約 2.52×10⁻²</td> <td>約 2.52×10⁻²</td> <td>約 1.19×10⁻²</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>約 8.20×10⁻³</td> <td>約 8.19×10⁻³</td> <td>約 3.84×10⁻³</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>約 2.70×10⁻³</td> <td>約 2.69×10⁻³</td> <td>約 1.29×10⁻³</td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>約 9.05×10⁻⁴</td> <td>約 9.00×10⁻⁴</td> <td>約 4.49×10⁻⁴</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>約 3.12×10⁻⁴</td> <td>約 3.09×10⁻⁴</td> <td>約 1.63×10⁻⁴</td> </tr> <tr> <td>90</td> <td>約 1.11×10⁻⁴</td> <td>約 1.09×10⁻⁴</td> <td>約 6.10×10⁻⁵</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>約 4.04×10⁻⁵</td> <td>約 3.99×10⁻⁵</td> <td>約 2.36×10⁻⁵</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 コンクリート密度 : 2.15g/cm³</p>	コンクリート厚 [cm] ^{※1}	被ばく経路			直接ガンマ線 スカイシャイン ガンマ線[-]	グランドシャイン ガンマ線[-]	クラウドシャイン ガンマ線[-]	0	1	1	1	10	約 5.81×10 ⁻¹	約 5.85×10 ⁻¹	約 4.16×10 ⁻¹	20	約 2.25×10 ⁻¹	約 2.27×10 ⁻¹	約 1.28×10 ⁻¹	30	約 7.70×10 ⁻²	約 7.73×10 ⁻²	約 3.86×10 ⁻²	40	約 2.52×10 ⁻²	約 2.52×10 ⁻²	約 1.19×10 ⁻²	50	約 8.20×10 ⁻³	約 8.19×10 ⁻³	約 3.84×10 ⁻³	60	約 2.70×10 ⁻³	約 2.69×10 ⁻³	約 1.29×10 ⁻³	70	約 9.05×10 ⁻⁴	約 9.00×10 ⁻⁴	約 4.49×10 ⁻⁴	80	約 3.12×10 ⁻⁴	約 3.09×10 ⁻⁴	約 1.63×10 ⁻⁴	90	約 1.11×10 ⁻⁴	約 1.09×10 ⁻⁴	約 6.10×10 ⁻⁵	100	約 4.04×10 ⁻⁵	約 3.99×10 ⁻⁵	約 2.36×10 ⁻⁵	<p>③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価, コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)</p>
コンクリート厚 [cm] ^{※1}	被ばく経路																																																																																																										
	直接ガンマ線 スカイシャイン ガンマ線[-]	グランドシャイン ガンマ線[-]	クラウドシャイン ガンマ線[-]																																																																																																								
0	1	1	1																																																																																																								
10	約 5.69×10 ⁻¹	約 4.16×10 ⁻¹	約 5.85×10 ⁻¹																																																																																																								
20	約 2.27×10 ⁻¹	約 1.28×10 ⁻¹	約 2.27×10 ⁻¹																																																																																																								
30	約 8.14×10 ⁻²	約 3.86×10 ⁻²	約 7.73×10 ⁻²																																																																																																								
40	約 2.84×10 ⁻²	約 1.19×10 ⁻²	約 2.52×10 ⁻²																																																																																																								
50	約 9.97×10 ⁻³	約 3.84×10 ⁻³	約 8.19×10 ⁻³																																																																																																								
60	約 3.58×10 ⁻³	約 1.29×10 ⁻³	約 2.69×10 ⁻³																																																																																																								
70	約 1.32×10 ⁻³	約 4.49×10 ⁻⁴	約 9.00×10 ⁻⁴																																																																																																								
80	約 5.03×10 ⁻⁴	約 1.63×10 ⁻⁴	約 3.09×10 ⁻⁴																																																																																																								
90	約 1.97×10 ⁻⁴	約 6.10×10 ⁻⁵	約 1.09×10 ⁻⁴																																																																																																								
100	約 7.91×10 ⁻⁵	約 2.36×10 ⁻⁵	約 3.99×10 ⁻⁵																																																																																																								
コンクリート厚 [cm] ^{※1}	被ばく経路																																																																																																										
	直接ガンマ線 スカイシャイン ガンマ線[-]	グランドシャイン ガンマ線[-]	クラウドシャイン ガンマ線[-]																																																																																																								
0	1	1	1																																																																																																								
10	約 5.81×10 ⁻¹	約 5.85×10 ⁻¹	約 4.16×10 ⁻¹																																																																																																								
20	約 2.25×10 ⁻¹	約 2.27×10 ⁻¹	約 1.28×10 ⁻¹																																																																																																								
30	約 7.70×10 ⁻²	約 7.73×10 ⁻²	約 3.86×10 ⁻²																																																																																																								
40	約 2.52×10 ⁻²	約 2.52×10 ⁻²	約 1.19×10 ⁻²																																																																																																								
50	約 8.20×10 ⁻³	約 8.19×10 ⁻³	約 3.84×10 ⁻³																																																																																																								
60	約 2.70×10 ⁻³	約 2.69×10 ⁻³	約 1.29×10 ⁻³																																																																																																								
70	約 9.05×10 ⁻⁴	約 9.00×10 ⁻⁴	約 4.49×10 ⁻⁴																																																																																																								
80	約 3.12×10 ⁻⁴	約 3.09×10 ⁻⁴	約 1.63×10 ⁻⁴																																																																																																								
90	約 1.11×10 ⁻⁴	約 1.09×10 ⁻⁴	約 6.10×10 ⁻⁵																																																																																																								
100	約 4.04×10 ⁻⁵	約 3.99×10 ⁻⁵	約 2.36×10 ⁻⁵																																																																																																								
326	添付資料13	61-10-1-97	<p>表添 1-13-2 施工誤差分の厚さのコンクリートに対する線量透過率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被ばく経路</th> <th colspan="4">コンクリート厚の施工誤差</th> </tr> <tr> <th>-5mm</th> <th>-10mm (-5mm× 遮蔽2枚^{※1})</th> <th>-15mm (-5mm× 遮蔽3枚^{※1})</th> <th>-25mm (-5mm× 遮蔽5枚^{※1})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接ガンマ線, スカイシャイン ガンマ線</td> <td>約 9.5×10⁻¹</td> <td>約 9.0×10⁻¹</td> <td>約 8.5×10⁻¹</td> <td>約 7.7×10⁻¹</td> </tr> <tr> <td>クラウドシャイ ンガンマ線</td> <td>約 9.5×10⁻¹</td> <td>約 8.9×10⁻¹</td> <td>約 8.4×10⁻¹</td> <td>約 7.6×10⁻¹</td> </tr> <tr> <td>グランドシャイ ンガンマ線</td> <td>約 9.4×10⁻¹</td> <td>約 8.9×10⁻¹</td> <td>約 8.4×10⁻¹</td> <td>約 7.4×10⁻¹</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽壁が複数枚重なる場合は, 各遮蔽壁に対し施工誤差(-5mm)を考慮</p>	被ばく経路	コンクリート厚の施工誤差				-5mm	-10mm (-5mm× 遮蔽2枚 ^{※1})	-15mm (-5mm× 遮蔽3枚 ^{※1})	-25mm (-5mm× 遮蔽5枚 ^{※1})	直接ガンマ線, スカイシャイン ガンマ線	約 9.5×10 ⁻¹	約 9.0×10 ⁻¹	約 8.5×10 ⁻¹	約 7.7×10 ⁻¹	クラウドシャイ ンガンマ線	約 9.5×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.4×10 ⁻¹	約 7.6×10 ⁻¹	グランドシャイ ンガンマ線	約 9.4×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.4×10 ⁻¹	約 7.4×10 ⁻¹	<p>表添 1-13-2 施工誤差分の厚さのコンクリートに対する線量透過率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被ばく経路</th> <th colspan="4">コンクリート厚の施工誤差</th> </tr> <tr> <th>-5mm</th> <th>-10mm (-5mm× 遮蔽2枚^{※1})</th> <th>-15mm (-5mm× 遮蔽3枚^{※1})</th> <th>-25mm (-5mm× 遮蔽5枚^{※1})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接ガンマ線, スカイシャイン ガンマ線</td> <td>約 9.5×10⁻¹</td> <td>約 8.9×10⁻¹</td> <td>約 8.5×10⁻¹</td> <td>約 7.6×10⁻¹</td> </tr> <tr> <td>クラウドシャイ ンガンマ線</td> <td>約 9.4×10⁻¹</td> <td>約 8.9×10⁻¹</td> <td>約 8.4×10⁻¹</td> <td>約 7.4×10⁻¹</td> </tr> <tr> <td>グランドシャイ ンガンマ線</td> <td>約 9.5×10⁻¹</td> <td>約 8.9×10⁻¹</td> <td>約 8.4×10⁻¹</td> <td>約 7.6×10⁻¹</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽壁が複数枚重なる場合は, 各遮蔽壁に対し施工誤差(-5mm)を考慮</p>	被ばく経路	コンクリート厚の施工誤差				-5mm	-10mm (-5mm× 遮蔽2枚 ^{※1})	-15mm (-5mm× 遮蔽3枚 ^{※1})	-25mm (-5mm× 遮蔽5枚 ^{※1})	直接ガンマ線, スカイシャイン ガンマ線	約 9.5×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.5×10 ⁻¹	約 7.6×10 ⁻¹	クラウドシャイ ンガンマ線	約 9.4×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.4×10 ⁻¹	約 7.4×10 ⁻¹	グランドシャイ ンガンマ線	約 9.5×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.4×10 ⁻¹	約 7.6×10 ⁻¹	<p>③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価, コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)</p>																																																						
被ばく経路	コンクリート厚の施工誤差																																																																																																										
	-5mm	-10mm (-5mm× 遮蔽2枚 ^{※1})	-15mm (-5mm× 遮蔽3枚 ^{※1})	-25mm (-5mm× 遮蔽5枚 ^{※1})																																																																																																							
直接ガンマ線, スカイシャイン ガンマ線	約 9.5×10 ⁻¹	約 9.0×10 ⁻¹	約 8.5×10 ⁻¹	約 7.7×10 ⁻¹																																																																																																							
クラウドシャイ ンガンマ線	約 9.5×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.4×10 ⁻¹	約 7.6×10 ⁻¹																																																																																																							
グランドシャイ ンガンマ線	約 9.4×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.4×10 ⁻¹	約 7.4×10 ⁻¹																																																																																																							
被ばく経路	コンクリート厚の施工誤差																																																																																																										
	-5mm	-10mm (-5mm× 遮蔽2枚 ^{※1})	-15mm (-5mm× 遮蔽3枚 ^{※1})	-25mm (-5mm× 遮蔽5枚 ^{※1})																																																																																																							
直接ガンマ線, スカイシャイン ガンマ線	約 9.5×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.5×10 ⁻¹	約 7.6×10 ⁻¹																																																																																																							
クラウドシャイ ンガンマ線	約 9.4×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.4×10 ⁻¹	約 7.4×10 ⁻¹																																																																																																							
グランドシャイ ンガンマ線	約 9.5×10 ⁻¹	約 8.9×10 ⁻¹	約 8.4×10 ⁻¹	約 7.6×10 ⁻¹																																																																																																							

まとめ資料変更箇所リスト

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前(2017.2.21 審査会合 資料)	変更理由																																																		
327	添付資料13	61-10-1-98	<p>以下では、上述の状況にかかわらず、遮蔽モデル上の各コンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量に与える影響を評価した。</p> <p>評価結果を表添 1-13-3 に示す。遮蔽モデル上の各コンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合、被ばく線量の上昇分は最大でも約 8.4mSv となった。このことから、仮に遮蔽モデル上の各コンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合においても判断基準の「対策要員の実効線量が 7 日間で 100mSv を超えないこと」を満足することを確認した。</p>	<p>以下では、上述の状況に係らず、遮蔽モデル上の各コンクリート厚を施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく量に与える影響を評価した。</p> <p>評価結果を表添 1-13-3 に示す。遮蔽モデル上の各コンクリート厚を施工誤差分だけ薄くした場合、被ばく量の上昇分は最大でも約 8mSv となった。このことから、仮に遮蔽モデル上の各コンクリート厚を施工誤差分だけ薄くした場合においても、判断基準の「対策要員の実効線量が 7 日間で 100mSv を超えないこと」を満足することを確認した。</p>	⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価、コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)																																																		
328	添付資料13	61-10-1-99	<p>表添 1-13-3 遮蔽モデル上で各コンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くすることによる被ばく線量に与える影響</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価モデル上で参照しているコンクリート遮蔽の実際の枚数</th> <th>施工誤差として考慮する厚さ</th> <th>被ばく線量の上昇率</th> <th>被ばく線量に与える影響 (括弧内は公称値を使用した場合の評価結果)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接ガンマ線 スカイシャインガンマ線</td> <td>合計 5 枚以下 【6号炉原子炉建屋, 7号炉原子炉建屋】 2 枚以下 【5号炉原子炉建屋】 3 枚以下</td> <td>-25mm</td> <td>約 30%上昇</td> <td>約 6.8×10⁻⁴mSv 上昇 (約 2.3×10⁻⁴mSv)</td> </tr> <tr> <td>グランドシャインガンマ線</td> <td>3 枚以下</td> <td>-15mm</td> <td>約 20%上昇</td> <td>約 2.9mSv 上昇 (約 15mSv)</td> </tr> <tr> <td>クラウドシャインガンマ線</td> <td>2 枚以下</td> <td>-10mm</td> <td>約 12%上昇</td> <td>約 4.8mSv 上昇 (約 41mSv)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>約 8.4mSv 上昇 (約 58mSv)</td> </tr> </tbody> </table>		評価モデル上で参照しているコンクリート遮蔽の実際の枚数	施工誤差として考慮する厚さ	被ばく線量の上昇率	被ばく線量に与える影響 (括弧内は公称値を使用した場合の評価結果)	直接ガンマ線 スカイシャインガンマ線	合計 5 枚以下 【6号炉原子炉建屋, 7号炉原子炉建屋】 2 枚以下 【5号炉原子炉建屋】 3 枚以下	-25mm	約 30%上昇	約 6.8×10 ⁻⁴ mSv 上昇 (約 2.3×10 ⁻⁴ mSv)	グランドシャインガンマ線	3 枚以下	-15mm	約 20%上昇	約 2.9mSv 上昇 (約 15mSv)	クラウドシャインガンマ線	2 枚以下	-10mm	約 12%上昇	約 4.8mSv 上昇 (約 41mSv)	合計	—	—	—	約 8.4mSv 上昇 (約 58mSv)	<p>表添 1-13-3 遮蔽モデル上で各コンクリート厚を施工誤差分だけ薄くすることによる被ばく量に与える影響</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価モデル上で参照しているコンクリート遮蔽の実際の枚数</th> <th>施工誤差として考慮する厚さ</th> <th>被ばく量の上昇率</th> <th>被ばく量に与える影響 (括弧内は公称値を使用した場合の評価結果)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接ガンマ線 スカイシャインガンマ線</td> <td>合計 5 枚以下 【6号炉原子炉建屋, 7号炉原子炉建屋】 2 枚以下 【5号炉原子炉建屋】 3 枚以下</td> <td>-25mm</td> <td>約 32%上昇</td> <td>約 1.7×10⁻⁴mSv 上昇 (約 5.2×10⁻⁴mSv)</td> </tr> <tr> <td>グランドシャインガンマ線</td> <td>3 枚以下</td> <td>-15mm</td> <td>約 18%上昇</td> <td>約 2.7mSv 上昇 (約 15mSv)</td> </tr> <tr> <td>クラウドシャインガンマ線</td> <td>2 枚以下</td> <td>-10mm</td> <td>約 13%上昇</td> <td>約 5.2mSv 上昇 (約 41mSv)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>約 8.0mSv 上昇 (約 56mSv)</td> </tr> </tbody> </table>		評価モデル上で参照しているコンクリート遮蔽の実際の枚数	施工誤差として考慮する厚さ	被ばく量の上昇率	被ばく量に与える影響 (括弧内は公称値を使用した場合の評価結果)	直接ガンマ線 スカイシャインガンマ線	合計 5 枚以下 【6号炉原子炉建屋, 7号炉原子炉建屋】 2 枚以下 【5号炉原子炉建屋】 3 枚以下	-25mm	約 32%上昇	約 1.7×10 ⁻⁴ mSv 上昇 (約 5.2×10 ⁻⁴ mSv)	グランドシャインガンマ線	3 枚以下	-15mm	約 18%上昇	約 2.7mSv 上昇 (約 15mSv)	クラウドシャインガンマ線	2 枚以下	-10mm	約 13%上昇	約 5.2mSv 上昇 (約 41mSv)	合計	—	—	—	約 8.0mSv 上昇 (約 56mSv)	⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価、コンクリートの施工誤差の影響評価における誤りの修正)
	評価モデル上で参照しているコンクリート遮蔽の実際の枚数	施工誤差として考慮する厚さ	被ばく線量の上昇率	被ばく線量に与える影響 (括弧内は公称値を使用した場合の評価結果)																																																			
直接ガンマ線 スカイシャインガンマ線	合計 5 枚以下 【6号炉原子炉建屋, 7号炉原子炉建屋】 2 枚以下 【5号炉原子炉建屋】 3 枚以下	-25mm	約 30%上昇	約 6.8×10 ⁻⁴ mSv 上昇 (約 2.3×10 ⁻⁴ mSv)																																																			
グランドシャインガンマ線	3 枚以下	-15mm	約 20%上昇	約 2.9mSv 上昇 (約 15mSv)																																																			
クラウドシャインガンマ線	2 枚以下	-10mm	約 12%上昇	約 4.8mSv 上昇 (約 41mSv)																																																			
合計	—	—	—	約 8.4mSv 上昇 (約 58mSv)																																																			
	評価モデル上で参照しているコンクリート遮蔽の実際の枚数	施工誤差として考慮する厚さ	被ばく量の上昇率	被ばく量に与える影響 (括弧内は公称値を使用した場合の評価結果)																																																			
直接ガンマ線 スカイシャインガンマ線	合計 5 枚以下 【6号炉原子炉建屋, 7号炉原子炉建屋】 2 枚以下 【5号炉原子炉建屋】 3 枚以下	-25mm	約 32%上昇	約 1.7×10 ⁻⁴ mSv 上昇 (約 5.2×10 ⁻⁴ mSv)																																																			
グランドシャインガンマ線	3 枚以下	-15mm	約 18%上昇	約 2.7mSv 上昇 (約 15mSv)																																																			
クラウドシャインガンマ線	2 枚以下	-10mm	約 13%上昇	約 5.2mSv 上昇 (約 41mSv)																																																			
合計	—	—	—	約 8.0mSv 上昇 (約 56mSv)																																																			
329	添付資料13	61-10-1-100	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性に係る被ばく評価では、審査ガイドに基づき最適評価手法を採用しており、原子炉運転時の炉心熱出力として定格熱出力を参照している。以下では、原子炉運転時の炉心熱出力を、設計基準事故解析と同様に、定格熱出力に余裕を見た出力(定格熱出力の102%)とした場合の影響を検討した。</p> <p>検討の結果、被ばく線量は約 59mSv となり、判断基準「対策要員の実効線量が 7 日間で 100mSv を超えないこと」を満足することを確認した。以下、検討結果を示す。</p>	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)の居住性に係る被ばく評価では、審査ガイドに基づき最適評価手法を採用しており、原子炉運転時の炉心熱出力として定格熱出力を参照している。以下では、原子炉運転時の炉心熱出力を、設計基準事故解析と同様に、定格熱出力に余裕を見た出力(定格熱出力の102%)とした場合の影響を検討した。</p> <p>検討の結果、被ばく量は約 57mSv となり、判断基準「対策要員の実効線量が 7 日間で 100mSv を超えないこと」を満足することを確認した。以下、検討結果を示す。</p>	⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)																																																		
330	添付資料13	61-10-1-100	<p>定格熱出力を用いた場合における各被ばく経路からの合計値(約 58mSv)を 1.02 倍すると、評価結果は約 59mSv になり、判断基準「対策要員の実効線量が 7 日間で 100mSv を超えないこと」を満足している。</p>	<p>定格熱出力を用いた場合における各被ばく経路からの合計値(約 56mSv)を 1.02 倍すると、評価結果は約 57mSv になり、判断基準「対策要員の実効線量が 7 日間で 100mSv を超えないこと」を満足している。</p>	⑤ ③(直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線の線源強度の評価方法及び希ガス核種の停止時炉内内蔵量の変更に伴う再評価)																																																		